



MOMO

特別養護老人ホーム モモ
ショートステイ モモ
ケアハウス モモ
デイサービスセンター モモ
居宅サービスセンター モモ



PINO

コミュニティホーム ピノ
ショートステイ ピノ
コミュニティセンター ピノ



NaNa

フレイグラントオリーブ ナナ
ケアステーション ナナ

社会福祉法人蒼生会 高齢者福祉施設
2025年度 事業報告

 Sosaykai

目 次

重点計画評価	1
これからの課題	11
施設ケアマネジメント（モモ）	17
特別養護老人ホームモモ	21
ショートステイモモ	31
施設ケアマネジメント（ピノ）	37
コミュニティホームピノ	39
ショートステイピノ	47
ケアハウスモモ	53
フレイグラントオリーブナナ	57
デイサービスセンターモモ	61
コミュニティセンターピノ	67
栄養と調理	71
居宅サービスセンターモモ	77
ケアステーションナナ	89
委員会活動	101
パブリックリレーション	117
付録	
・年間稼働状況（前年度比較）	118

PE valuation lanning

重点計画評価

2025年度事業計画に掲げた拠点・部署毎の重点計画につき、右記5段階での評価と同時に、原因把握・改善策立案などにつき情報共有を行なった。

評価は各部署の管理職（リーダー以上の職位）に加え、副施設長・施設長にて各自が関連する項目に対して実施した。

また、これら取り組みは次年度事業計画立案にもつなげていく。

●評価基準

- S：積極的に取り組み達成されており次年度重点計画から除外できる
- A：積極的に取り組み一部達成されたが継続的な取り組みが必要
- B：取り組みはなされているが未だ成果には繋がっていない
- C：取り組みはなされているがその方法や頻度などに改善を要する
- D：全く取り組み（達成）ができていない

2025年度重点課題（2025年度高齢者福祉施設事業計画より抜粋・再編）

●各事業所の主な目標と課題

特養課（特別養護老人ホームモモ）

課題	評価	原因・理由
年間稼働率98%に向けた入居者管理	B	新規入所者数が退所者数を上回る事が出来たが、年度初めでの入居者数が少なかった点や、上半期での退所者数が多く稼働率向上の弊害となってしまった。 2026年1月下旬からの、疥癬による皮膚感染症蔓延による入居者案内が停止した事も要因となるが、年度初月の入居者数がほぼ満床近くであれば稼働率は全く異なった結果となったと思われ、年度内の動きとしては悪くはなかった。
看取り介護体制の強化	A	大きな問題もなく看取りは行なえているが、看取り体制加算の取得までは出来ていない。
業務改善	B	業務改善には取り組み、多少の成果は出てきていると思われるが、コミュニケーションや情報共有の面に足りない部分が多くある為、来年度新体制にて更に強化を図っていきたい。
事故防止・再発防止に向けての取り組み	C	誤薬や介助時の事故等、職員の確認不足で発生している事故が例年より多く見られる。 再発防止策を立てているが、対応が後手に回っているなど、リスクマネジメントの意識が足りていない。
本人主体のプラン作成	A	状態に合わせたプラン・状態低下した際の新たなプラン作成は出来ている。 各関係機関への情報収集も行なえている。
職員教育・職員育成	C	外部研修参加や勉強会の実施が出来ておらず、十分な教育が出来ていない。
重度化への対応	B	状態変化に迅速に各関係機関と相談等を行なえているが、情報共有が不足している点がある。 重度化および今後の施設で受け入れできる医療対応向上の為に、関係各所で協力し医療ニーズの受け入れ体制も検討が必要である。

短期入所生活介護（ショートステイモモ）

課題	評価	原因・理由
顧客の定着（リピーターの確保）	A	リピーターが長期利用につながるケースが多くあった一方、新規利用者が長期利用で満床になっており希望の日程でお受けできず契約に繋がらないことが多くあった。 また、多床室主体の回廊式施設であり、居室の扉を自由に開け閉めして出入りできる利点もあるが、認知症のある利用者にとってはトラブルの発生要因となり、利用継続困難になってしまう事があった。
新規利用者の獲得	B	長期利用者で利用予定が埋まってしまっており、ピノのショートステイのご紹介を行なっている
空床ベッドの有効活用	C	本入所前提の利用者が重なった際など、若干の特養空床利用はあったが、空床ベッドの有効活用ができるほどの稼働率が確保できなかった。
感染症対策の徹底	A	家族の積極的な協力を得られた事もあり、利用者からの感染症持ち込みは無かった。

2025年度重点課題（2025年度高齢者福祉施設事業計画より抜粋・再編）

●各事業所の主な目標と課題

ケアハウス課（ケアハウスモモ）

課題	評価	原因・理由
相談援助体制の整備	B	利用者ができることは自ら行なう方針を進めているが、一部の利用者には必要なサービスが不足しており、自立支援体制が十分に機能していない状況がある。
感染症/食中毒/事故防止/防災/防犯対策	A	意識の低い利用者もいるが、職員が声掛けや例会での繰り返しの周知を行い、安全対策の徹底に努めている。
ケアハウス生活の安定と満床を維持する	A	退所後には待機者への声掛けと面接を即時行ない、空室がないように進めることができた。

通所課（デイサービスセンターモモ）

課題	評価	原因・理由
通所介護の安定した運営	B	サービスの質の向上には繋がっておらず、マンネリ化している現状がある。
運営に関する業務の再編成・最適化	B	営業にて見学対応を迅速に対応するが、あまり利用に繋がっていない。利用者の打切りも多く未達成。
利用者本意の追求と迅速な対応	C	情報共有はしているが、具体的な連携実績なし。
新規登録利用者の確保	C	徐々に新規利用者の確保は出来てきているが、不十分である。
月平均参加人数14名以上を維持	A	一部達成されている月もあるが、持続出来ていない。
コミュニティセンターピノとの連携確保	C	取り組みはしているが改善を要する。
祝日営業の継続（中期計画的な位置づけ）	A	祝日営業の継続が出来ている。

居宅課（居宅サービスセンターモモ・ケアステーションナナ）

課題	評価	原因・理由
利用者主体 （権利擁護/自己決定尊重/満足度向上）	A	本人・家族のニーズを把握して介護サービスを調整を行ない、社会資源を生かしたサービスも提供しながら、本人が希望する生活に近づけていけるように支援することが出来た。
質の高い公正中立なケアマネジメント	B	本人・家族の意向を十分に把握して、サービス調整は分かり易く、選択出来るようにすることが出来た。
実績の確保/安定	A	担当人数の確保は出来たが、法人内の実績向上に十分な貢献が難しい。
地域包括支援センターとの連携強化・新規開拓	C	新規の地域包括支援センターの開拓は難しかったが、主要包括（5事業所）との連携は十分に出来た。
介護保険改正への対応/情報収集	B	件数増加は対処でき、担当人数の確保を図ることが出来た。
特定事業所加算（Ⅲ）の継続 ※モモ	A	各要件をクリアし、取得継続が図れている。

ユニット課（コミュニティホームピノ）

課題	評価	原因・理由
派遣介護職員の調整	B	非常勤職員の直接雇用に成功。派遣社員の割合は前年度の7～8割から4割まで低減。定着率も良好。
職員教育の徹底 （ユニットケア/接遇/介護技術）	C	派遣職員の割合低下はあるも、介護職員の全体数が増加している訳ではなく、リーダークラスの職員も常時介護業務に従事しなければならず、現場でのOJT以外の職員教育は脆弱。
多職種協働と情報共有の徹底	A	申し送り表の活用が習慣化されており、以前に比べると共有できている。
家族/関係機関との協力体制の強化	A	面会に来られる家族との協力は出来ているが、来られない家族とはやや希薄。

短期入所生活介護（ショートステイピノ）

課題	評価	原因・理由
顧客の定着（リピーターの確保）	A	新規契約は前年度に比べると多くあったが長期利用での依頼が最も多くあった、新規でリピーターになるケースが少ないため、継続していく必要がある。
新規利用者の獲得	A	新規利用者はほぼ毎月おり、前年度に比べるとかなり達成はされているも継続の必要あり。
空床ベッドの活用	A	1月より長期で利用されている方で特養への入居希望ありを条件に4名の空床利用を実施。ショートステイユニットは一時的に人数が減少したが空いたベッドを新規利用者に提供する事ができ結果、ショートステイの稼働率の増加に繋がった。今後も、継続し空床ベッドを利用していく必要がある。
事業所間及び職員間の情報共有	B	職員の入れ替わりが頻回で情報共有が出来ていない場面が何回もあり、今後、新しい職員への情報共有が課題。

通所課（コミュニティセンターピノ）

課題	評価	原因・理由
地域密着型通所介護の安定した運営	B	新規登録利用者は増加したが、週複数回利用者の打切りもあり微増はしたものの今後も重要な課題である。
運営に関する業務の再編成、最適化	B	通常業務については最適化が完了しておりサービスの質の向上についても徐々に取り組んでいるが、まだ具体的な成果は表れていない状況。
新規登録利用者の確保	B	積極的な営業を行い、見学対応は増加し新規利用も増えているが実績に成果が表れるに至っていない。
月平均参加人数12.6名以上の確保	B	新規登録利用者は増加したが、週複数回利用者の打切りもあり未達成。
デイサービスセンターモモとの連携確保	B	情報共有はしており、人手の足りない日や、送迎の協力を徐々に行っている。
土曜日営業の開始（中期計画的位置づけ）	D	他事業所が営業していない日に営業を行いたいが、職員の人数が足りず、また既存職員が土日の出勤が難しい家庭事情もあり、職員の増員も困難なことから実施は困難である。

2025年度重点課題（2025年度高齢者福祉施設事業計画より抜粋・再編）

●各事業所の主な目標と課題

サ高住課（フレイグラントオリーブナナ）

課題	評価	原因・理由
空室ゼロに向けた営業活動強化	C	入居30部屋まで来ていたが、その後低下。 3月に見学会を開催するも参加者は少数。
オプションサービスの設定	D	ニーズ把握・内容検討などにつき着手不十分。
良好な居住環境づくり	A	来訪者に検温・入館記録表の記入・アルコール消毒を促した。 エレベーターボタン・館内手摺りの清掃除菌を行なった。 全館の換気を定期的に行なった。 必要時に植栽の手入れを実施。 提携不動産会社と協力して、入居者向けイベントを実施した。 年頭に計画を立ててスケジュール化し、感染症蔓延などの場合は中止とした。
入居者のADL把握	A	入居者の健康増進と健康チェックを行なうために、百歳体操を定期的の実施し、必要であれば入居者の状態に応じて家族や保証人などに報告した。 入居者のレクレーションと健康増進のために、毎週、カラオケ喫茶を開催した。
施設PR素材の作成	B	スマホなどで作成したビデオ映像にPR音声を加えて、簡易な施設紹介ビデオを作成。 SNSを作成し、PRビデオをHPへ埋め込む。

栄養室

課題	評価	原因・理由
栄養/療養食マネジメントの継続/調整	A	多職種連携により個々の食事内容の調整は日々行なわれている。
口腔ケアによる誤嚥性肺炎の防止	A	歯科医師の定期往診・日々の口腔ケアにより誤嚥性肺炎による入院者は出ていない。
フロアでのおやつレク/行事の充実	C	おやつレクは対象者・ニーズともに無い為一旦中止。 季節の菓子やおやつバイキング等方法を検討。
家族食事会の在り方の検討	D	入居者の喫食・嚥下状態から家族食事会は対象者がほとんどおらず、また感染症対策の観点からも再開は難しいと判断。 一旦中止し他の方法での家族交流を検討する。

全事業所共通

課題	評価	原因・理由
業務効率化のための環境整備 ※拠点間ネットワークの構築/ICT化促進	B	補助金を活用してカードリーダーを導入し、ケアプランデータ連携に向けた ICT 環境の基盤整備を進めた。これにより、今後の業務効率化や情報共有の円滑化に向けた体制が整いつつある。
経費削減のための運営管理 ※節水/節電/備品有効利用/業務統廃合	B	経費削減に向けて、修繕工事については複数業者からの相見積もりを実施し、適正価格での発注に努めた。
適正人員配置の見直し ※業務マニュアルおよびシフトの改善	B	ピノ拠点でのリーダー職員配置等、未だ改善できていない部分が多い。

2025年度重点課題（2025年度高齢者福祉施設事業計画より抜粋・再編）

●要修繕・備品新調案件

（モモ）

建物

課題	評価	原因・理由
廊下床材の修繕	－	予算計上していないため評価対象外
給/排水管の点検・必要箇所の修繕	－	予算計上していないため評価対象外
外壁打診検査	－	予算計上していないため評価対象外

設備/機器関係

課題	評価	原因・理由
各種制御装置の改修 （ガス・電気・水道関係）	－	予算計上していないため評価対象外
浴室用リフトの新調	－	予算計上していないため評価対象外
個室トイレ/洗面台新調 （簡易便器から洋式便器への置換）	－	予算計上していないため評価対象外
扉まわり動作不良箇所の修繕	－	予算計上していないため評価対象外
照明器具の新調（故障箇所を含むLED化）	－	予算計上していないため評価対象外
換気機能の回復（劣化/故障箇所の新調）	－	予算計上していないため評価対象外

その他

課題	評価	原因・理由
粗大ゴミ処分 （故障した車椅子・テレビ・その他備品）	－	予算計上していないため評価対象外
保存経過期間終了書類の適切な破棄 （専門業者へ依頼し廃棄証明書を発行）	－	予算計上していないため評価対象外

(ピノ)

建物

課題	評価	原因・理由
特になし ※今後モモ同様の経年劣化は予測される	—	—

設備/機器関係

課題	評価	原因・理由
水道回りの点検/必要箇所の修繕 (蛇口漏水・自動給水用センサー)	—	予算計上していないため評価対象外
給/排水管の点検・必要箇所の修繕	—	予算計上していないため評価対象外

その他

課題	評価	原因・理由
粗大ゴミ処分 (故障した車椅子・テレビ・その他備品)	—	予算計上していないため評価対象外
保存経過期間終了書類の適切な破棄 (専門業者へ依頼し廃棄証明書を発行)	—	予算計上していないため評価対象外

●定員・稼働率など

① 特別養護老人ホーム モモ・ショートステイ モモ

事業所	定員	目標	実績
従来型特養	62	98.0%	92.7%
ショートステイ	8	80.0%	94.4%
平均介護度	従来型特養	3.75	3.90
	ショートステイ	2.55	2.74

※ショートステイ空床利用は特養稼働率に加算

② デイサービスセンター モモ

事業所	定員	目標	実績
通常規模デイ	20	85.0%	66.0%
登録者数		50名	43名
平均介護度		2.00	2.03
入浴者率		60.0%	73.4%

③ ケアハウス モモ

事業所	定員	目標	実績
ケアハウス	16	100.0%	100.0%

④ 居宅サービスセンター モモ

事業所	定員	目標	実績
在宅CM	130.5	98.5%	101.3%
登録者数		118名	188名
平均介護度		1.95	1.97
認定調査		116件	59件

※介護支援専門員数 = 3名

※稼働率 : 要支援1・要支援2・事業対象者 = 0.5人で換算

※平均介護度 : 要支援1 = 0.25 要支援2・事業対象者 = 0.5で換算

⑤ コミュニティホーム ピノ・ショートステイ ピノ

事業所	定員	目標	実績
ユニット型特養	29	98.9%	94.8%
ショートステイ	10	80.0%	75.7%
平均介護度	ユニット型特養	3.85	3.86
	ショートステイ	2.75	2.61

※ショートステイ空床利用は特養稼働率に加算

⑥ コミュニティセンター ピノ

事業所	定員	目標	実績
地密型デイ	18	70.0%	48.5%
登録者数		40名	29名
平均介護度		2.50	2.10
入浴者率		50.0%	91.5%

⑦ フレイグラントオリーブ ナナ

事業所	定員	目標	実績
サ高住	32	100.0%	83.9%

⑧ ケアステーション ナナ

事業所	定員	目標	実績
在宅CM	43.5	97.5%	100%
登録者数		39.5名	48名
平均介護度		1.55	1.44
認定調査		25件	16件

※介護支援専門員数 = 1名

※稼働率 : 要支援1・要支援2・事業対象者 = 0.5人で換算

※平均介護度 : 要支援1 = 0.25 要支援2・事業対象者 = 0.5で換算

F_{uture} S_{ubject}

これからの課題

●モモ拠点

モモ拠点では、開設から長期間が経過し、建物や設備の老朽化が進行していることから、今後も大規模修繕や突発的な改修が必要となることが想定される。そのため、計画的な修繕計画の策定と資金の確保（資金プール）が重要な課題となっている。

また、特養全般においては、入所者の重度化が進む一方で、介護人材の確保が年々困難になっており、安定したサービス提供のためには、職員の定着支援や働きやすい環境づくりが不可欠である。

さらに、業務量の増加や加算要件の複雑化に対応するため、ICT化の推進や業務の効率化も急務となっている。特に、記録業務や情報共有の負担軽減に向けて、データ連携や機器整備などのICT基盤の整備を進める必要がある。

これらの課題に対し、モモ拠点としては、

- ・計画的な修繕と資金確保の仕組みづくり
- ・人材確保・育成・定着の強化
- ・ICT化による業務効率化の推進
- ・収支の安定化に向けた加算取得や稼働率の改善

を柱として、持続可能な運営体制を構築していくことが求められる。

1. 特別養護老人ホームモモ

2025年度の稼働率は92.9%と目標値達成には至らなかった。

年度内新規入所者は28名、退所者は24名と、新規入所者数の方がやや上回ってはいるが、年度初めの入居者数が少なく、上半期での退所者数が多かったことや、2026年1月下旬からの疥癬による皮膚感染症蔓延に伴い、次年度に向けた入居案内が滞ってしまった事が要因となる。

入居者案内については、空床発生から入所までの期間も短くなってきている事もあり、徐々に目標稼働率に近づきつつあるが、更なる稼働率向上の為に2026年度より新任の生活相談員を配置し、退所者が多数発生した場合において、2名体制での迅速な新規案内が可能にする。

看取りについては、家族や各関係機関との連携も十分に取れており、2025年度も19名の看取り対応を円滑に実施することが出来た。

加齢に伴う心身状態の変化から、看取り期へ移行する入居者が増えていく可能性は非常に高いが、看取り体制加算の取得までには至っていない状況であり、今後は加算を取得できるように、看取り体制（カンファレンス実施・終末期計画の作成など）を強化していく必要がある。

介護職員の人員補充および教育も急務であり、その為には組織力向上が必要不可欠となる。

2026年度からは、数年不在であった2階フロアリーダーを配置するとともに、人員補充を行なう事で外部研修参加や勉強会実施にて得た知識を、職員全体で共有できるような体制を整えていく。

施設内設備の老朽化に伴い各所には故障などが出てきているが、入居者が生活しやすく職員が就業しやすい環境整備（維持）は必須である。

人員補充や故障に対する修繕、外部研修参加といずれにしても財源確保が必要不可欠となる為、すべてを实践可能とする為にも稼働率の向上による財源確保が必要である。

2. ショートステイモモ

2025年度の年間稼働率は94.4%。

前年度（57.6%）比で36.8%増加している。

原因としては、定期的に利用頂いていたリピーターが、在宅生活継続が困難となり本入所を希望され長期利用になった例が多数あった事である。

問い合わせを頂いた殆どの方が、同様に在宅生活困難になり併設特養への本入所を前提として長期利用を希望されるケースが多くなっている。

その影響もあり、長期利用者で満床となり稼働率が上がっているが、送迎件数は約40%の減少となっている。

弊害としては、短期間・定期利用の利用者の受け入れが難しくなっているが、長期利用で居室がほぼ埋まることにより安定した実績に繋がっている。

今後も、本入所の退所者が出てしまった際の迅速な入所者の確保も見据え、併設特養入所希望者で維持する方が、施設全体の運営安定も図れることから、積極的に長期利用（入所希望）者の受け入れを行なっていく。

本入所を希望される方に安定して利用頂く為にも、他施設との顧客獲得競争を勝ち抜けるような介護技術は当然として、接遇技術や職員の知識向上にオンライン研修などを活用し、全介護職へ必ず受講できる教育の機会を設け、意識と技術向上を図る必要がある。

余計な人員が必要になってしまう事（業務効率の低下）に繋がる原因の一つとなっている、滞っている施設備品の修繕はもちろんのこと、業務に支障が出る前に機器の入れ替え計画が円滑に遂行できる状況が求められる。

また、指導する人員が足りないことから外国人人材へも十分な教育ができていない状況が続いている為、人員確保と既存職員の教育も急務である。

3. ケアハウスモモ

入居者の健康維持のため、感染症・食中毒予防や事故防止、防災・防犯対策の情報発信と協力体制を強化していくことが求められる。

多職種連携により生活支援を充実させ、在宅サービスで対応困難となった際には、本人・家族の希望に沿った施設へ移行できるよう相談支援体制を広げていく必要がある。

居室設備の故障については資金調達方法も含め、計画的な修繕体制を整えることが課題となる。

4. デイサービスセンターモモ

2025年度は、新型コロナウイルス感染症に関してこれまでの規制が徐々に緩和されてきた1年間で、一部利用者には年間を通して風邪症状にて利用を控える方は大きく減少していた印象である。

一方で、新規利用者獲得にあまり繋がらず、平均参加人数が大幅に減少している為、その幅を少なくし、かつ一定に保つ事が今後の目標である。

新規利用者の獲得や既存利用者の増回による稼働率の維持と同時に、サービスの質の維持・向上に努めてく為にも、コミュニティセンターピノ・居宅サービスセンターモモ・ケアステーションナナとの法人内連携を図り、在宅部としても課題解決に取り組む必要がある。

5. 居宅サービスセンターモモ

ようやく居宅介護支援専門員への報酬の見直し等が行なわれることとなったが、それを獲得するためには、職場環境の整備・ケアプラン連携データシステムの導入などいくつかの要件があるので、十分に情報収集を行ないながら対応していくことで、職員のベースアップにも繋げていく。

2025年問題の印象としては、居宅事業所への紹介・相談が急激に増えた訳ではないが、高齢者全体で考えると要介護者・要支援者とも右肩上がりに増えている他、家族の反応も様々で、介護保険のルールを十分に理解できず理不尽な要求や身勝手な言動などもあるので、ケアマネジメント・相談業務の他にも、ハラスメント対応技術の向上も求められると感じる。

●ピノ拠点

地域密着型特養であるピノ拠点は、定員 29 名という小規模体制で運営しているため、稼働率の変動が経営に与える影響が大きい。

今後も安定した運営を継続するためには、入退所の調整を迅速化し、稼働率の維持・向上を図ることが重要な課題となる。

また、地域密着型特養は報酬単価が高い一方で、従来型特養とは異なる価値を提供できなければ入居希望者の確保が難しい。医療依存度の高まりや入居者の重度化が進む中で、受け入れ可能な範囲の明確化と、待機者の継続的な獲得が必要となる。

さらに、介護人材の確保は年々困難になっており、職員の定着支援や働きやすい職場環境の整備が不可欠である。限られた人員で質の高いケアを提供するためには、業務の効率化や ICT の活用も進めていく必要がある。

経営面では、加算要件の複雑化や物価高騰の影響もあり、収支の安定化に向けた取り組みが継続的な課題となっている。短期入所・通所介護事業所とも連携し、法人全体での利用率向上と地域ニーズへの対応を図ることが求められる。

6. コミュニティホームピノ

地域密着型特養として地域に根差し、地域に開かれた施設作りが今後も重要となる。

2013年4月の開設から12年が経過し、13年目となる2026年度では、開設初年度から入居されていた1名も退去となってしまった。

2025年度の新規入居者は危険行動が見られる方が少ない一方で、認知症自立度・身体状況レベルが低く、介助を要する方が多かった。

その原因としては、取得加算維持の関係上、要介護3の受け入れが難しく、4・5の方を主体として受け入れた背景がある。

2025年度は9名の退居者に対し新規入居者が7名と、入居受け入れが追い付かぬ状況であった。

しかし、その空床（2部屋）をショートステイ長期利用者に使用頂くことで、2026年3月末時点での完全空床はゼロに留める事が出来た。

待機者の減少は継続的かつ重大な課題であり、申込者における「将来的に入所希望」の方も含め、待機者は20名弱となっている状況ではある。

しかし、それは時に「申込後即入所が可能」な場合もあるので、これを利点として訴求していくとともに、ショートステイ長期利用者の空床利用を調整し、総合的な稼働率の維持に繋げていきたい。

2025年度中には非常勤（時給者）ではあるが介護職員の直接雇用につながった例が多く、派遣職員の比率は2024年度の約8割から4割まで低減したが、職員配置はユニット1人対応が主とならざるを得ない状況は相変わらずであり、職員指導時間の確保には限度が見られている。

サービス提供に関して一層の質の向上を図る必要があるが、サービスの質の向上・運営面の見直しが必要となっている。

7. ショートステイピノ

新型コロナウイルスやインフルエンザ感染の流行が未だ残っているものの、2025年度は施設内での感染拡大には繋がらず、ショートステイを一時閉鎖する事なく運営する事が出来た。

しかし、職員の感染は未だ生じており、今後も継続し感染症対策は必要である。

2026年度のショートステイピノは、長期で利用される方を積極的に受け入れ、10部屋のうち6~7部屋を常時埋める事を目指していく。

長期利用者を多く受け入れる事で、日々、入退所に伴う変化があるショートステイユニットの業務内容が安定してくるメリットもある。

職員配置に関しては1ユニットに対し職員1人での対応を取らざる得ない状況である為、事故リスク等の軽減には至らない状況。

当日入所者の受入れ時も職員1人での対応が可能であるかが問題になる事も多い為、早急な雇用状況の改善も必要である。

8. コミュニティセンターピノ

2023年4月に「地域密着型通所介護」として事業所を再開してから3年が経過した。

昨年度夏以降より増加した契約終了者の影響を受けたまま新年度のスタートを切ったが、さらに5月に契約終了者の影響で平均利用人数が7.3人（登録者が21名）と減少傾向になってしまった。

2025年8月以降多少の増減はあるものの、徐々に登録者も増え、平均利用者数も確保できるようになってきていが、最終的に新年を迎え一番冷え込む2月末より平均利用者数は減少に転じてしまった。

2025年は2024年と比較し微増（8%）で終えることが出来た1年であったが、結果、月平均参加人数12.6名以上の目標達成はできず、継続的に営業を行なったが増加には転じていない。

その為、新規登録者の確保・既存登録者の利用増回を緊急の課題と考え、他のデイサービスで行っていないサービスの提供を考え対応し、他事業所のケアマネジャーに周知していくことが今後必要であり、まず初めに法人内児童福祉施設との交流の機会を作り、世代間の交流も含めたサービスの提供を行なっていく。

●ナナ拠点

サービス付き高齢者向け住宅であるナナ拠点は、同じ自立型施設であるケアハウスモモと比較しても、入居者の費用負担が大きいことから、入居希望者に対して明確な価値を示す必要がある。

また、近隣にも複数のサ高住が存在し、24時間体制の支援や医療連携を強みとする競合施設も少なくないため、地域の中で選ばれるための差別化が求められる。

2025年度は新規入居者の受け入れが進んだものの、32室の満室には至らず、入居率の向上は引き続き重要な課題である。

今後も安定した入居者獲得のためには、外部への情報発信や相談支援機関との連携強化など、積極的なアプローチが必要となる。

また、サ高住としての価値を高めるためには、ケアハウスモモとの差別化に加え、近隣サ高住以上のサービス水準や安心感を提供できる体制づくりが求められる。地域密着型拠点であるピノ拠点とも連携し、地域に開かれた施設としての役割を強化することで、地域住民からの信頼と認知度向上を図る必要がある。

9. フレイグラントオリーブナナ

2025年度は年度初めから年度末まで入居者27名と変わらず、満室(32室)には至らなかった。

引き続き見学会開催などで満室に向けた認知度を上げる努力が必要であると同時に、既存入居者に末永く住み続けて頂く為に、安心や生活の満足度を高める対策に、これまで以上に取り組まなければならない。

10. ケアステーションナナ

2024年4月の介護報酬改定により、同一建物内(フレイグラントオリーブナナ)の高齢者を担当した場合の報酬は5%減収となり、また、要支援認定の人数換算がそれまでの2分の1から3分の1となっている(担当可能人数が増える)為、稼働率並びに介護報酬の低下傾向が続いている。

2018年9月に居宅介護支援事業所としての事業変更以降7年目となるが、2025年2月に事業所の現管理者が主任介護支援専門員を取得した為、事業の継続(配置基準)に支障はなくなった。

2026年度も引き続き積極的に新規獲得を目指し、稼働率100%を目指していく。

自法人在宅サービスであるデイサービス・ショートステイを既に利用中の担当高齢者はいるが、モモ・ピノともに特定事業所集中減算の適用を考慮してもケアマネ事業所として利用できる枠は未だ残されている為、公平中立を念頭に置いた質の高いケアマネジメント・利用者のニーズに合ったサービスの提供を行っていく。

同時に、自法人施設サービスの特別養護老人ホームモモ・コミュニティホームピノ・ケアハウスモモ・フレイグラントオリーブナナの空き状況も把握し、入居相談・紹介等を通して各施設の稼働率安定に協力出来るようにする。



施設ケアマネジメント（モモ）

1. 会議開催日数

平均して4.2回/月、延べ51日/年の開催日数となっている。

新規入所による初回ケース会議は2024年度と比べ若干の減少が見られるが、年間通しての開催日数自体は前年とほぼ同回で推移している。

2026年度も利用者およびその家族主体でのスケジュールリング（介護保険更新時期との連動及び状態変化による）を継続していく。

2. ケース会議の役割

ケース会議を、日常生活の様子を家族に伝える場、家族から入居前の生活歴等を伺う場として活用し、今後のケアに繋げていく。

また、これまで同様に家族と施設職員との情報交換の場としての役割も担い、家族と職員間のコミュニケーションを図る重要な会議と位置づけ定期開催していく。

ケース会議は本人・家族の意向を確認し、今後のケアの方向性を定め、具体的に提供するサービスを提案し、同意を得る契約の場でもある。

感染症等による面会制限時や家族都合により紙面開催となった場合に於いては、日常生活の様子や課題抽出に至った経緯についてできるだけ詳細に伝え、理解・同意を得られるよう対応していく。

会議開催日数

単位：日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ
2025年度	5	7	4	4	3	2	4	7	5	4	2	4	51
2024年度	4	9	5	5	2	1	4	5	3	3	7	4	52
2023年度	6	5	3	5	6	5	3	5	4	5	5	2	54

※紙面開催含む

計画作成回数

単位：人

	初回	2回目	3回目	4回目	5回以上	延べ
2025年度	25	23	12	7	17	84
2024年度	27	17	9	5	25	83
2023年度	22	20	7	8	27	84

対象者数

単位：人

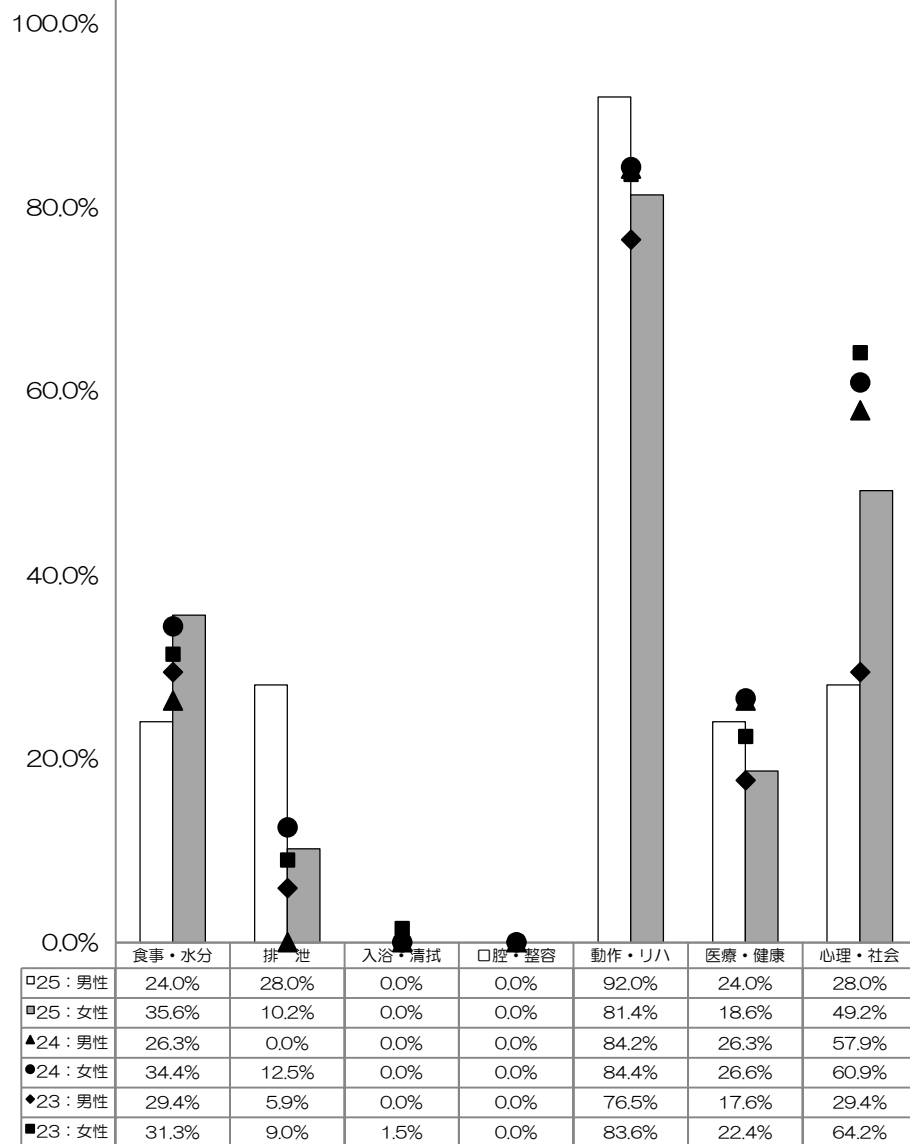
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ	平均
2025年度	8	10	6	6	5	3	7	9	7	8	9	6	84	7
2024年度	6	13	10	8	5	3	5	9	7	5	4	8	83	6.9
2023年度	7	8	5	8	10	10	4	7	8	6	9	2	84	7.0

家族（含：後見人等）出席率

単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2025年度	88	90	100	83	80	67	57	78	86	38	11	33	68
2024年度	100	100	90	100	80	100	100	78	86	60	100	100	91
2023年度	100	88	60	88	70	90	100	100	63	67	100	50	83

項目別ケアプラン立案傾向（男女別 / 割合）



3. ケアプラン立案傾向からみた入居者像

三団体方式における「ケアチェック表」を基に、当施設における課題分析・計画立案状況から入居者像を見出してみる。

※実数値はひとりあたり複数回答が存在するために省略。

※項目別の立案件数を、各年度の延べ対象者数で割ったものを%表示。

「動作・リハビリ」項目でのニーズ（課題立案）は毎年最も多くあがっている。

入居者の高齢化に伴い、身体能力の低下した入居者の介助度が高まっている事、また、認知症を患った入居者の判断力低下と、それによる予測不能な危険行動による事故リスクの増大が主な要因と考えられる。

「心理・社会」項目も変わらず高い割合を示している。

認知症の進行により精神面でのフォローが必要となった入居者が多数を占める一方、自立度の高い入居者も一定数居り、身体介助が不要な分、QOLの向上に重きを置いた課題・立案が成されている。

加齢や認知症の進行により、嚥下機能や食事量の低下した入居者が多数居る事、それらの入居者の大半が看取り介護に移行する事から、「食事・水分」項目も毎年一定の割合を維持している。

入居者の高齢化や看取り介護の実施により、「食事」項目同様「医療・健康」項目も一定の割合を維持している。

入居者の重度化により、今後さらに日常的な医療処置のニーズが増大していく事が予測される。

4. 認定調査

コロナ禍前までは、自施設入居者への認定調査実施に対する保険者（市区町村）の意向は実施「してもよい」という主旨であった。

また、高齢者福祉施設では中立・公平性確保の観点から、自施設入所者の認定調査は併設居宅介護支援事業所で認定調査に携わっている職員であっても実施しないようにしてきた。

それが2022年1月の「オミクロン株の爆発的流行」により調査員の確保が困難となり、保険者の意向も実施「してもらいたい」という主旨に代わり、外部からの調査員入館による「相互の感染症発症リスクを抑える」観点からも内部職員による認定調査実施の合理性・必要性が高まる。

当初は併設居宅介護支援事業所の調査員で対応（2022年1月～12月：延べ31件の認定調査を実施）していたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況増悪に伴う認定調査依頼件数増加への対応として、特別養護老人ホームモモとして2022年11月1日付にて受諾契約を締結。

施設介護支援専門員が認定調査員研修を経て自施設入所者の認定調査を保険者に代わって行なうこととなった。

当初方針である「自施設入所者の認定調査は併設居宅介護支援事業所の職員であっても実施しない」に戻す予定とはしているが、行政の調査員の確保が困難な状況が継続しているのか、保険者の意向も変わらない点や、2026年1月にはモモで疥癬蔓延や近年の季節性インフルエンザの流行の早期化および長期化を受け、2025年度も引き続き受諾契約更新の手続きを行っている。

a. 実施数

単位：人

	男性	女性	合計	前年比
2025年度	7	13	20	142.9%
2024年度	3	11	14	116.7%
2023年度	4	8	12	171.4%

b. 依頼保険者

単位：人

	県外	市外	市内	合計
2025年度	0	0	20	20
2024年度	0	0	14	14
2023年度	0	0	12	12

c. 月毎の実施状況

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1	2	0
女性	1	2	0	0	0	0	3	0	3	2	1	0
合計	1	2	0	1	0	1	4	1	4	3	3	0
保険者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相模原市	1	2	0	1	0	1	4	1	4	3	3	0
市外依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	2	0	1	0	1	4	1	4	3	3	0

d. 実施者プロフィール

単位：人

介護度	性別	年 齢（●●歳代）							割合 (%)
		50	60	70	80	90	100	合計	
介護1	男性	0	0	0	0	0	0	0	5.0
	女性	0	0	0	1	0	0	1	
	合計	0	0	0	1	0	0	1	
介護2	男性	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	
介護3	男性	0	0	0	1	0	0	1	25.0
	女性	0	0	0	1	3	0	4	
	合計	0	0	0	2	3	0	5	
介護4	男性	0	0	1	2	1	0	4	35.0
	女性	0	0	0	2	1	0	3	
	合計	0	0	1	4	2	0	7	
介護5	男性	0	0	0	2	0	0	2	35.0
	女性	0	0	1	3	1	0	5	
	合計	0	0	1	5	1	0	7	
合計	男性	0	0	1	5	1	0	7	
	女性	0	0	1	7	5	0	13	
	合計	0	0	2	12	6	0	20	
割合 (%)		0.0	0.0	10.0	60.0	30.0	0.0		

施設の介護支援専門員が個人宅または他の入居系施設で認定調査を実施する事はなく、上記は全て特別養護老人ホームモモ入居者が対象である。

2025年度に於いては、併設居宅介護支援事業所のケアマネジャーによる認定調査は行なわれていない。

N Home ursing

特別養護老人ホームモモ

2025年度の稼働率は92.9%と、目標値達成には至らなかった。

新規入所者数28名に対し退所者数24名であり、退所者数より新規入所者数が多く推移する事が出来たが、年度開始時点での入居者人数が少なかった点と上半期に退所者が集中した点が年間稼働率低下の要因となった。

新型コロナウイルスや季節性インフルエンザの発生はなかったものの、2026年1月に疥癬による皮膚感染症が蔓延。

対応経験があまりない感染症の発生という事もあり、感染対策も関係各所へ協力頂きながら手探りで行ない、終息までには2ヶ月程を要した。

世間では新型コロナウイルスに対する認識が低くなってきており、季節性インフルエンザの流行の早期化や長期化を見ると、感染症全体へ認識が低くなってきていると感じるが、高齢者福祉施設としては入居者の生命に直結しかねない為、感染症の発生は危険と再認識していくと共に、陽性者が発生した場合には関係各所にて協力し、迅速に感染対策を行なっていく必要がある。

施設の老朽化から設備などに故障が見られてきているが、修繕費用の捻出が困難なケース（箇所）も多く、対応が停滞している。

入居者の生活基盤維持・職員の効率的業務遂行の為に、稼働率の向上・目標稼働率の達成による収入の安定に努め、環境整備費用の捻出を図る。

1. 入所待機状況

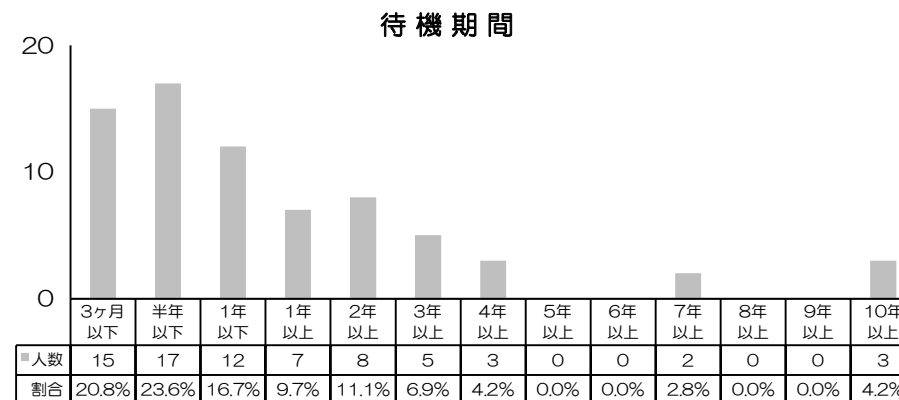
a. 地域別・待機期間別待機者

待機者数：72名（男性：27名・女性：45名）

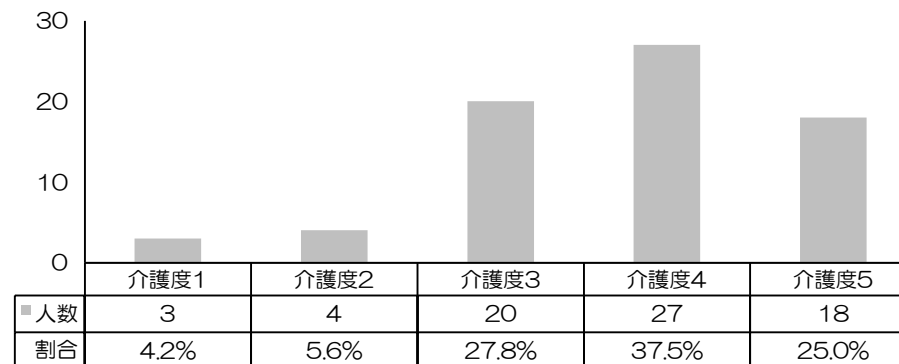
※2025年度待機者郵送調査未実施

※2025年度申込者56名(入所済・取り下げ者含む)

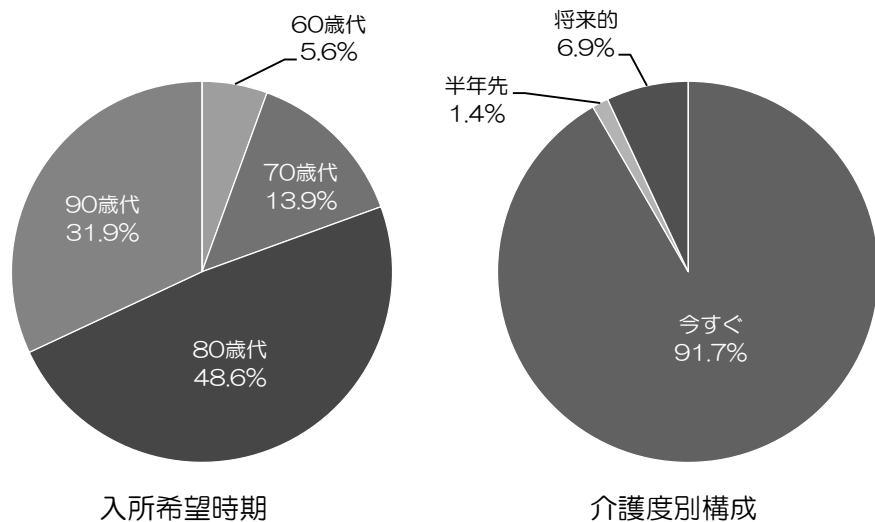
地域別数：区内/40人・市内/24人・市外/8人



b. 待機者介護度（除：要支援移行・期限切）



c. 待機者年齢・入所希望時期



※2025年度新規入所者（28名）における待機期間

平均：104.3日間（最長：682日間・最短：8日間）

※2026年3月31日現在の最長待機日数：5322日間

単位：人

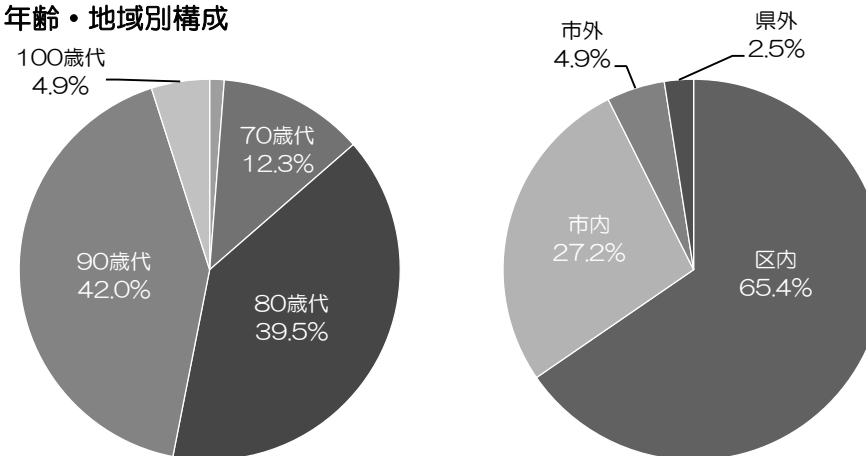
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
今すぐ入所したい	0	2	19	27	18	66
半年先ぐらいには入所したい	0	0	1	0	0	1
1年先ぐらいには入所したい	0	0	0	0	0	0
将来的に必要な時に入所したい	3	2	0	0	0	5
不明・無回答	0	0	0	0	0	0
合計	3	4	20	27	18	72

2. 入所者の現況

（2025年度実績者延べ：82名）

2025年度入所者の年齢構成としては、90歳以上が全体の約42%を占めており超高齢化傾向である。70歳代が12.3%と減少傾向にあるが、2025年1月からの日常生活継続支援加算再取得による平均介護度上昇に伴い、平均年齢も比例して上昇していくと思われる。

a. 年齢・地域別構成



●年齢構成 単位：人（延べ） / () 内は前年度数

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0 (0)	0 (0)	6 (6)	11 (5)	5 (6)	0 (0)	22 (17)
女性	0 (0)	1 (0)	5 (5)	22 (29)	29 (27)	3 (4)	60 (65)
全体	0 (0)	1 (0)	11 (11)	33 (34)	34 (33)	3 (4)	82 (82)

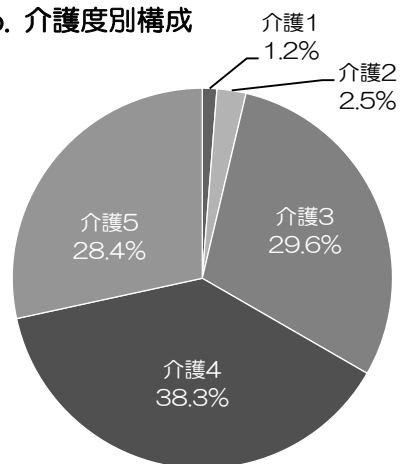
●地域 単位：人（延べ）

地域	男性	女性	合計
相模原	19 (15)	57 (62)	77 (77)
その他	3 (3)	4 (2)	6 (5)
合計	22 (17)	59 (65)	82 (82)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	95歳（94歳）	72歳（75歳）	84歳 4ヶ月（83歳 11ヶ月）
女性	102歳（103歳）	67歳（77歳）	88歳 11ヶ月（89歳 4ヶ月）
全体	102歳（103歳）	67歳（75歳）	87歳 7ヶ月（88歳 2ヶ月）

※（ ）内は前年度数値

b. 介護度別構成



看取り対象者を主に3階で、認知症周辺症状が顕著である方を主に2階で受け入れている事により、平均介護度のフロア差が生じている。

2025年1月より再取得となった日常生活継続支援加算を取得維持していく為にも、平均介護度は今後も上昇していくものと思われる。

全体

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0(0)	0(0)	9(5)	7(9)	6(3)	4.00(4.05)
女性	1(1)	2(2)	14(22)	26(25)	17(15)	3.93(3.78)
合計	1(1)	2(2)	23(27)	33(34)	23(18)	3.95(3.83)

※（ ）内は前年度数値

2F（特養入所・短期入所混在）

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男性	0	0	4	4	3	(4.57)	10
女性	1	1	5	4	3	(3.43)	15
合計	1	1	9	8	6	(3.65)	25

3F（特養入所のみ）

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男性	0	0	8	3	3	(3.87)	14
女性	0	1	6	22	14	(4.22)	43
合計	0	1	14	25	17	(4.14)	57

c. 身体障害手帳

単位：人（延べ）

	重度		中度		軽度		合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
男性	1	0	0	0	0	0	1
女性	0	1	1	1	0	1	4
合計	1	1	1	1	0	1	5

内訳	肢体不自由	心臓機能障害	言語障害	視覚障害	聴覚障害	精神障害	合計
	3	0	0	0	1	1	

d. 健康保険

単位：人（延べ）

後期高齢者医療	国保	健保	生活保護	合計
80	1	被扶養者	医療扶助	
				0

e. 介護保険負担限度額認定

単位：人（延べ）

第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階	合計
1	11	7	14	49	82

3. 入所者の生活状況

2025年度としては、4月から10月の上半期に変動が多く見られたが、下半期になり落ち着く。

冬季退所者発生も少なかったが、1月より疥癬蔓延による入所案内停止により満床に至る事が出来なかった。

a. 入退所状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	5	3	3	4	1	4	5	0	1	2	0	0	28
退所	2	3	3	3	3	4	0	1	1	2	0	2	24

※退所理由：看取り / 19名
療養型医療施設転院 / 3名
他施設入所 / 2名

看取りによる退所者数には前年度比でも大きな変化はないが、延命治療の希望による介護医療院や胃瘻造設による他特養移動があり、退所者の減少には対応可能医療体制の強化が必要であると考えられる。

b. 看取り

単位：人

件数	年齢	性別	介護	在園日数	呼吸停止発見 (時刻)	死亡診断 (時刻)	ご遺体搬送 (時刻)	曜日 昼夜
1	99	女	3	1074日	2025.04.13 (08:15)	2025.04.13 (09:50)	2025.04.13 (10:35)	日 日中
2	78	女	4	70日	2025.05.01 (04:12)	2025.05.01 (04:50)	2025.05.01 (07:03)	木 夜間
3	94	女	4	490日	2025.05.13 (19:20)	2025.05.13 (21:07)	2025.05.13 (22:45)	火 夜間
4	94	女	3	2日	2025.06.17 (06:35)	2025.06.17 (10:19)	2025.06.17 (11:30)	火 日中
5	92	男	3	818日	2025.06.17 (17:35)	2025.06.17 (20:22)	2025.06.17 (21:05)	火 夜間
6	82	女	5	954日	2025.07.24 (04:07)	2025.07.24 (05:14)	2025.07.24 (07:03)	木 夜間
7	90	女	4	274日	2025.07.26 (00:50)	2025.07.26 (01:40)	2025.07.26 (02:50)	土 夜間
8	87	女	4	21日	2025.08.03 (21:28)	2025.08.03 (23:43)	2025.08.04 (01:05)	日 夜間
9	94	男	3	1435日	2025.08.17 (18:45)	2025.08.17 (20:49)	2025.08.17 (21:35)	日 夜間
10	75	男	3	488日	2025.08.18 (23:00)	2025.08.19 (00:01)	2025.08.19 (00:40)	月 夜間
11	102	女	2	3188日	2025.09.17 (12:40)	2025.09.17 (14:00)	2025.09.17 (14:30)	水 日中
12	97	女	4	1643日	2025.09.20 (00:05)	2025.09.20 (00:50)	2025.09.20 (02:00)	土 夜間
13	84	男	4	60日	2025.09.20 (16:30)	2025.09.20 (17:24)	2025.09.20 (20:30)	土 夜間

b. 看取り

単位：人

件数	年齢	性別	介護	在園日数	呼吸停止発見 (時刻)	死亡診断 (時刻)	ご遺体搬送 (時刻)	曜日 昼夜
14	86	女	4	1255日	2025.09.28 (15:08)	2025.09.28 (16:01)	2025.09.28 (17:55)	日 夜間
15	91	女	4	15日	2025.11.14 (02:14)	2025.11.14 (03:28)	2025.11.14 (05:30)	金 夜間
16	89	女	4	2112日	2025.12.21 (16:20)	2025.12.21 (17:45)	2025.12.21 (18:15)	日 夜間
17	100	女	4	827日	2026.01.22 (01:34)	2026.01.22 (02:18)	2026.01.22 (05:37)	木 夜間
18	91	女	5	329日	2026.3.24 (12:20)	2026.3.24 (15:21)	2026.3.24 (19:30)	火 日中
19	89	男	5	327日	2026.3.27 (10:25)	2026.3.27 (12:40)	2026.3.27 (14:15)	金 日中

2025年度看取り対応者は19名(前年度比90.4%)で、うち12名(総数比:63.2%)の呼吸停止発見が夜間帯となっている。

しかし、関係各所の協力にて、昼夜問わず呼吸停止発見から搬送まで滞りなく完了する事が出来ている。

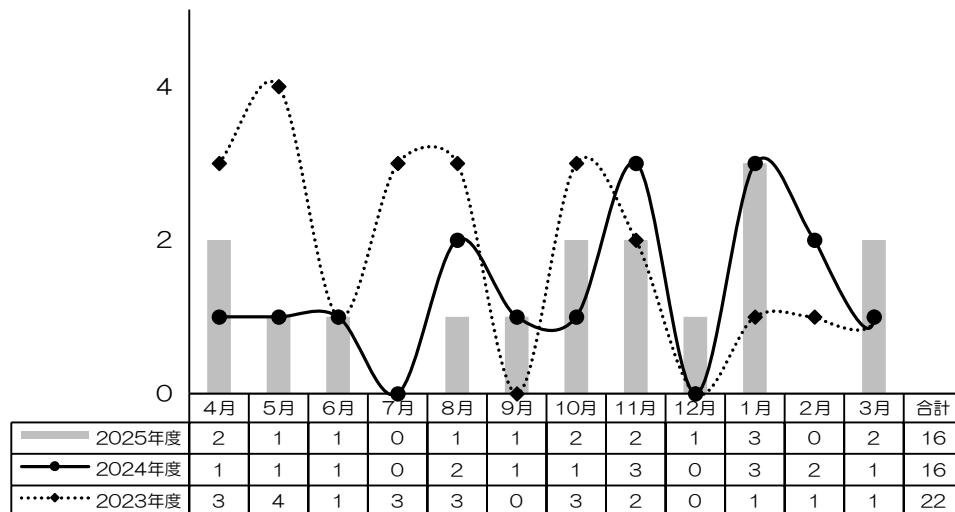
呼吸停止確認からの対応時間経過

	死亡診断所要時間	遺体搬送所要時間	対応総時間
平均	1時間35分	1時間33分	3時間08分
最長	3時間44分	4時間09分	7時間15分
最短	0時間38分	0時間30分	1時間40分

嘱託医は24時間往診(死亡診断)可能であるが、通常診療や臨時往診と多くの患者を担当している事もあり、施設到着に時間を要する場合もあるが、呼吸停止発見から死亡診断までの平均は1時間35分と、非常に迅速に対応頂けている。

c. 入院状況

単位：人



※2025年度延べ入院日数：323日

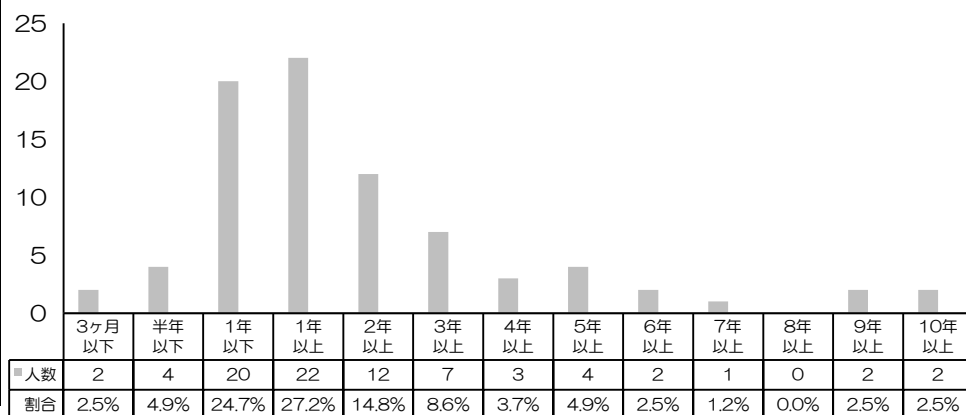
最長入院日数：78日(誤嚥性肺炎)

最短入院日数：02日(白内障手術)

平均入院日数：19日

d. 入所(在園)期間

単位：人

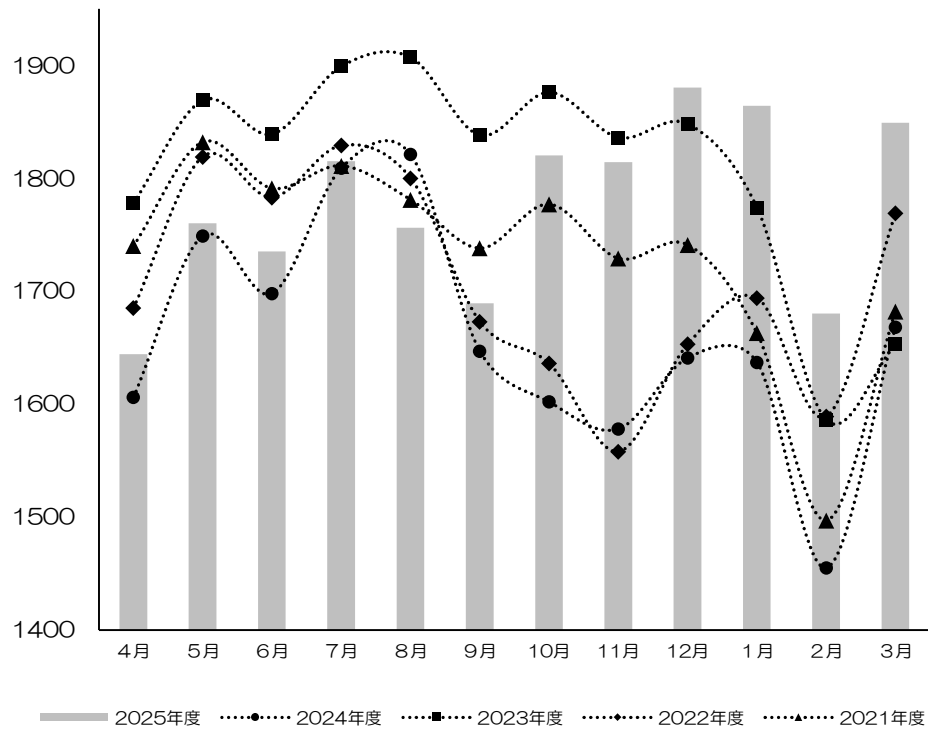


e. 在籍状況（入院・外泊を含む）

単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2025年度	1644	1760	1735	1815	1756	1689	1820
2024年度	1606	1749	1696	1809	1821	1647	1602
2023年度	1778	1869	1839	1899	1907	1838	1876
年度	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
2025年度	1814	1880	1864	1680	1849	21306	107.0%
2024年度	1578	1641	1637	1455	1668	19909	93.6%
2023年度	1836	1848	1774	1586	1653	21703	105.9%

単位：人（延べ）



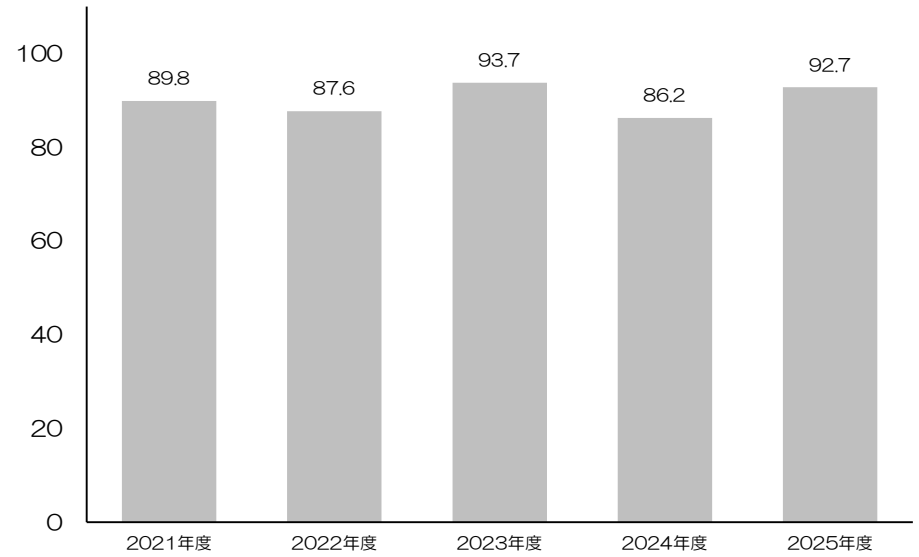
※2021年2月1日

短期入所の転換により定員が 本入所 56 ⇒ 62 名・短期入所 16 ⇒ 8 名となる。

f. 稼働率比較（入院・外泊を除く）

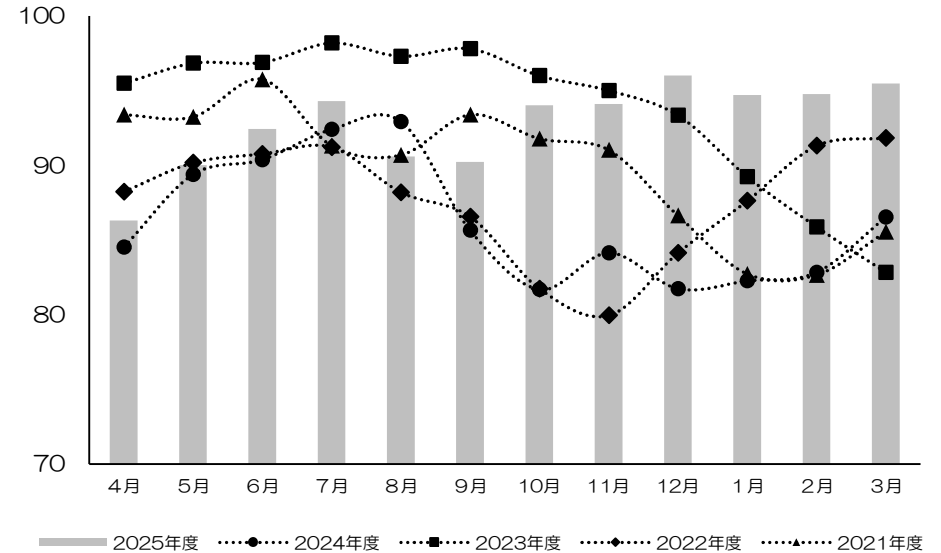
（年間平均稼働率）

単位：%



（月間稼働率）

単位：%



g. 認知症の状況

単位：人

HDS-R 得点	正常範囲		準認知症		認知症			合計
	30~ 26点	25~ 21点	20~ 16点	15~ 11点	10~ 6点	5~ 0点	不能・ 未検査	
6月	2025年度：未実施							
8月								
12月								

h. 日常生活動作状況

単位：人

項目	状態及び人数					
視力	普通/不明	58	弱視	2	全盲	0
聴力	普通	54	やや難聴	6	難聴	2
言語	普通	50	やや不自由	5	不自由	5
意思疎通	普通	41	多少困難	10	困難	9
食事	自立	33	一部介助	13	全介助	14
入浴	自立	3	一部介助	30	全介助	27
着脱衣	自立	3	一部介助	39	全介助	18
排泄	自立	10	一部介助	20	全介助	30
オムツ等	なし	2	紙パンツ	28	オムツ	42
移動	自立	3	杖・歩行器	3	車椅子	56

※紙パンツ・オムツ併用者(夜間オムツ対応)あり。

看取り対象者の増加に比例し介助量も増加。

特に食事摂取介助者・オムツ対応者・車椅子対応者の増加が顕著である。

i. 外出・外泊の状況

単位：人

来訪 回数	0~ 10回	11~ 20回	21~ 30回	31~ 40回	41~ 50回	51~ 60回	61回 以上
		29	20	13	10	2	2
外泊	年未年始	0	その他	1	合計	1	
外出	年未年始	0	その他	21	合計	21	

※外出は家族・関係者によるもの。施設行事による外出は含まず。

2025年度は、5月12日より面会制限を緩和し予約不要でのフロア面会再開。

(看取り期の方の面会に対しては制限を撤廃し家族希望に沿って面会実施)

外出に関しても、昼食外食可能とし制限緩和を行なった。

外泊に関しては、ご家族希望にて1件実施。

j. 月例行事催行状況

種別	実施頻度	行事内容
誕生会	月1回(第4水曜日)	当月の誕生者(短期入所含む)を祝福。
家族食事会	中止	誕生者家族を招いて昼食を個別に楽しむ
レクリエーション	毎日	風船バレー・体操・談話・カラオケ・合唱 囲碁・将棋・オセロ・ボール遊び など
理髪室	月1回(第1月曜)	利用希望者(散髪・髭剃り(男性のみ))
喫茶室	中止	普段とは変わった飲み物や甘味類を楽しむ
合唱会	中止	昔懐かしい曲等伴奏に合わせての合同合唱

※中止行事の理由は新型コロナウイルス感染症予防対策

k. クラブ活動(月例)

種別	実施頻度	実施場所
生け花	中止	3階リハビリコーナー
書道 音楽クラブ	新型コロナウイルス感染症予防対策に伴い、ボランティア・講師の来訪を中止した結果、活動自体も未実施となる。	

l. 会議（定例/含：職員向け）

種別	開催頻度	検討内容
特養課会議	月2回 (第2・4金曜日)	介護・看護・栄養・短期入所 各部署間の連絡調整及び認識統一
リーダー会議	月1回 (第2金曜日)	各フロアの状況報告・部署内連絡事項・予定/改善事項を検討
給食会議	月1回(第4水曜日)	食ごとにまつわる事項の検討
事故対策委員会	月1回(第2金曜日)	発生した事故の分析や事故防止の検討
拘束検討委員会	月1回(第2金曜日)	拘束状況代替策や改善の検討
ケース会議	年1回/一人 基本 状況変化時は随時	入所者の現況分析・ケア目標や計画検討
感染症対策委員会	1回/3ヶ月 (第2金曜日)	流行性感染症/一般感染症についての対策・予防等の検討
褥瘡対策委員会	月1回(第2金曜日)	褥瘡への対策・予防の検討
食中毒対策委員会	1回/3ヶ月 (第2金曜日)	食中毒への対策・予防の検討
施設部会	月1回(毎週火曜)	特養/ケアハウスの施設における状況や結果及び今後の対応策の検討

n. 苦情

2025年度は0件。

m. 年間行事/その他予定（入所者の生活に直接関わるもの）

開催日	行事	内容
5/16	春季健康診断	入所者の健康診断
6月予定	風船バレー大会	中止
9/ 8	神輿見学	1F デイ活動室内にて見学
9月予定	カシオペア祭	中止
10月予定	施設対抗運動会	中止
12/ 5	インフルエンザ予防接種	入所者の予防接種
12/18	コロナウイルスワクチン 接種(令和7年度摂取)	入所者の予防接種
1/1~3	初詣	中止
3月予定	花見外出	近隣へ花見見物

※季節/祝日等に伴う「祝膳」は特養課行事としての記載を省略：栄養課報告にて代替え

※新型コロナウイルス感染症予防対策のため行事等は中止が多く見られている。

4. 医務室

a. 疾患状況

単位：人（延べ）

	人数		人数
心疾患	23 (19)	歯科疾患	76 (60)
消化器疾患	11 (16)	ガン疾患	7 (8)
脳神経疾患	4 (3)	糖尿病	10 (5)
精神科疾患	8 (7)	高血圧症	30 (38)
整形外科疾患	25 (18)	慢性間接リウマチ	2 (1)
腎機能疾患	5 (5)	ホルモン疾患	1 (0)
肝機能疾患	2 (0)	老人性認知症	72 (71)
脳血管障害	21 (16)	泌尿器科疾患	13 (15)
呼吸器疾患	2 (1)	皮膚科疾患	7 (6)

※（ ）内は前年度数値

b. 看護処置

単位：人（延べ）

処置内容	人数
創処置	10 (5)
軟膏塗布	72 (58)
点眼	12 (21)
坐薬挿入	7 (8)
湿布	14 (12)
フランドルテープ	0 (0)
吸入	1 (1)
フットバス	0 (0)

※（ ）内は前年度数値

c. 服薬管理

単位：人（延べ）

時間帯	人数
朝食時	77 (70)
昼食時	36 (36)
夜食時	73 (66)
就寝前	27 (15)
便秘時	70 (60)

※（ ）内は前年度数値

d. 認知症行動障害

単位：人（延べ）

状態	人数	状態	人数
自傷行為	1 (1)	人物誤認	10 (8)
夜間せん妄	2 (3)	作話	9 (10)
興奮・奇声	5 (3)	摂食異常	16 (14)
徘徊	3 (3)	盗癖・収集癖	0 (0)
攻撃的行為	6 (5)	被害妄想	7 (8)
不潔行為	8 (7)	躁鬱状態	3 (2)

※（ ）内は前年度数値

e. インフルエンザ 予防接種

単位：人

入所者数	接種数
60	46

※入院・家族希望により 14 名未接種。

f. 医療管理者

単位：人（退居者含）

処置内容	人数
胃瘻（造設者含む）	0 (1)
留置カテーテル	11 (15)
膀胱瘻	0 (0)
喀痰吸引	15 (16)
褥瘡	5 (4)

※（ ）内は前年度数値

g. 定期診察

提携医	精神科医	歯科往診
木曜日/月 2 回	月 2 回	毎週水士

※精神科医往診は、2025年11月30日をもって契約終了。

S Stay hort-term

ショートステイモモ

2025年度の年間稼働率は94.4%。

前年度（57.6%）比で36.8%増加している。

原因としては、定期的に利用頂いていたリピーターが、在宅生活継続が困難となり本入所を希望され長期利用になった例が多数あった事である。

問い合わせを頂いた殆どの方が、同様に在宅生活困難になり併設特養への本入所を前提として長期利用を希望されるケースが多くなっている。

その影響もあり、長期利用者で満床となり稼働率が上がっているが、送迎件数は約40%の減少となっている。

弊害としては、短期間・定期利用の利用者の受け入れが難しくなっているが、長期利用で居室がほぼ埋まることにより安定した実績に繋がっている。

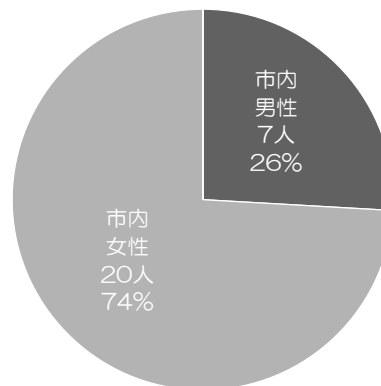
また、ショートステイから併設特養本入所への移行が8名、他施設への本入所者が1名と、施設入所で9名が契約終了となっている。

2024年度同様に、受け入れ可能居室が満床の際に問い合わせがあった場合には、法人内の別事業所であるショートステイピノへ紹介を行なった結果、モモに空きが出来るまでピノを利用されたケースもある。

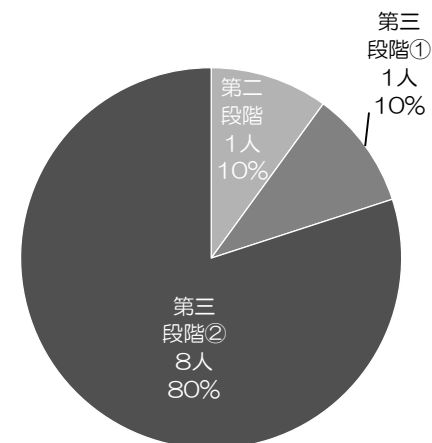
2026年度は、本入所希望者の受け入れはもちろんの事、食事の申し込みが前日の14時までに必要なこともあり、リピーターの臨時利用の受け入れが困難な為、長期利用希望の新規顧客の受け入れを積極的に行ない、稼働率が安定するよう対応をする。

1. 利用者プロフィール（年度内実績者23名の内訳）※2026.03.31現在

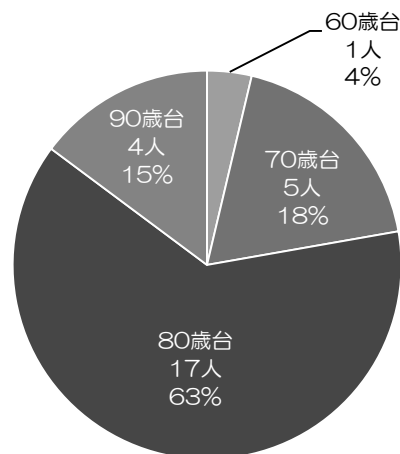
地域別割合



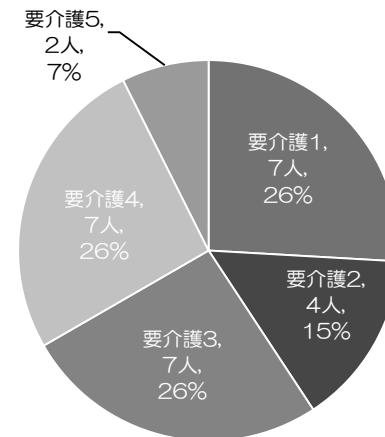
介護保険負担限度額認定



年齢別構成



要介護度別構成



平均年齢：84.35歳【最高齢：97歳（女性） / 最年少：67歳（女性）】

施設部関連 / ケア入居者（2人）・特養本入所移行（8人）

在宅部関連 / デイ併用（5人）・居宅モモ/ナナ担当（延：10人）

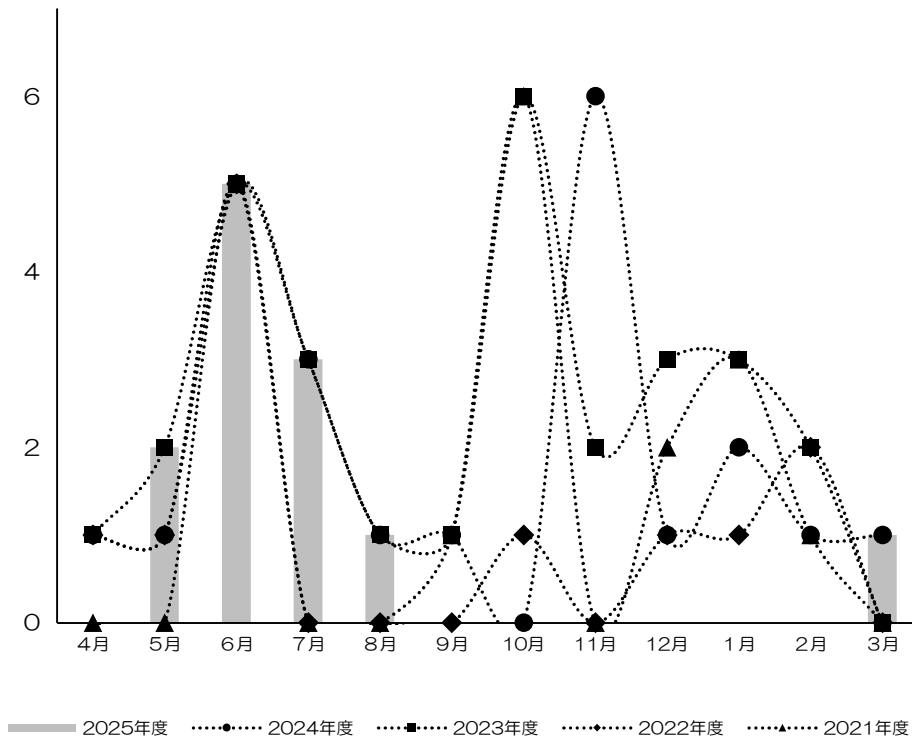
2. 年間の利用状況

a. 契約数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
女	0	2	3	3	0	0	0	0	0	0	0	1	9
合計	0	2	5	3	1	0	0	0	0	0	0	1	22
前年	1	2	5	3	1	1	6	2	3	3	2	0	23

単位：件



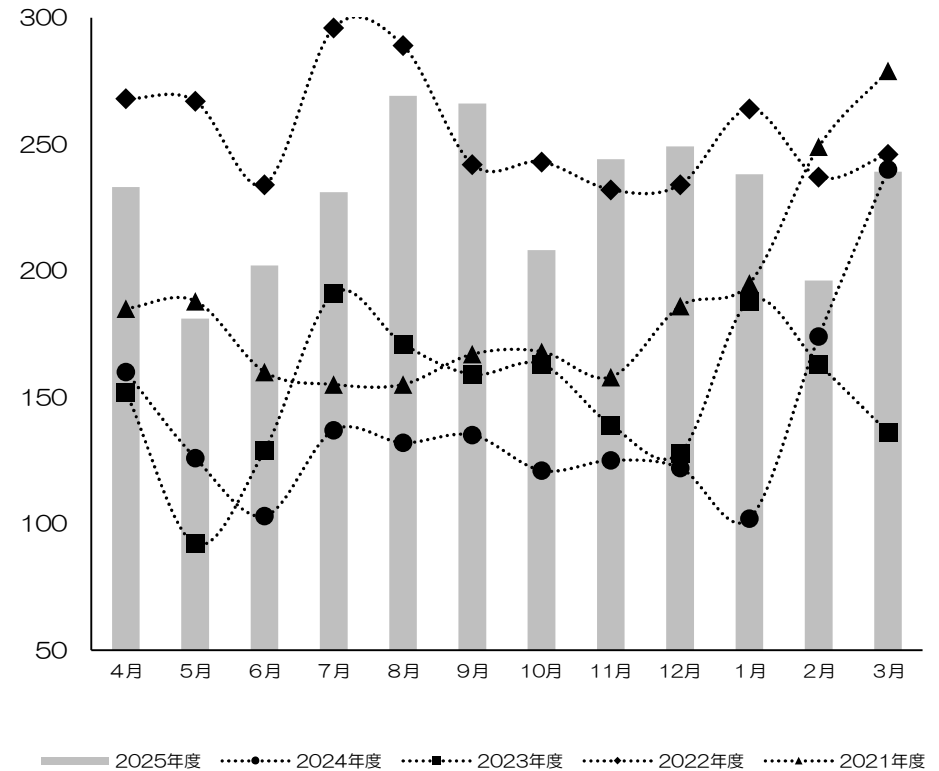
b. 稼働状況

単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2025年度	233	181	202	231	269	266	208
2024年度	160	126	103	137	132	135	121
2023年度	152	92	129	191	171	159	163

年度	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
2025年度	244	249	238	196	239	2756	164.3%
2024年度	125	122	102	174	240	1677	92.6%
2023年度	139	128	188	163	136	1811	59.0%

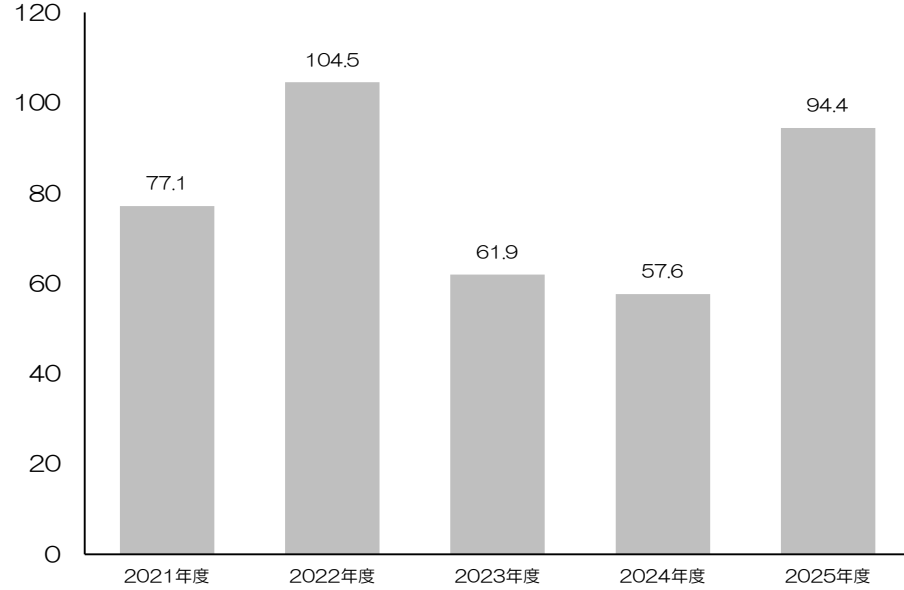
単位：人



c. 稼働率比較

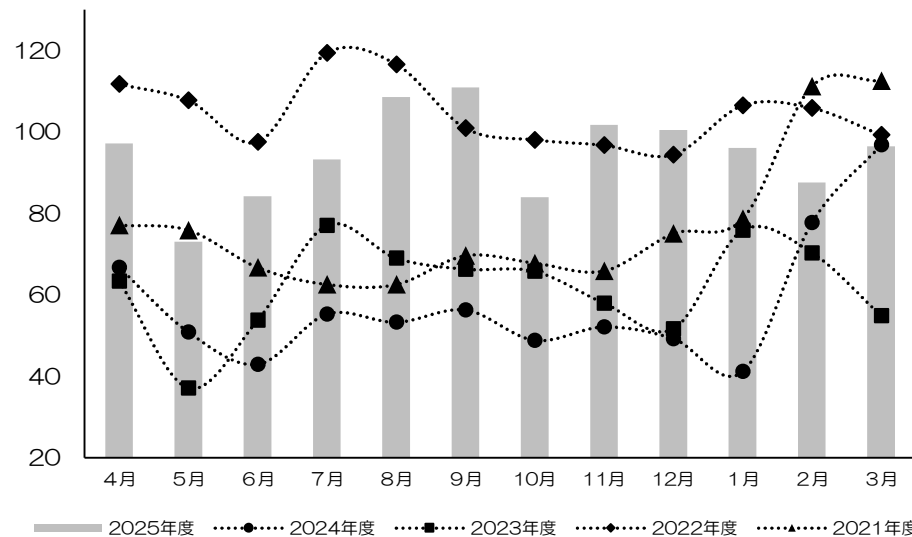
(年間平均稼働率)

単位：%



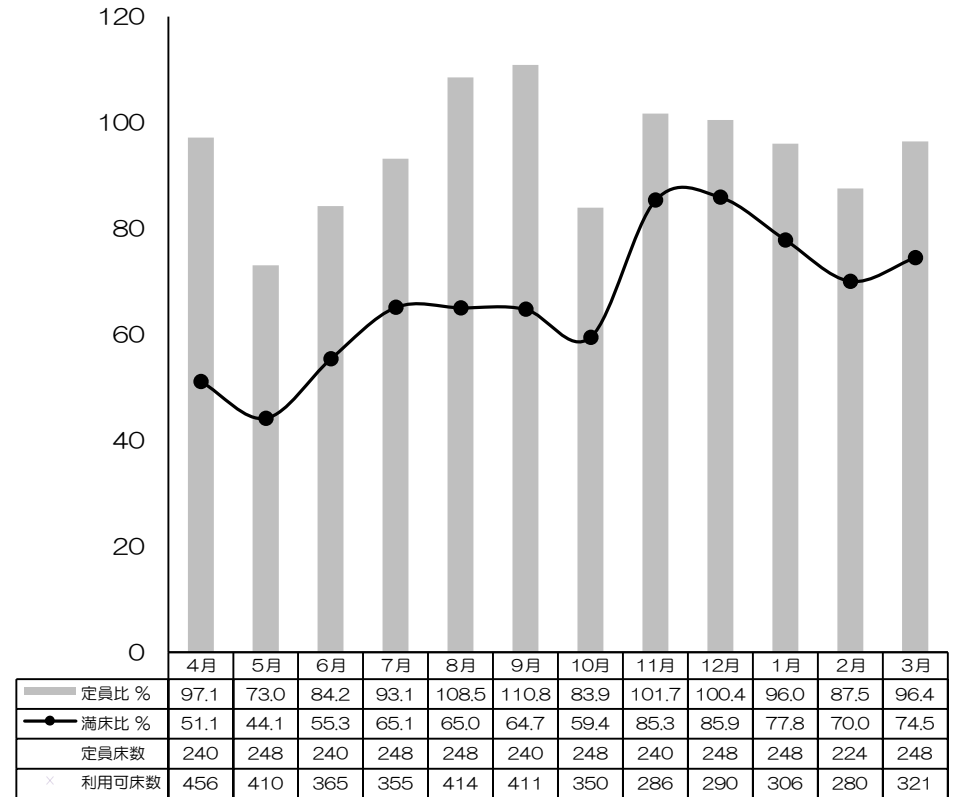
(月間稼働率)

単位：%



(定員比 / 満床比の比較)

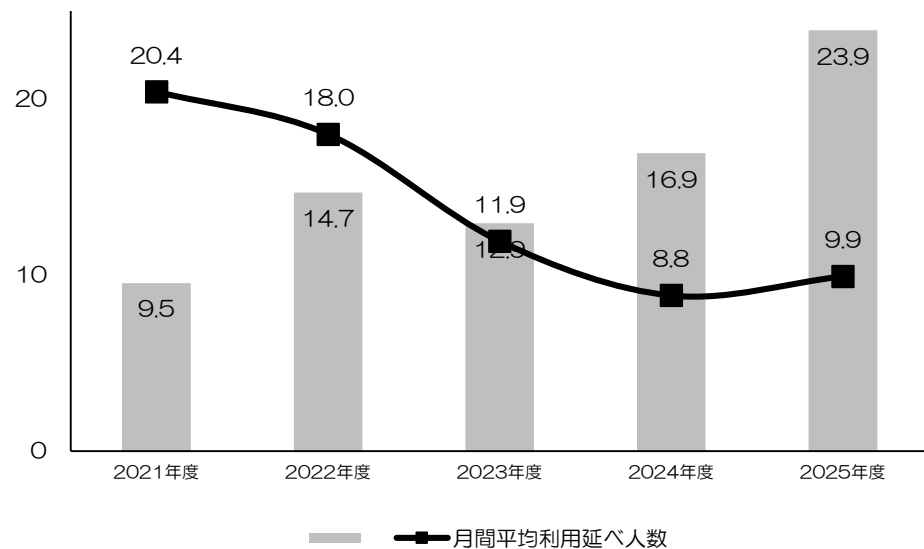
単位：%



※満床比 = 特養入所者用の空床ベッドも含めた「利用可能床数」に対する比率

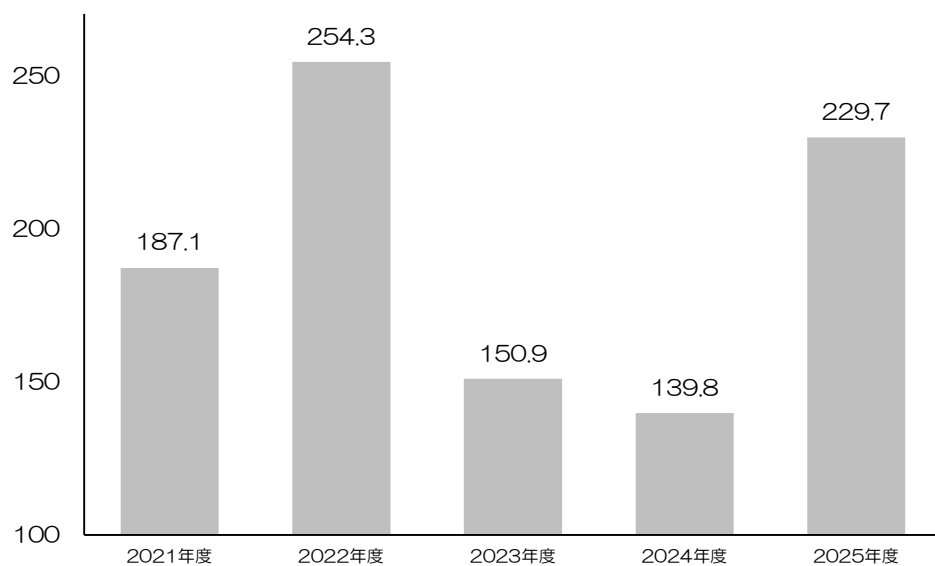
3. 利用者の傾向

a. 一人当たりの平均利用日数&月間平均延べ利用人数



b. 月間平均延利用日数

単位：日

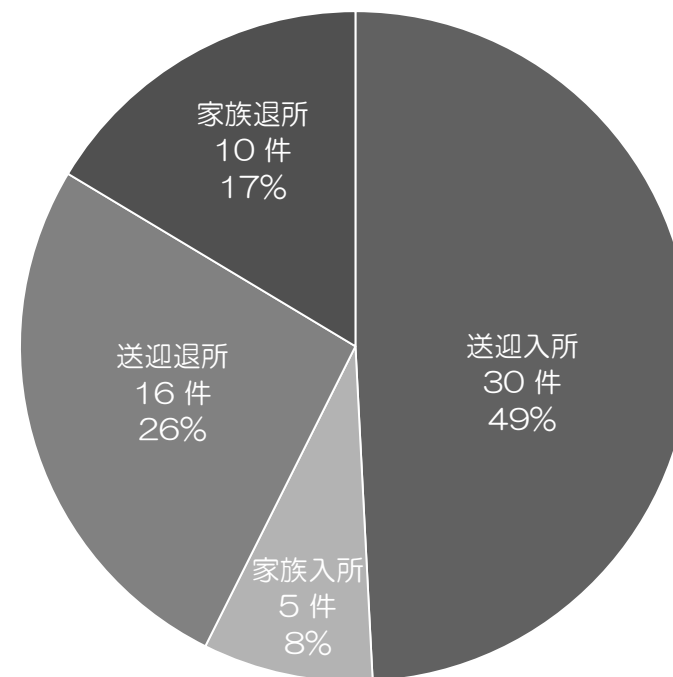


c. 月毎の入・退所件数及び送迎状況

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入所	4	3	4	7	6	4	2
退所	3	4	4	2	7	4	1
合計	7	7	8	9	13	8	3
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	内：家族
入所	4	0	0	0	1	35	5
退所	1	0	0	0	0	26	10
合計	5	0	0	0	1	61	15

(入・退所件数の内訳)



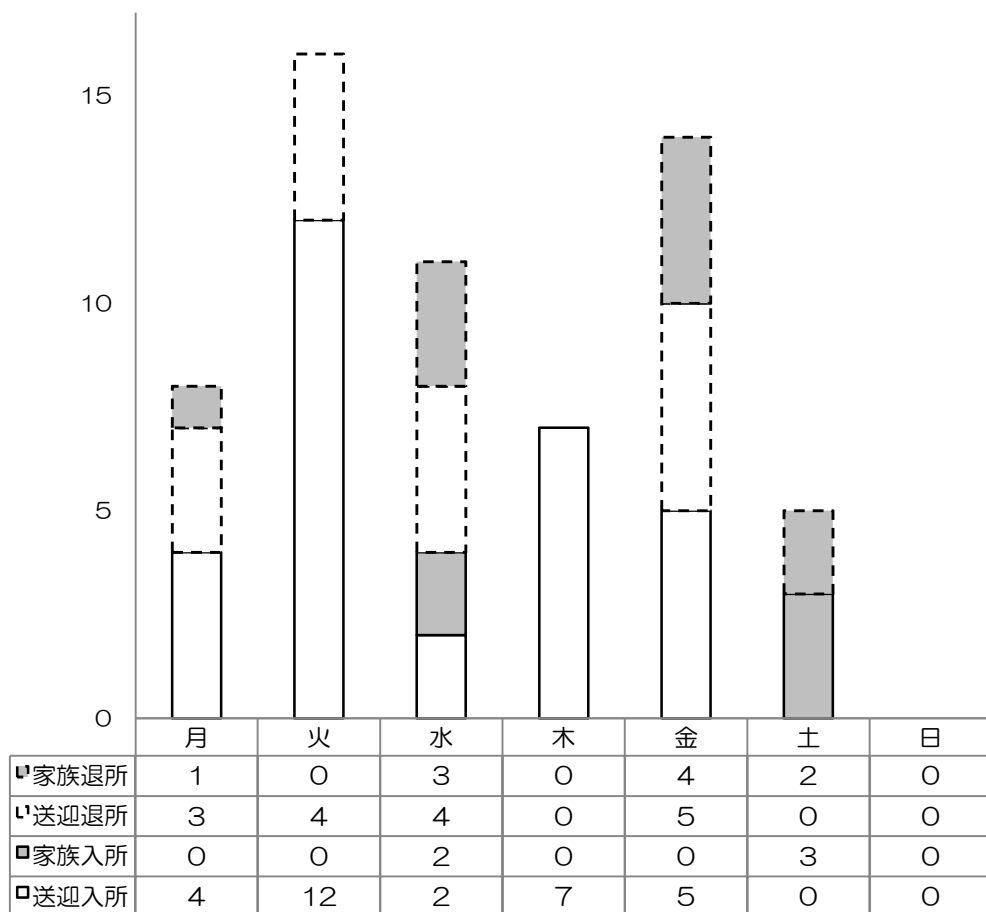
d. 曜日毎の入・退所件数及び送迎状況

単位：件

	月	火	水	木	金	土	日
入所	15	9	10	13	6	1	3
退所	5	5	9	15	8	4	2
合計	20	14	19	28	14	5	5

(入・退所件数の内訳)

単位：件



e. 曜日毎の利用状況

単位：人

月/曜	月	火	水	木	金	土	日
4月	30	40	40	31	32	30	30
5月	23	24	23	29	30	29	23
6月	33	27	28	27	28	27	32
7月	29	36	37	39	30	30	30
8月	35	37	35	34	44	42	42
9月	43	42	36	37	37	36	35
10月	27	27	33	33	34	27	27
11月	31	32	33	34	34	40	40
12月	41	40	40	32	32	32	32
1月	31	31	31	38	38	38	31
2月	28	28	28	28	28	28	28
3月	38	39	31	31	31	31	38
合計(人)	389	403	395	393	398	390	388
%	14.1	14.6	14.3	14.3	14.4	14.2	14.1
平均(人)	32.4	33.6	32.9	32.8	33.2	32.5	32.3

※ 割合(%) = 年度延べ利用人数「2756人」に対する比率

長期利用されている方が多い影響で、曜日別利用状況のばらつきは少なくなっている。

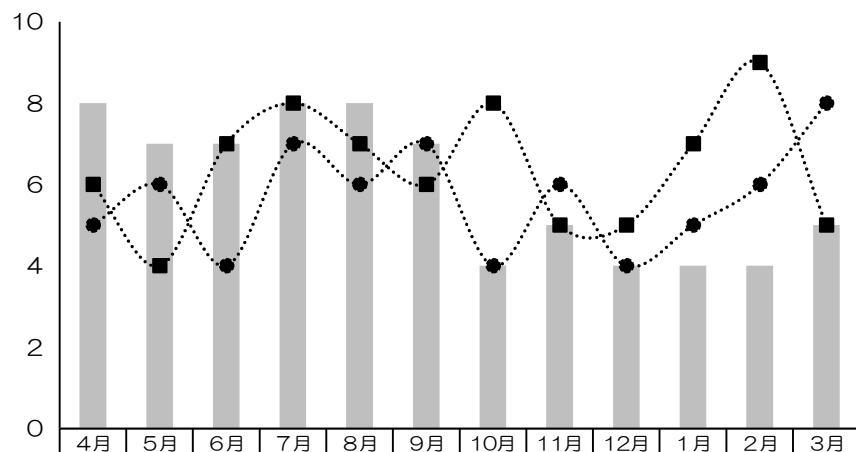
長期利用者主体での運用により、インフルエンザ流行期にもキャンセルの発生も無く、施設内で疥癬が発生してしまった際も、職員の迅速な対応によりショート利用者への感染は無く安定した実績に繋がっている。

但し、退所(本入所や入院等)が生じた時にはその居室の利用予定がすべてキャンセルとなる為、一時的な全体稼働率の低下に繋がってしまうが、長期利用希望者の中には従来型施設利用希望の方が多く、ピノでお待ち頂いた方も含め、すぐにまた次の方を長期で利用案内できている為、大きな実績の低下には至らなかった。

4. 他事業所との関わり

a. 利用事業所件数（居宅モモ・ナナ除く）

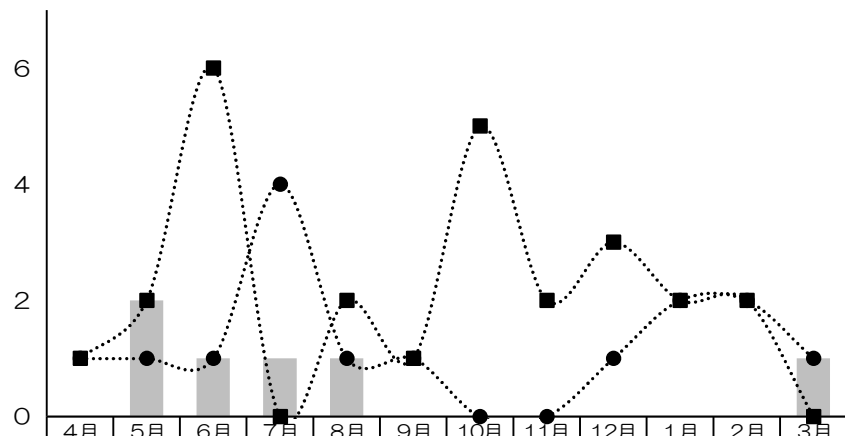
単位：件



2025年度	8	7	7	8	8	7	4	5	4	4	4	5
2024年度	5	6	4	7	6	7	4	6	4	5	6	8
2023年度	6	4	7	8	7	6	8	5	5	7	9	5

b. サービス担当者会議出席件数（居宅モモ・ナナ含む）

単位：件



2025年度	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1
2024年度	1	1	1	4	1	1	0	0	1	2	2	1
2023年度	1	2	6	0	2	1	5	2	3	2	2	0

5. 苦情

2025年度・・・3件

6. 事故

年度を通して事故は9件。

昨年と比較し2件減少。

受診や賠償を要するレベルの重大事故が2件（賠償は1件自力移動時の事故）発生したが、無事に治療、賠償を行い円満に解決をしている。

7. 情報整理

過去1年以上利用がない方々の契約書及びその他資料を区分け保管。

※再利用時には介護保険制度改定等により「再契約」「再面接」とした。



施設ケアマネジメント（ピノ）

1. 会議開催日数

新型コロナウイルス感染予防の観点から、2020年度よりピノ館内でのケース会議は開催せず郵送でのプラン内容確認をしてきたが、2025年度も人員体制の問題により郵送での確認となっている。

新規入居者は入居日より開始の暫定プランを作成し、契約時に家族等に説明・同意を得ている(この時を会議開催日として数えている)。

入居2ヶ月目をめどに作成した本プランを家族等に郵送し、内容確認と同意を依頼している。以降、要介護認定の更新時期に合わせて基本1年間の長期目標・半年間の短期目標を設定、目標終了月（年2回）に再度作成したケアプランを家族等に郵送し、目標達成度の評価・更新/追加内容の確認・施設に対する要望の聞き取りを実施している。

また、退院後・心身状態の急激な低下時・区分変更に伴う要介護度変更時・その他必要時には随時変更プランを作成し、郵送にて確認をとる。

2. ケース会議の役割

入居者の日常生活の様子を報告し現プランの評価を行ない、現状の問題・課題は何か、それを解決する為のサービス（目標）はどういったものかを検討し、サービス計画表を郵送にて家族等に報告をしているが、家族等の要望や疑問点を把握する事が難しい。今後再開するであろう対面でのケース会議でしっかりと確認をするようにしていきたい。

会議開催日数（ピノでの開催）

単位：日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ
2025年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024年度	1	0	1	3	1	1	0	0	1	0	0	0	8
2023年度	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	5

計画作成回数

単位：人

	暫定	初回	2回目	3回目	4回以上	延べ	
2025年度		2	3	5	4	27	41
2024年度		8	8	7	6	30	59
2023年度		5	6	8	8	32	59

対象者数

単位：人

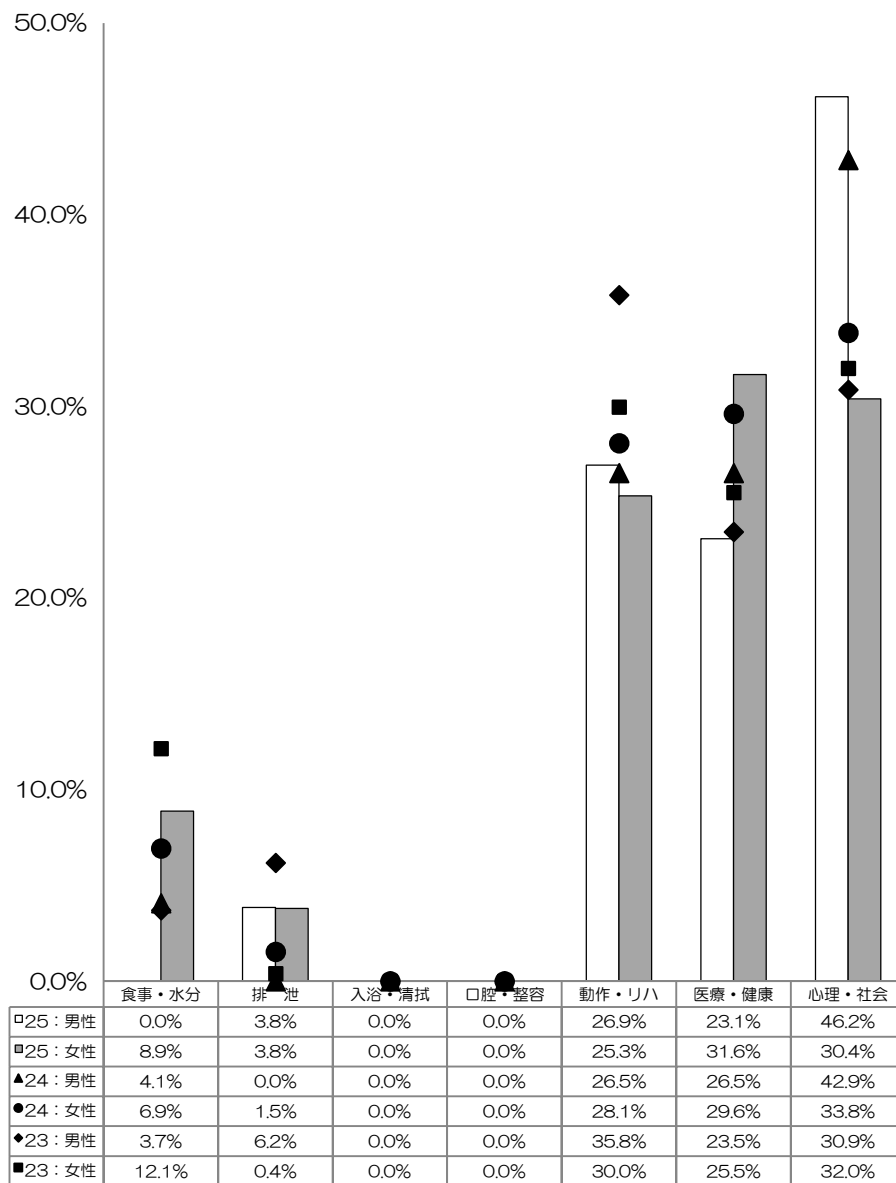
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ	平均
2025年度	5	6	6	4	4	4	6	5	5	3	3	4	55	4.6
2024年度	3	4	5	7	8	7	1	5	5	5	6	4	60	5.0
2023年度	6	5	3	4	7	7	7	5	2	4	5	4	59	4.9

家族（含：後見人等）出席率

単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2025年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024年度	33	0	20	43	13	14	0	0	20	0	0	0	13
2023年度	0	0	33	25	14	14	0	20	0	0	0	0	8

項目別ケアプラン立案傾向（男女別 / 割合）



3. ケアプラン立案傾向からみた入居者像

24時間シート・個別アセスメントシートを介護士が作成し、ユニットにて最終チェックを行ない、ケアマネジャーがケアプランを作成している。当施設における課題分析・計画立案状況から入居者像を見出してみる。

※実数値はひとりあたり複数回答が存在するために省略。

※項目別の立案件数を、各年度の延べ対象者数で割ったものを%表示。

「動作・リハ」「医療・健康」「心理・社会」の項目に課題が集中している。

新規入居者も身体機能の低下が見られる方が多く、健康状態の確認が必要となっている。また、既存入居者の認知症の進行もあり、精神面の安定が求められること、新規入居者も同様の課題を抱えている事が多い為、この3点に集中したと考えられる。

入居者一人ひとりに向かい合うことで、その方の心の苦しみやこれまでと同様身体を動かさない辛さ、そこに付随するリスク管理を含めると、上位3点の項目が課題解決に向かう入居者のニーズとなり、家族等の希望にも繋がっている結果だと思われる。

ただし、その他の優先順位の高いニーズを見逃してしまっていないかに注意をする必要がある為、各入居者の生活状況を出来るだけ把握し、他項目の「食事・水分」「排泄」「入浴・清拭」「口腔・整容」の部分での課題を見逃さないアセスメント力をつけていけるようにしていきたい。

また、個人のこだわりや生活習慣に添ったケアプランの作成も出来るよう取り組んでいきたい。

今後もより深く入居者の課題を見つける為に、モニタリング・ケアチェックを実施し、ケアプランに反映していくようにする。

4. 認定調査

入居者数や職員配置状況が特別養護老人ホームモモとは異なる為、モモのように保険者と受諾契約は締結せず、自施設入居者の認定調査は外部調査員が実施している。

C Home ommunity

コミュニティホームピノ

既存入居者の心身状況の低下は、以前と比べると緩やかながら続いている。
退居者は2024年度7名であったが2025年度は9名であった。

新規入居者7名のうち3名はショートステイピノ（更にそのうち1名はケアハウスモモ）からの移行であり、法人併設事業所以外からの入所は、在宅：2名・介護老人保健施設：2名・グループホーム：1名であった。

9名の退居者のうちピノでの看取りは4名、入院の長期化が4名、入院から療養型病院への転院が1名であった。

待機者は年度末で12名。

2025年度内の新規申し込みは26名で、そのうち9名は入居されており、待機期間は短くなっている。

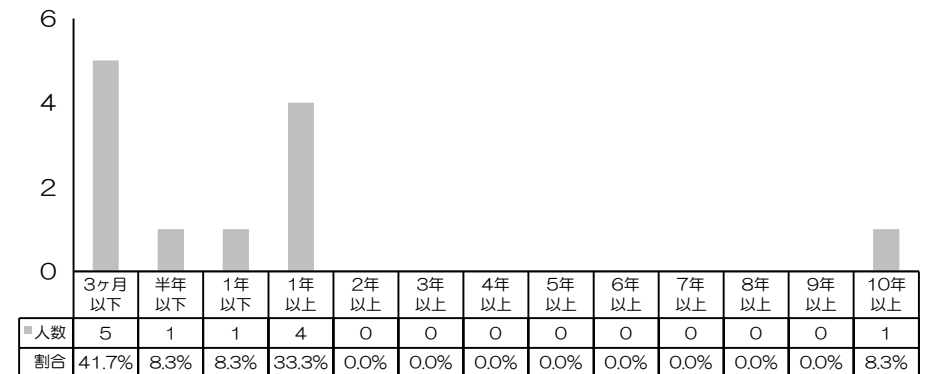
現在の待機者のうち将来的入所希望の方が4名、ピノの体制や医療処置が必要などで入居を進める事が難しい方が4名、介護1の方が1名であった。その他3名については受入れ可能な為、入居に向けた連絡を行なっている。

介護職員獲得困難の影響で、日常生活支援を優先せざるを得ず、行事がほぼ未実施で入居者の生活がマンネリ化してしまっている。

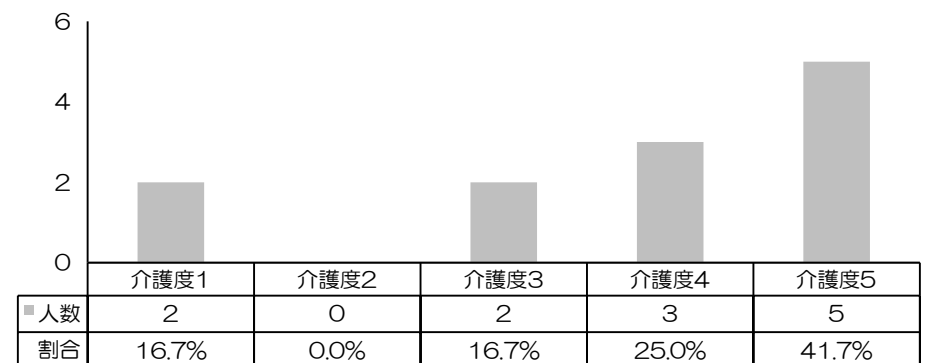
日々の勤務（シフト）を組む事で精一杯な状況も見られており、職員研修や勉強会の実施も困難であるが、個別ケアの質向上の為に今後も介護職員の教育は課題である。

1. 入居待機状況

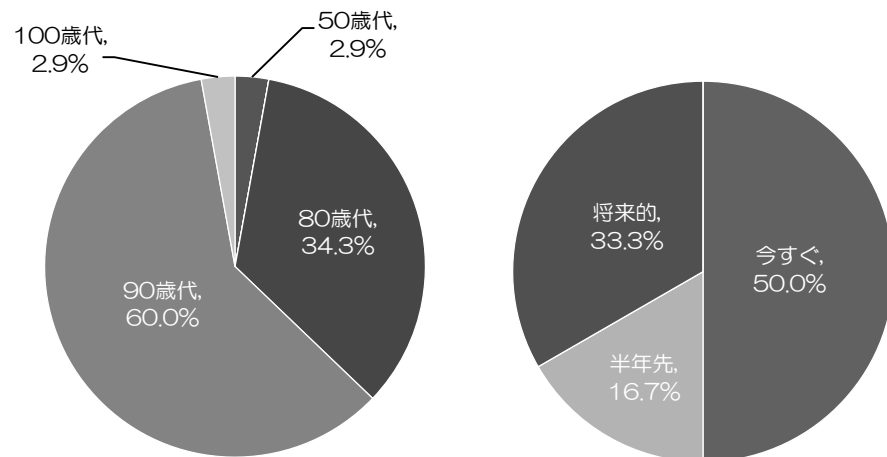
a. 待機期間別待機者



b. 待機者介護度（除：要支援移行・期限切）



c. 待機者年齢・入居希望時期



入居希望時期 介護度別構成

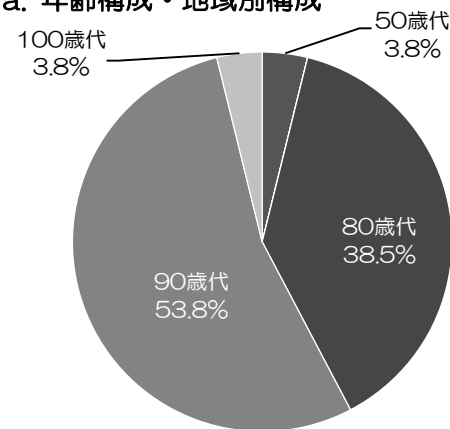
単位：人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
今すぐ入居したい	0	0	6	3	0	9
半年先くらいには入居したい	1	0	1	1	0	3
1年先くらいには入居したい	0	0	1	0	1	2
将来的に必要なになった時に入居したい	0	1	1	1	1	4
不明・無回答	0	0	0	0	0	0
合計	1	1	9	5	2	18

2. 入居者の現況

(2025年度実績者延べ：35名)

a. 年齢構成・地域別構成



●年齢構成

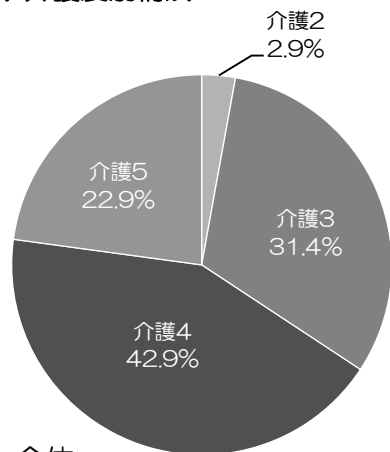
単位：人（延べ）

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0 (0)	0 (0)	0 (1)	4 (3)	1 (2)	0 (1)	5 (7)
女性	1 (1)	0 (0)	0 (0)	8 (7)	20 (20)	1 (0)	30 (28)
全体	1 (1)	0 (0)	0 (1)	12 (10)	21 (22)	1 (1)	35 (35)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	93歳 (106歳)	82歳 (77歳)	87歳 (88歳)
女性	100歳 (99歳)	57歳 (56歳)	91歳 (89歳)
全体	100歳 (106歳)	57歳 (56歳)	90歳 (89歳)

※（ ）内は前年度数値

b. 介護度別構成



全体

単位：人（延べ）※（ ）内は前年度数値

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0	0	2	2	1	3.80 (3.71)
女性	0	1	9	13	7	3.87 (3.92)
合計	0	1	11	15	8	3.86 (3.88)

E2ユニット

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男性	0	0	0	1	0	4.00	1
女性	0	0	2	8	2	4.00	12
合計	0	0	2	9	2	4.00	13

E3ユニット

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男性	0	0	2	1	1	3.75	4
女性	0	1	3	2	2	3.63	8
合計	0	1	5	3	3	3.67	12

W3ユニット

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男性	0	0	0	0	0	-	0
女性	0	0	4	3	3	3.90	10
合計	0	0	4	3	3	3.90	10

c. 身体障害手帳

単位：人（延べ）

	重度		中度		軽度		合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
男性	0	1	0	0	0	0	1
女性	1	0	2	0	0	0	3
合計	1	1	1	0	0	0	4

内訳	肢体不自由	心臓機能障害	言語障害	視覚障害	聴覚障害	合計
	2	1	0	1	0	

d. 健康保険

単位：人（延べ）

後期高齢者医療	国保	健保	生活保護	合計
34	1	被扶養者	医療扶助	
		0	0	35

e. 介護保険負担限度額認定

単位：人（延べ）

第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階	合計
0	2	2	7	24	35

3. 入居者の生活状況

a. 入退居状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	3	1	7
退居	0	0	0	0	1	0	1	3	2	1	1	0	9

※退居理由：看取り / 4名
 入院長期化 / 4名
 入院から療養型医療施設転院 / 1名

2025年度は新規入居者数7名・退居者9名であった。

4月に96.6%の稼働率でスタートし、6月には100.0%を達成。

しかし、年度内の新規入居者数が退居者数を下回り、更には退所が下半期に集中したことにより年度内に満床にはならず、年度末で27名（満床29名）にとどまってしまった。

待機者は継続して著しく少ない状況ではあるが、申し込みから入居までの日数が少ないという点を強みとして活かせるのではないかとも思える。

今後も新たな待機者確保の為、関係各部門との連携を行ない、特に併設短期入所（ショートステイピノ）の利用希望者を空床利用に繋げていく事で、全体稼働率の維持・向上を図っていく。

b. 看取り

単位：人

件数	年齢	性別	介護	在園日数	呼吸停止発見（時刻）	死亡診断（時刻）	ご遺体搬送（時刻）	曜日 昼夜
1	94	女	4	2672日	2025.10.03 (03:02)	2025.10.03 (04:04)	2025.10.03 (05:09)	金 夜間
2	93	女	4	1252日	2025.11.01 (06:10)	2025.11.01 (07:45)	2025.11.01 (08:25)	土 夜間
3	92	女	5	3390日	2025.11.11 (14:35)	2025.11.11 (15:55)	2025.11.11 (16:50)	火 日中
4	93	男	3	1043日	2026.01.15 (15:40)	2026.01.15 (15:48)	2026.01.15 (19:07)	木 日中

今年度の看取りは4名（前年度比400.0%）、平均在園日数は1460日（約5.7年）であった。

2019年度の看取り開始から、2025年度終了時点で25例の看取りを行なった。

息を引き取られる瞬間に立ち会うことができた家族はいなかったが、事前連絡も行き届くようになり、当日の夕方まで面会に来られていた等、家族からも終末期の在り方については比較的納得のお声を頂く事ができた。

呼吸停止確認からの対応時間経過

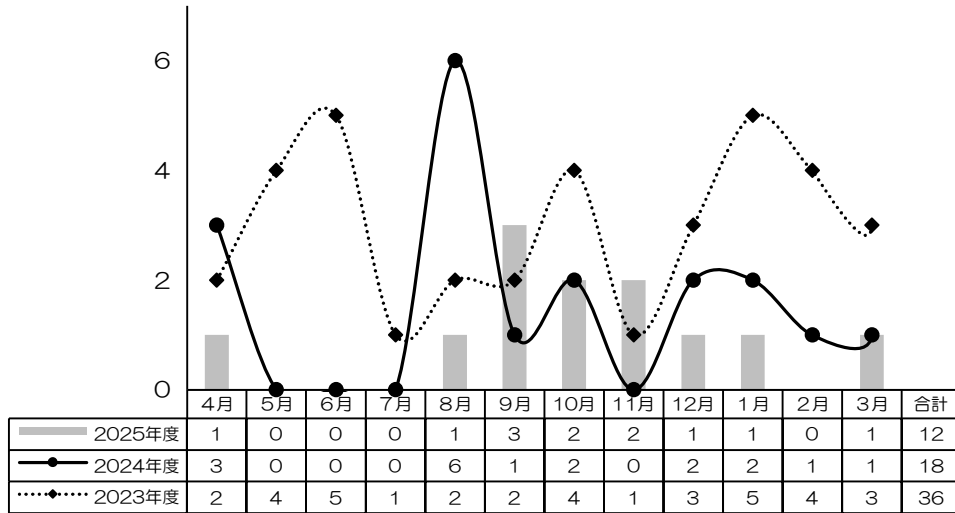
	死亡診断所要時間	遺体搬送所要時間	対応総時間
平均	1時間01分	1時間29分	2時間31分
最長	1時間35分	3時間19分	3時間27分
最短	0時間08分	0時間40分	2時間07分

嘱託医は24時間往診（死亡診断）可能であるが、日中は施設以外での通常診療も行なっており、夜間帯の方が呼吸停止確認連絡から施設来訪までの所要時間が短い傾向にある。

時間経過の最短事例は「嘱託医臨時往診中に呼吸停止を発見」という、極めて稀なケースとなった。

c. 入院状況

単位：人



※2025年度延べ入院者日数：376日

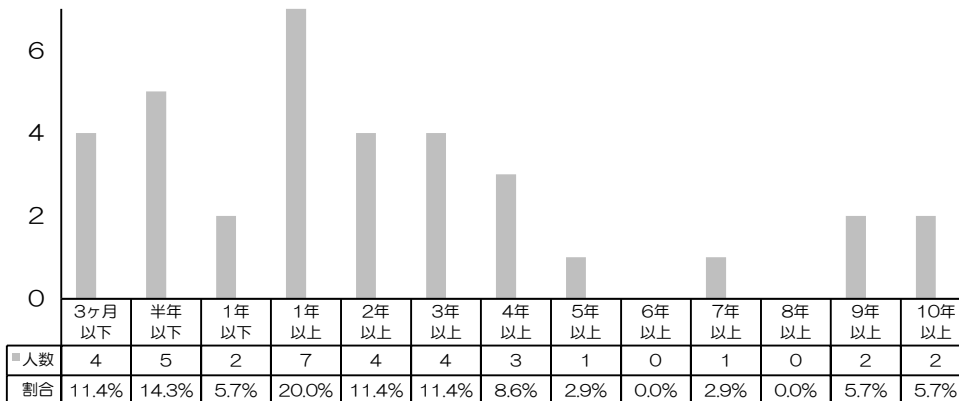
入院延べ人数は15名で2024年度比83.3%であった。

2名は複数回の入院となり、最多の方は3回/51日の入院となった。

最終的に療養型病院へ転院をされたが、ピノでの生活を望まれたの入退院の繰り返しであった。

d. 入居期間

単位：人

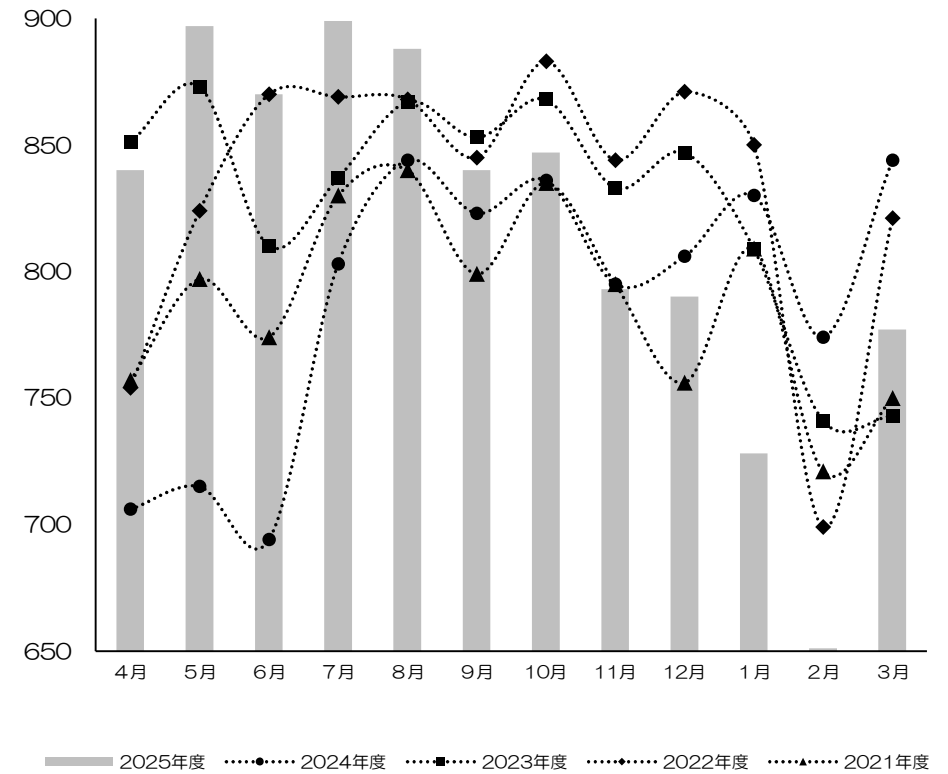


e. 在籍状況（入院・外泊を含む）

単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2025年度	840	897	870	899	888	840	847
2024年度	706	715	694	803	844	823	836
2023年度	851	873	810	837	867	85	868
年度	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比%
2025年度	793	790	728	651	777	9,820	102.0
2024年度	795	806	830	774	844	9,470	95.3
2023年度	833	847	809	741	743	9,932	98.9

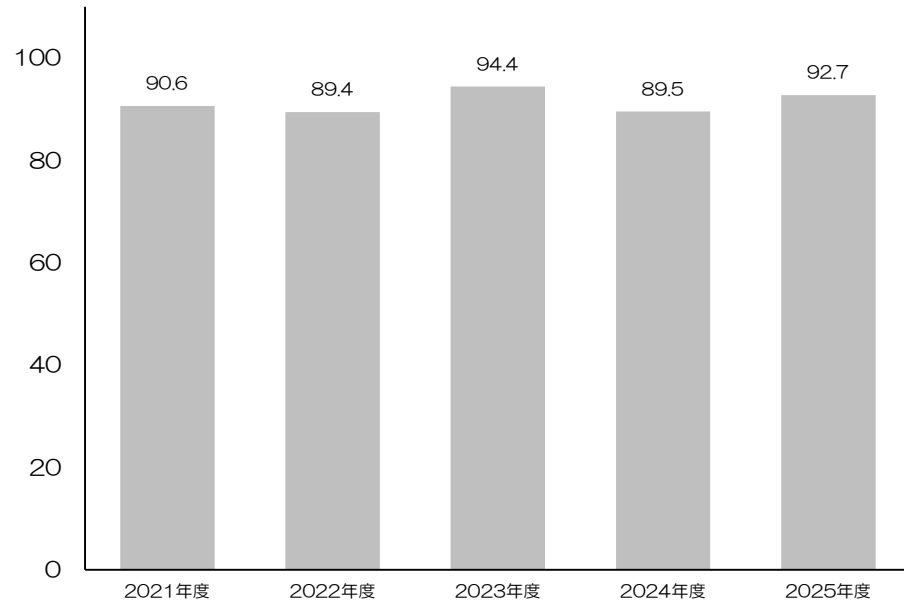
単位：人



f. 稼働率比較（入院・外泊を除く）

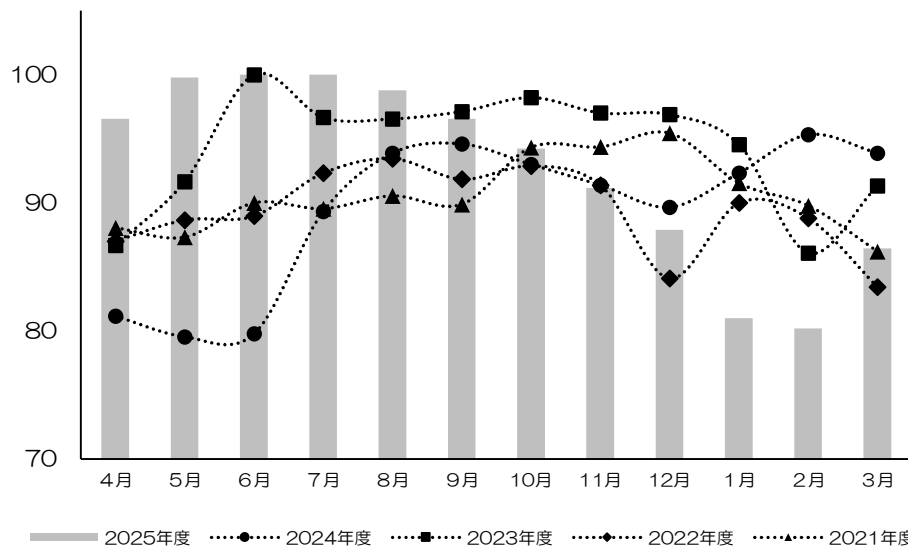
（年間平均稼働率）

単位：%



（月間稼働率）

単位：%



g. 認知症の状況

単位：人

HDS-R 得点	正常範囲		準認知症		認知症			合計
	30~ 26点	25~ 21点	20~ 16点	15~ 11点	10~ 6点	5~ 0点	不能・ 未検査	
6月	未実施							
12月	未実施							

h. 日常生活動作状況

単位：人

項目	状態及び人数					
	普通/不明	弱視	全盲	普通	やや難聴	難聴
視力	19	4	1	普通	19	0
聴力	15	6	3	普通	15	3
言語	16	5	3	普通	16	3
意思疎通	21	0	3	自立	21	3
食事	0	16	8	自立	0	8
入浴	2	14	8	自立	2	8
着脱衣	5	12	7	自立	5	7
排泄	なし	15	8	なし	1	8
オムツ等	4	2	18	自立	4	18
移動						

※パット・オムツ併用者あり

i. 外出・外泊の状況

単位：人

来訪回数	0~ 10回	11~ 20回	21~ 30回	31~ 40回	41~ 50回	51~ 60回	61回 以上
		9	7	4	2	4	3

外泊	年末年始	1	その他	1	合計	2
外出	年末年始	2	その他	30	合計	32

j. 月例行事催行状況

種 別	実 施 頻 度	行 事 内 容
誕生会	な し	※入浴をはじめとした生活援助優先
レクリエーション	適宜	体操・散歩 など
理髪室	月 1 回（第 2 月曜）	利用希望者（散髪）
外 出	家族対応のみ	ご家族付添で外出

k. クラブ活動（月例）

種 別	実 施 頻 度	実 施 場 所
なし		

l. 会 議（定例/含：職員向け）

種 別	開 催 頻 度	検 討 内 容
ユニット課会議	月 1 回（第 2 木曜日）	ユニット課全体の業務方針、改善の検討
ユニットリーダー会議	月 1 回（第 2 木曜日）	介護・看護・栄養・SS 各部署間の連絡
各ユニット会議	各ユニット月 1 回	各ユニット入居者の状態把握・業務改善
給食会議	月 1 回（第 2 木曜日）	食ごとにまつわる事項の検討
事故対策委員会	月 1 回（第 2 木曜日）	発生した事故の分析や事故防止の検討
拘束検討委員会	月 1 回（第 2 木曜日）	拘束状況代替策や改善の検討
ケース会議	年 2 回/一人 基本 状況変化時は随時 ※郵送にて確認	利用者の現況分析・ケア目標や計画検討
感染症対策委員会	1 回/3ヶ月 （第 2 金曜日）	流行性感染症/一般感染症についての対策・予防等の検討
褥瘡対策委員会	1 回/6ヶ月 （第 2 金曜日）	褥瘡への対策・予防の検討
食中毒対策委員会	1 回/3ヶ月 （第 2 金曜日）	食中毒への対策・予防の検討

m. 苦 情

2025年度----- 0件

n. 運営推進会議

地域密着型サービスとして、利用者、利用者の家族、地域住民の代表者、地域の包括支援センター等に対して、提供しているサービス内容等を明らかにすることを目的として、地域に開かれたサービスにしていくことでサービスの質の確保を図るため設置。

2025年度：6回開催（5月・7月・9月・11月・1月・3回）

※介護支援専門員の退職もあり、外部委員を招いての会議開催が困難で、内部委員で作成した運営状況報告（議事録）を紙面にて郵送報告するのみに留めた。

o. 年間行事/その他予定（入居者の生活に直接関わるもの）

開催日	行 事	内 容
5/15	健康診断	利用者の定期健康診断

4. 医務室

a. 疾患状況

単位：人(延べ)

疾患名	人数	疾患名	人数
心疾患	12 (13)	歯科疾患	19 (30)
消化器疾患	12 (14)	ガン疾患	3 (2)
脳神経疾患	4 (6)	糖尿病	4 (4)
精神科疾患	6 (7)	高血圧症	20 (21)
整形外科疾患	26 (28)	慢性間接リュウマチ	1 (1)
腎機能疾患	3 (4)	ホルモン疾患	1 (1)
肝機能疾患	7 (8)	老人性認知症	25 (24)
脳血管障害	10 (11)	泌尿器科疾患	11 (14)
呼吸器疾患	5 (5)	皮膚科疾患	17 (15)

※ () 内は前年度数値

b. 看護処置

単位：人(延べ)

処置内容	人数
創処置	11 (18)
軟膏塗布	25 (20)
点眼	8 (10)
坐薬挿入	7 (19)
湿布	10 (12)
フランドルテープ	2 (0)
吸入	0 (0)
フットバス	0 (0)

※ () 内は前年度数値

c. 服薬管理

単位：人(延べ)

時間帯	人数
朝食時	31 (33)
昼食時	11 (22)
夜食時	29 (29)
就寝前	10 (14)
便秘時	29 (35)

※ () 内は前年度数値

d. 認知症行動障害

単位：人(延べ)

状態	人数	状態	人数
自傷行為	0 (0)	人物誤認	0 (0)
夜間せん妄	0 (0)	作話	0 (0)
興奮・奇声	2 (1)	摂食異常	0 (0)
徘徊	2 (1)	盗癖・収集癖	0 (0)
攻撃的行為	1 (1)	被害妄想	1 (1)
不潔行為	0 (0)	躁鬱状態	0 (0)

※ () 内は前年度数値

e. インフルエンザ 予防接種

単位：人

入居者数	接種数
35	25

f. 医療管理者

単位：人(退居者含)

処置内容	人数
胃瘻(造設者含む)	0 (0)
経鼻栄養	0 (0)
留置カテーテル	3 (4)
膀胱瘻	0 (0)
喀痰吸引	1 (1)
褥瘡	5 (4)

※ () 内は前年度数値

g. 定期診察

提携医	精神科医	歯科往診
第1・3木曜日	第1・3日曜日	毎週木曜日

S Stay hort-term

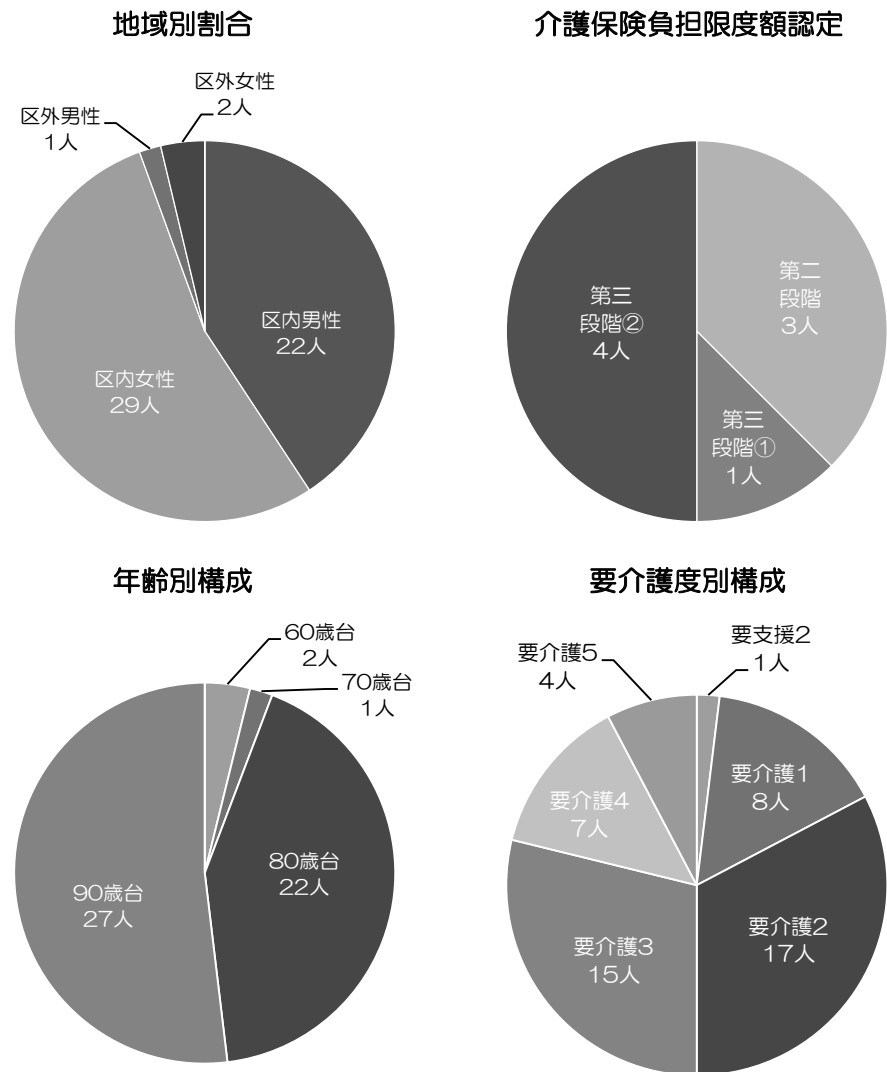
ショートステイピノ

2025年度の新規依頼件数は前年度とほぼ変わらない件数で、女性の新規依頼はやや多かった程度であったが、男性の新規依頼数が前年度に比べ増加している状況。

稼働率も極端に低い月はないが、70%を下回る月が4ヵ月出ている。

2026年度は、10部屋のうち6~7割程度の長期利用者を受入れていくことで、稼働率を安定させると共に、併設コミュニティホームピノへの入所へ繋ぐことが出来るようにしていく。

1. 利用者プロフィール（年度内実績者の内訳） ※2026.03.31 現在



年齢構成：【最高齢：99歳（女性） / 最年少：68歳（女性）】

施設部関連 / 特養本入居移行（4人）

在宅部関連 / ピノデイ併用（2人）・居宅モモ担当（延：7人）・居宅ナナ担当（延：3人）

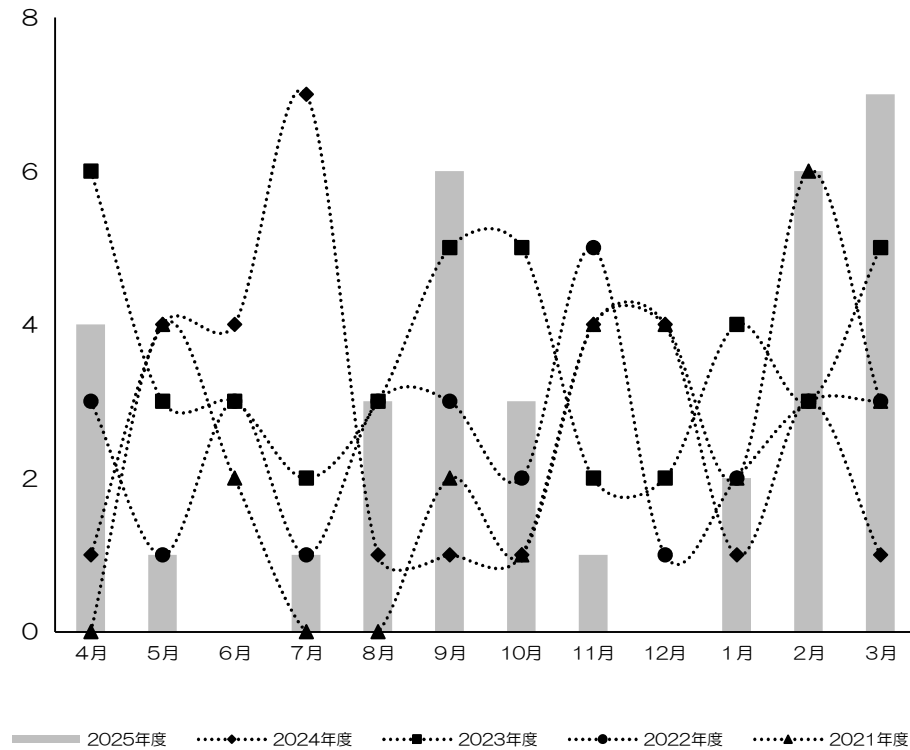
2. 年間の利用状況

a. 契約数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	1	2	2	2	0	1	0	3	1	0	2	0	14
女	0	2	2	5	1	0	1	1	3	1	1	1	18
合計	1	4	4	7	1	1	1	4	4	1	3	1	32
前年	6	3	3	2	3	5	5	2	2	4	3	5	43

単位：件



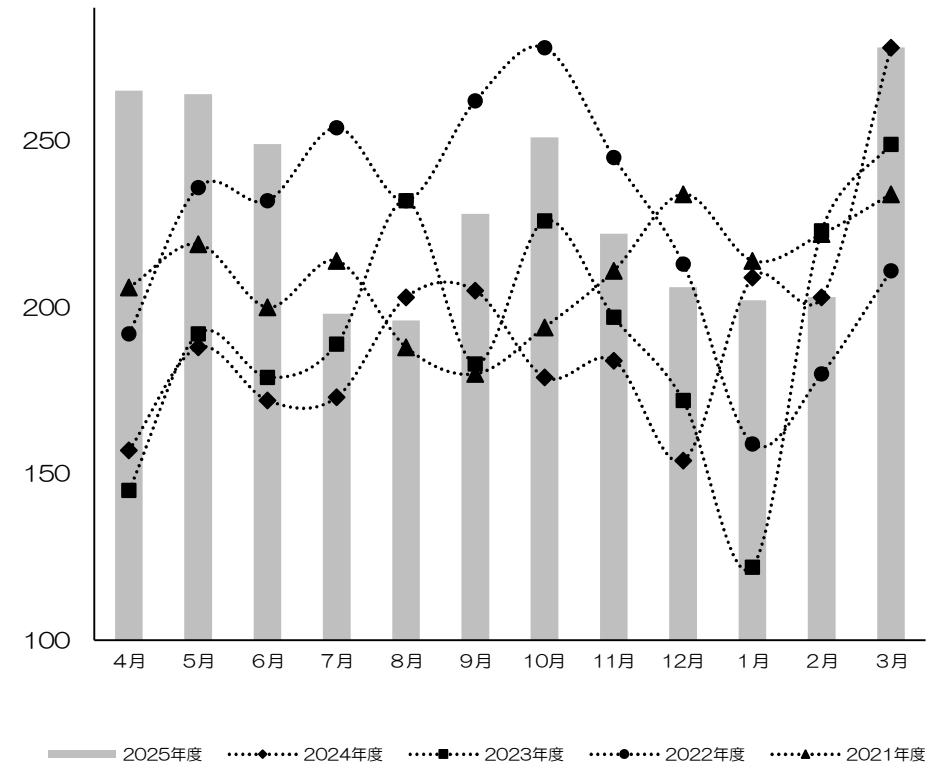
b. 稼働状況

単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2025年度	157	188	172	173	203	205	179
2024年度	157	188	172	173	203	205	179
2023年度	145	192	179	189	232	183	226

年度	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
2025年度	184	154	209	203	278	2305	99.8%
2024年度	184	154	209	203	278	2305	99.8%
2023年度	197	172	122	223	249	2309	85.7%

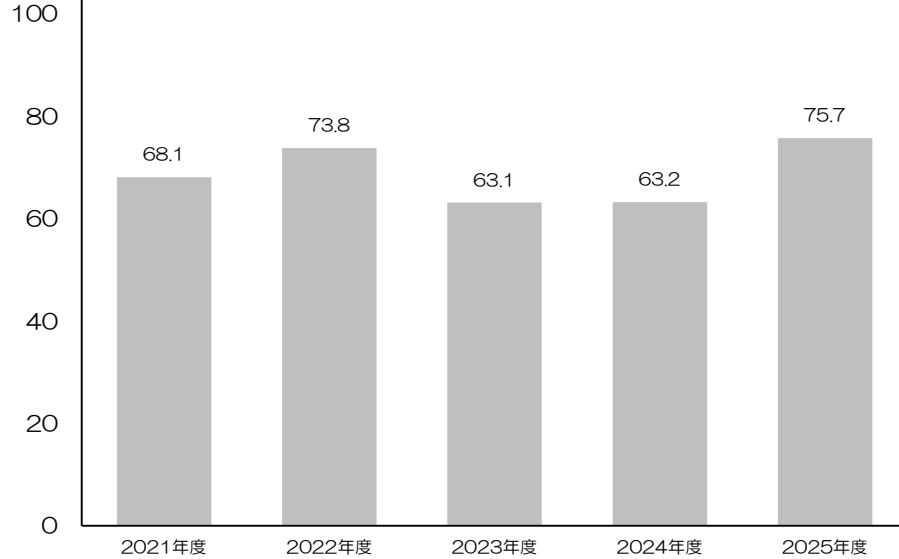
単位：人



c. 稼働率比較

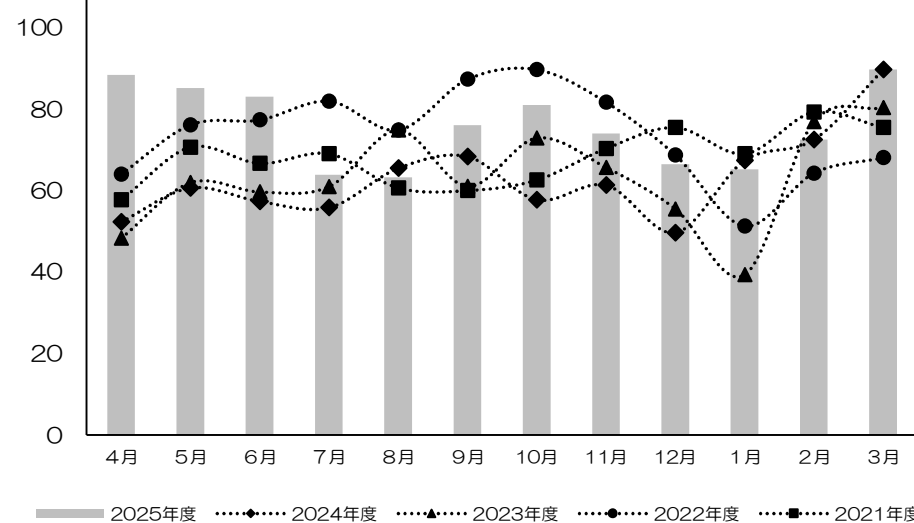
(年間平均稼働率)

単位：%



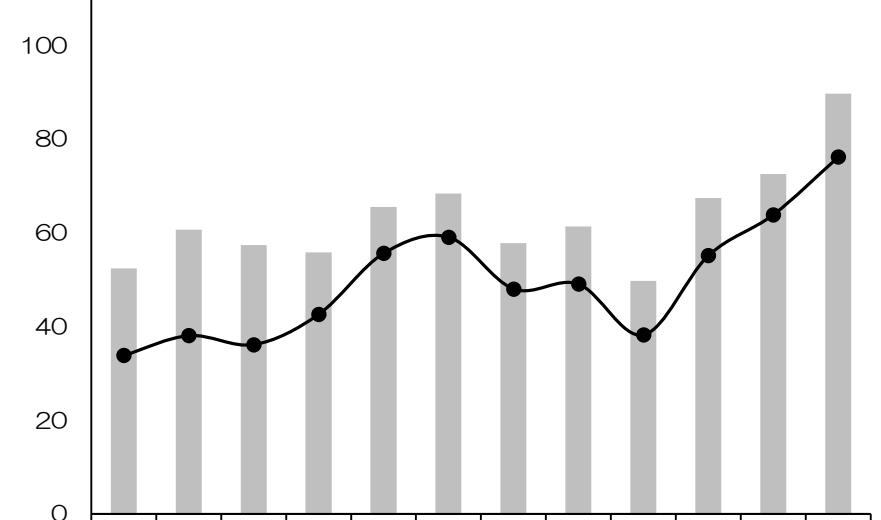
(月間稼働率)

単位：%



(定員比 / 満床比の比較)

単位：%



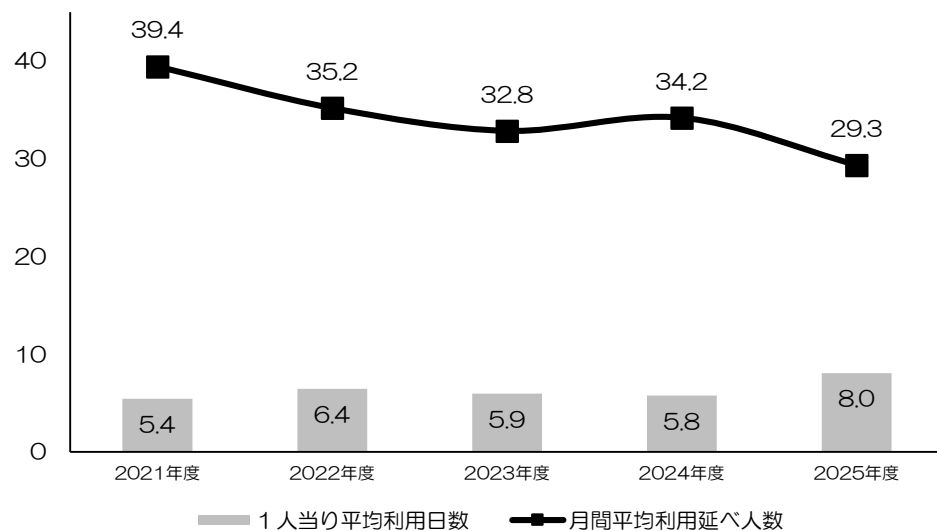
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定員比 %	52.3	60.6	57.3	55.8	65.5	68.3	57.7	61.3	49.7	67.4	72.5	89.7
満床比 %	33.8	38.1	36.1	42.6	55.6	59.1	48.0	49.1	38.2	55.1	63.8	76.2
定員床数	300	310	300	310	310	300	310	300	310	310	280	310
利用可床数	330	312	300	310	321	330	362	377	419	481	441	432

※満床比 = 特養入居者用の空床ベッドも含めた「利用可能床数」に対する比率

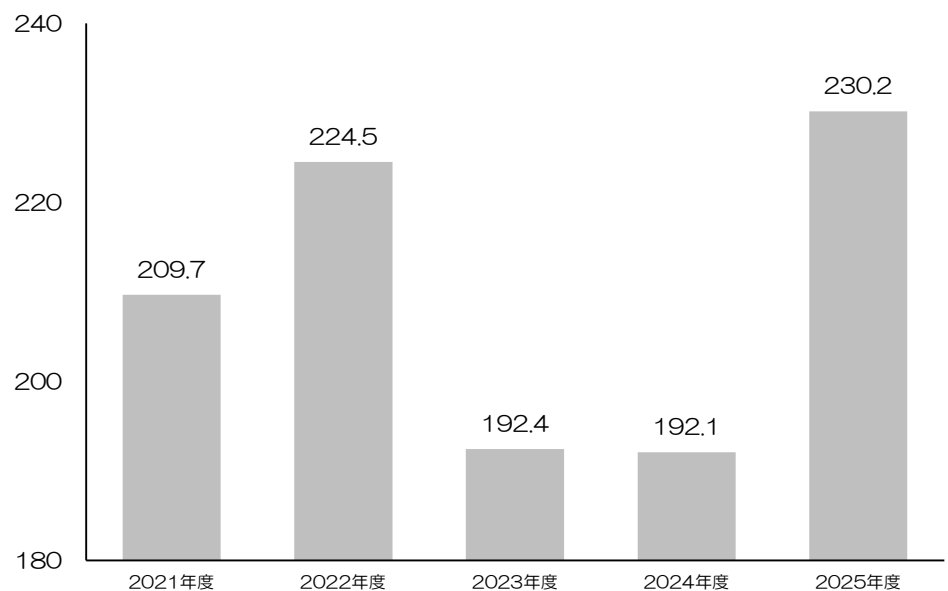
※2026年1月より本入居移行予定利用者の特養空床ベッド利用実施。

3. 利用者の傾向

a. 一人当たりの平均利用日数&月間平均延べ利用人数



b. 月間平均延利用日数

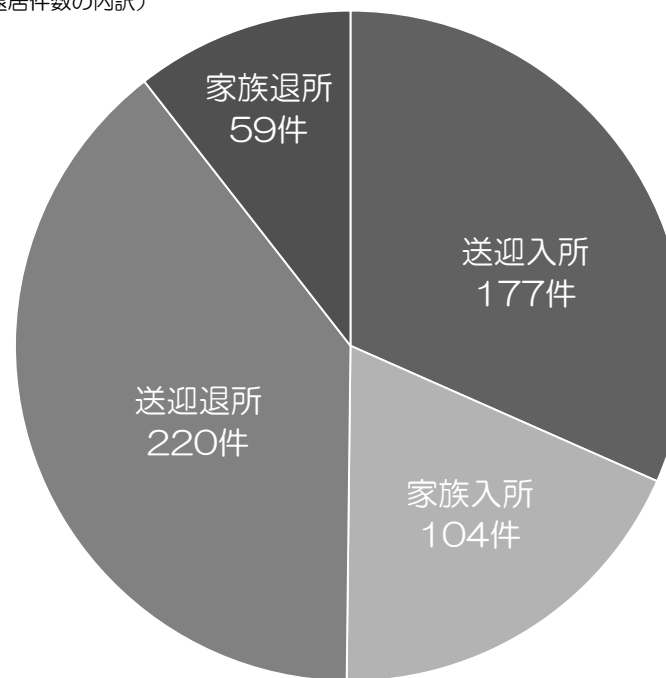


c. 月毎の入・退所件数及び送迎状況

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入所	30	36	28	31	32	36	34
退所	30	34	30	27	33	36	37
合計	60	70	58	58	65	72	71
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	内：家族
入所	30	20	26	23	26	352	122
退所	30	21	22	24	25	349	96
合計	60	41	48	47	51	701	218

(入・退居件数の内訳)



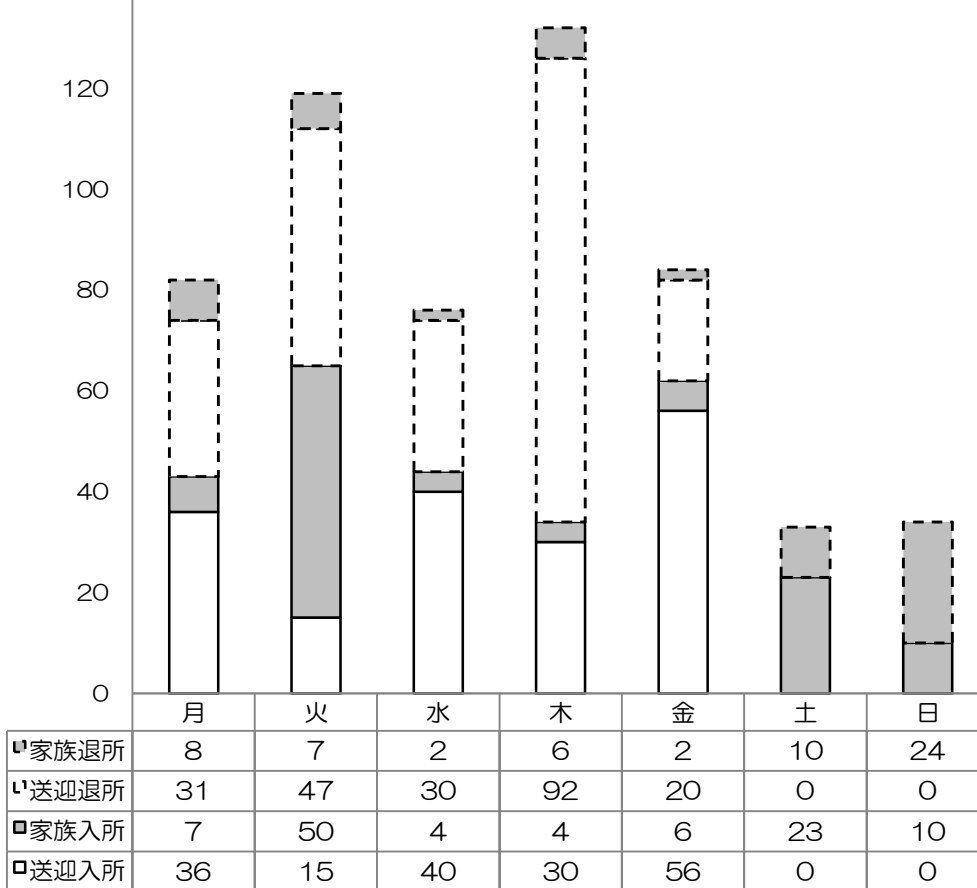
d. 曜日毎の入・退所件数及び送迎状況

単位：件

	月	火	水	木	金	土	日
入居	42	63	79	53	68	39	8
退居	48	57	22	114	55	18	35
合計	90	120	101	167	123	57	43

(40) 退所件数の内訳

単位：件



e. 曜日毎の利用状況

単位：人

	月	火	水	木	金	土	日
4月	25	25	21	26	23	18	19
5月	22	24	30	35	29	24	24
6月	21	24	25	29	22	27	24
7月	27	25	29	24	21	24	23
8月	24	27	27	35	34	31	25
9月	31	25	29	33	28	27	32
10月	19	29	30	35	27	21	18
11月	22	26	29	32	28	26	21
12月	23	24	22	23	19	20	23
1月	28	28	33	33	33	27	27
2月	29	29	31	31	28	27	28
3月	45	37	39	39	37	41	40
合計(人)	316	323	345	375	329	313	304
%	13.7	14.0	15.0	16.3	14.3	13.6	13.2
平均(人)	26.3	26.9	28.8	31.3	27.4	26.1	25.3

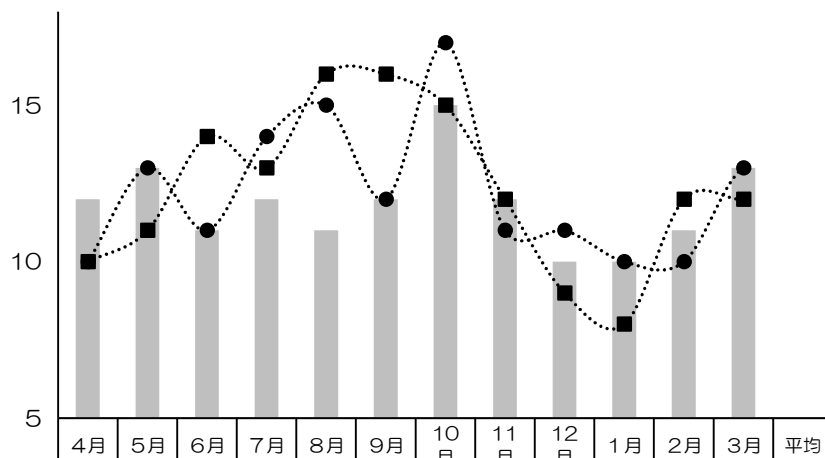
※ 割合(%) = 年度延べ利用人数「2763人」に対する比率

曜日毎での利用状況は、火曜日が少ない状況は前年度と同様だが、今年度は土・日曜日の利用も少ない月が多かった。

4. 他事業所との関わり

a. 利用事業所件数（居宅モモ・ナナ除く）

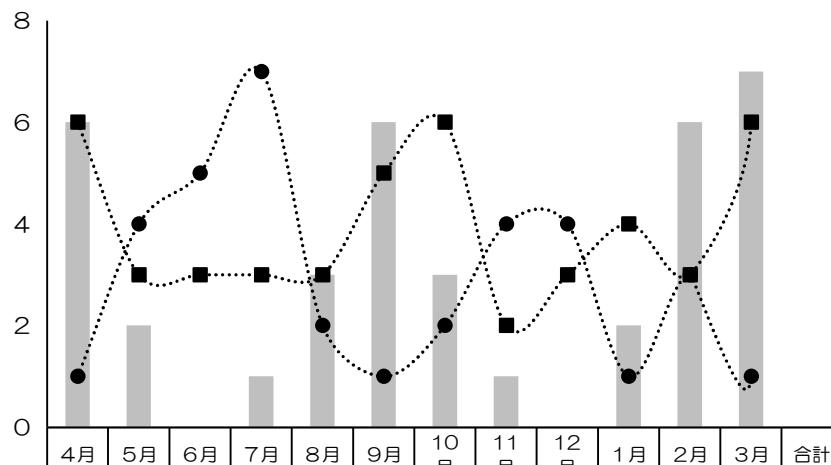
単位：件



2025年度	12	13	11	12	11	12	15	12	10	10	11	13	11.8
2024年度	10	13	11	14	15	12	17	11	11	10	10	13	12.3
2023年度	10	11	14	13	16	16	15	12	9	8	12	12	12.3

b. サービス担当者会議出席件数（居宅モモ・ナナ含む）

単位：件



2025年度	6	2	0	1	3	6	3	1	0	2	6	7	37
2024年度	1	4	5	7	2	1	2	4	4	1	3	1	35
2023年度	6	3	3	3	3	5	6	2	3	4	3	6	47

5. 苦情

2025年度・・・0件

6. 事故

年度を通して事故は14件。

救急搬送に発展する大きな事故が4件あり、全て自力移動時の転倒による事故となっている。

7. 情報整理

過去1年以上利用がない方々の契約書及びその他資料を区分け保管。

※再利用時には介護保険制度改定等により「再契約」「再面接」とした。



ケアハウスモモ

2025年度には3名の入居者が退所（法人内特養への移行2名・逝去1名）したものの、いずれも翌月には新たな入居者が決まり、年間を通じて定員16名を維持することができた。

また、法人内連携が円滑に機能したことで、ケアハウスでの自立生活が難しくなった入居者も適切な施設へスムーズに移行することが可能となった。

年度内には転倒事故が7件発生し、その主な要因として不注意によるものが確認された。救急搬送となった事例が2件あったが、いずれも大きな後遺症等はなく無事に回復し、現在もケアハウスでの生活を継続している。

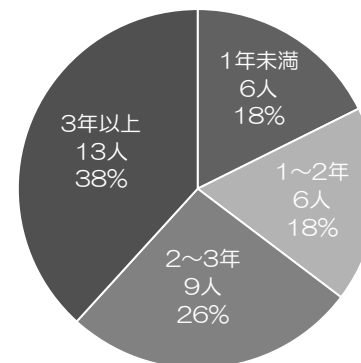
こうした状況を踏まえ、事故防止対策が課題となっている。

安全面の向上を図るため、日々の声掛けの強化や、事故リスクが潜む場面を共有する勉強会の実施、さらに日常的な体力づくりの重要性を発信するなど、入居者が健康で安全に生活できる環境づくりに取り組んでいきたい。

在宅介護サービスの利用が増加し、生活支援の充実により衛生環境の改善が図られた、デイサービスの活用により、楽しみの提供や社会交流の機会が確保され、不安・孤独感の軽減、入浴機会の確保など、生活の質の向上に寄与する取り組みも進んでいる。

医療面では、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ・訪問薬局などのサービス利用が継続されており、必要な医療支援が適切に提供されている。

1. 入居待機状況



待機者数：34名
男性：13名
女性：21名

地域別待機者数
市内：18名
県内：7名
県外：9名

待機者内訳 個室：32名（6名） / 二人部屋：2名（0名）

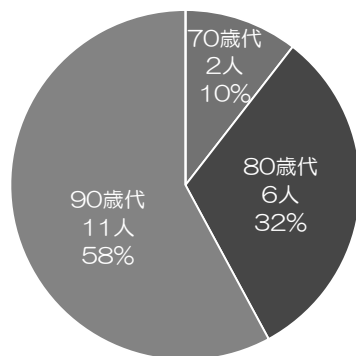
平均待機年数 4年3ヶ月

※（ ）内は全件数のうち2025年度内の申込み

2. 入居者の状況

a. 年齢構成

(年度内退去者含む延べ19名)



平均年齢：88.2歳
 男：85.8歳
 女：89.2歳
 最高年齢：96歳
 最小年齢：73歳

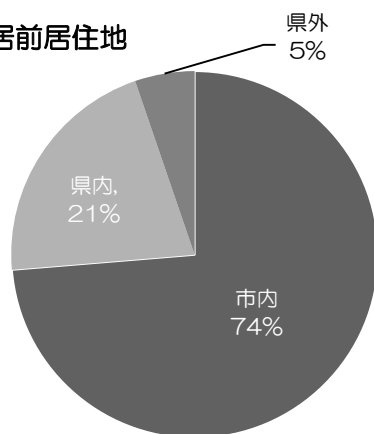
平均在籍年数は5年1ヶ月で、最長は24年5ヶ月である。

b. 入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
退居	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3

c. 入居前居住地

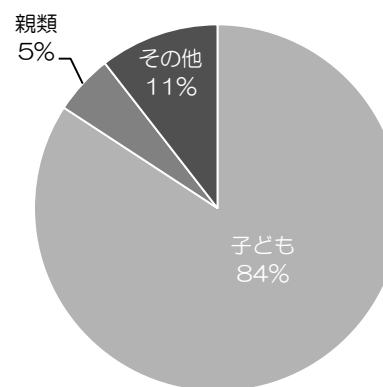
(年度内退去者含む延べ19名)



相模原市：14名
 県内：4名
 県外：1名

d. 身元引受人

(年度内退去者含む延べ19名)



子ども：16名
 親類：1名
 その他：2名

e. 家族・知人の来訪回数

単位：人

	19回以下	20~49回	50~59回	60~69回	70~79回	80回以上
2025年度	11	4	1	0	2	1
2024年度	18	1	0	0	0	0
2023年度	12	4	1	1	3	0

2025年度 延来訪回数 322回 平均来訪回数 16.9回
 2024年度 延来訪回数 629回 平均来訪回数 33.1回
 2023年度 延来訪回数 440回 平均来訪回数 20.9回

f. 外泊・入院の状況

単位：実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外泊	2	1	0	2	0	1	1	1	2	0	0	0	10
入院	1	2	2	1	1	3	0	0	0	1	1	2	14

3. 介護保険サービスの利用状況

(2026.03.31 在籍：16名)

a. 入居者の介護度

単位：人

	自立	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
2025年度	5	2	3	3	2	1	0	0
2024年度	5	1	3	3	2	2	0	0
2023年度	7	3	2	2	2	0	0	0

b. 介護保険サービス利用状況

単位：人

サービス	利用人数	サービス	利用人数
通所介護	5	訪問看護・診療	5
通所リハ	4	福祉用具レンタル	4
訪問介護	5	短期入所	3

4. 行事催行状況

a. 定例行事

行事名	実施回数	参加者数	内 容
誕生会	月1回	全 員	誕生祝
例会	月1回	全 員	例会時に「館の夢」作成・配布
かわり湯	年数回	全 員	季節感を演出する
定期健康診断	年1回	希望者	入居者の健康診断

b. 計画行事

月	内 容
4月	お花見ドライブ（市役所通り）おやつレク（プリン） 作 業：居室ワックス掛け・フィルター清掃・衛生害虫防除
5月	五月人形飾り・健康診断・誕生日会・しょうぶ湯・おやつレク（鯉のぼり練り切り） 作 業：消防設備点検
6月	避難訓練・誕生日会・おやつレク（オレンジとブドウゼリー） 作 業：共用部分ワックス掛け
7月	ナナ祭り・誕生日会・おやつレク（織姫彦星の練り切り）・七夕飾りつけ 作 業：窓ガラス清掃・フィルター清掃・害虫防除 その他：待機者調査
8月	おやつレク（雪見だいふく） 作 業：バルコニー清掃
9月	おやつレク（おはぎ）・敬老会（バスタオル・福ウサギ饅頭プレゼント）・国勢調査 作 業：共用部分ワックス掛け
10月	お神輿見学・誕生日会・おやつレク（プチケーキ） 作 業：窓ガラス清掃・フィルター清掃・害虫防除・年次点検
11月	おやつレク（福笑み芋あん）・誕生日会・バスハイク（薬師池公園）・クリスマスコンサート 作 業：消防設備点検
12月	クリスマス飾りつけ・クリスマス会（ショートケーキ）・誕生日会・柚子湯・消防避難訓練 作 業：共用部分ワックス掛け
1月	正月飾り・誕生日会・おやつレク（文明堂懐中しるこ） 作 業：窓ガラス清掃・フィルター清掃
2月	誕生日会・ひな人形飾り付け・おやつレク（鬼の練り切り）
3月	誕生日会・お花見ドライブ（グランベリーパーク）おやつレク（カステラ） 作 業：共用部分ワックス掛け

5. 苦 情

2025年度・・・0件

S Housing serviced

フレイグラントオリーブナナ

2025年度は一年を通して実績（稼働率）にほぼ動きが無かった。
入居4名・退居6名で、年度初めと変わらず年度末も27名の入居者数となり満室（32室）には至らなかった。

退去理由としては、

ADL低下による有料老人ホーム入所	：2名
入院から法人内特養養護老人ホーム入所	：1名
ホスピスへ移動	：1名
死 去	：1名
家族と同居	：1名

となる。

1. 入居待機状況

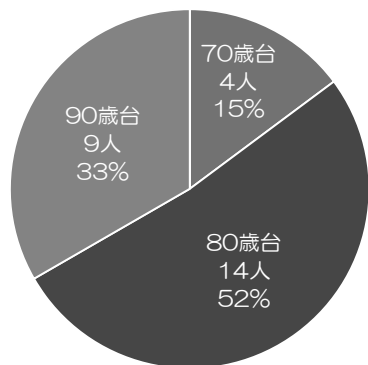
「サービス付き高齢者向け住宅」の全般的な傾向として、待機者は出ないと言われているが、それ以前に満室になっていない。

よって、2025年度末時点での待機者は「ゼロ」のみである。

2. 入居者の状況

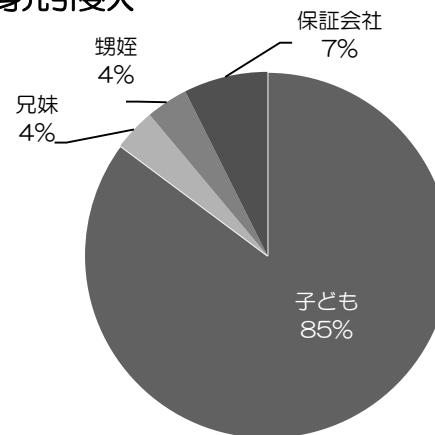
(2026.03.31 在籍：27名)

a. 年齢構成



平均年齢：85.8歳
 男：86.8歳
 女：85.3歳
 最高年齢：95歳
 最小年齢：76歳

d. 身元引受人

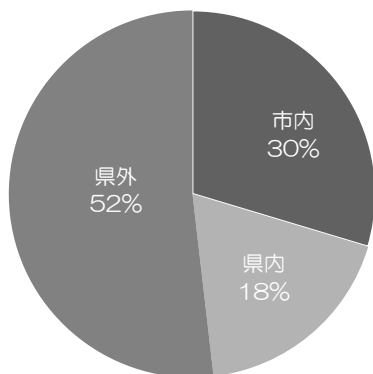


子ども：23名
 兄弟姉妹：1名
 甥姪：1名
 保証会社：2名

b. 入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
退居	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	6

c. 入居前居住地



相模原市：8名
 県内：5名
 県外：14名

e. 家族・知人の来訪回数

単位：人

	19回以下	20～49回	50～59回	60～69回	70～79回	100回以上
2025年度						
2024年度						
2023年度						

*実数としての管理は行なっておらず、把握は今後の課題である。

f. 外泊・入院の状況

単位：実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外泊													
入院	0	0	1	1	2	1	0	0	0	0	0	1	6

*外泊は実数としての管理は行なっておらず、把握は今後の課題である。

3. 介護保険サービスの利用状況

a. 入居者の介護度

単位：人

	自立	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
2025年度	10	7	6	2	2	0	0	0
2024年度	12	5	4	3	3	0	2	0
2023年度	10	5	7	2	2	2	0	0

b. 介護保険サービス利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	11	12	12	13	13	12	13	13	13	13	13	11	149
訪問介護	3	3	3	4	4	4	4	4	5	4	4	5	47
短期入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
福祉用具	10	10	11	11	11	11	11	11	13	12	12	12	135
その他	1	1	1	2	2	1	2	2	2	2	2	0	18

●介護サービスの利用について

自立～要支援の方が多く訪問介護利用者は5名。
デイサービス利用者は13名に留まっている。

4. 行事催行状況

a. 定例行事

行事名	実施回数	参加者数	内 容
カラオケ喫茶	週一回	希望者	3時間開催・外部参加有り
ヤクルト販売	隔週一回	希望者	ヤクルトによる訪問即売会
百歳体操	週一回	希望者	45分程度の着席で行う体操

b. 計画行事

月	日	行 事	人数	内 容
4月	—	—	—	—
5月	7(水)	菖蒲足湯	2	ピノの庭で足湯、園児と交流
	9(金)	総合避難訓練	30	施設職員・入居者と、保育園ナナ職員、園児での訓練
	11(日)	音楽イベント	18	ギター演奏会
6月	—	—	—	—
7月	6(日)	七夕・ナナの日	60	物販(焼き鳥)、落語会、脳トレ、タッチケア、簡易ネイルを地域住民参加型で1日を通して開催
8月	23(土)	茶話会/運営懇談会	18	予定や近況報告と意見収集、決算報告
9月	7(日)	健康イベント	13	ハンドセラピー
10月	12(日)	物作りイベント	8	リース作り
	23(木)	保育園の芋ほり	4	子どもたちの芋ほり見学
11月	11(火)	総合避難訓練	32	施設職員、保育園ナナ職員、園児での訓練
	30(日)	音楽イベント	22	桜美林大学クワイヤー
12月	9(火)	避難経路ツアー	13	入居者が自室からの避難経路を確認する
	19(金)	ゆず足湯	4	ピノの庭で足湯、園児と交流
	20(土)	クリスマス会	22	クリスマス茶話会
1月	—	—	—	—
2月	14(土)	音楽イベント	15	津軽三味線&民謡
3月	7(土)	健康イベント	12	脳トレゲーム

5. 苦 情

2025年度・・・0件

D Service ay

デイサービスセンターモモ

2025年度も人員不足が継続的な状況ではあるが、前年度と同様に営業日は週5日間（月曜日から金曜日・含：祝日）へ、1日あたりの利用定員20人での営業とした。

月間平均最低値は2025年4月の11.8人（稼働率59.0%）、最高値は2025年12月の14.5人（稼働率72.5%）であった。

4月に登録者数38人でスタートし、年度内の契約終了者は22人。

2026年3月の登録者数は43人という結果であった。

1日平均参加人数については年度通目標である18人（稼働率90.0%）を超えることが出来ず、13.2人（稼働率66.0%）となった。

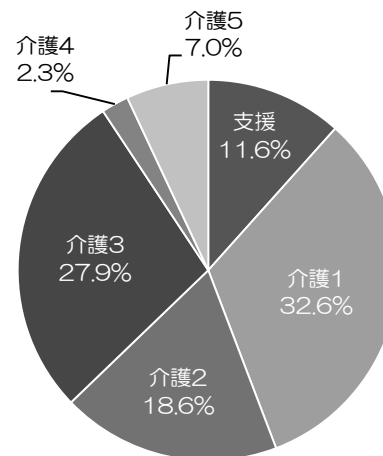
それに伴い、1日あたりの登録人数を20～25人程度で維持する為、引き続き新規利用者の獲得や既存利用者の増回により、1日平均参加人数18人（稼働率90.0%）以上の達成ができるように努めていく。

職員の些細なヒューマンエラーが目につくようになってきていることも課題であり、大きな事故に発展する前に職員一丸となって気を引き締め、効率的な運営に繋げていく。

1. 利用者の現況

ADLの低下や認知症のBPSSD症状が強く現れている利用者が増加しており、それに適した対応や環境整備を行なっていく必要がある。

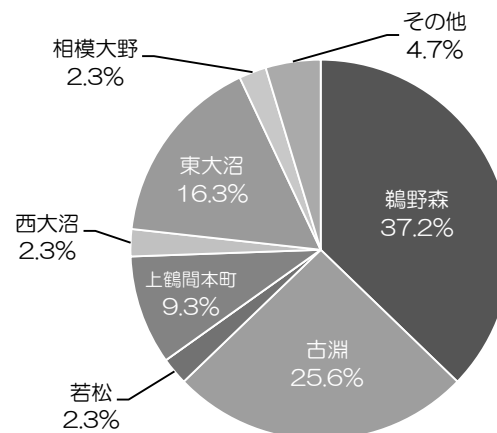
a. 介護度



要支援：5人
介護1：14人
介護2：8人
介護3：12人
介護4：1人
介護5：3人

契約数：43人
2026.03末の登録者

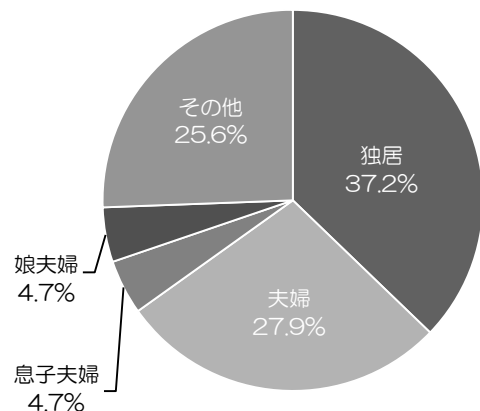
b. 地域別利用者



鵜野森：16人
若松：1人
古淵：11人
上鶴間本町：4人
相模大野：1人
西大沼：1人
東大沼：7人
その他：2人

事業所周辺地域に居住する利用者が多く、無理のない送迎が行なえている。送迎範囲外や車椅子の利用者が増えているが、2便送迎や他部署車両（軽自動車福祉車両）借用での個別送迎などにて対応している。

c. 利用者世帯状況



独居：16人
 夫婦：12人
 息子夫婦：2人
 娘夫婦：2人
 その他：11人

家族と同居している方も多いが、2025年度と変わらず独居の割合も多い為緊急時の対応には未だに問題がある。

d. ADL

単位：人

年度	トイレ		移動			
	自立	介助	自立歩行	杖歩行	車椅子	介助
2025年度	25	18	21	6	8	8
2024年度	21	14	11	4	12	8
2023年度	33	20	10	30	11	2
2022年度	27	42	16	21	17	15
2021年度	34	25	16	7	18	18

2025年度と比較しトイレの介助は増加傾向にあるものの、自立の方も増加傾向にある。

定員縮小と反比例し、移動方法では自立歩行の方が増加傾向にある。

バギー・歩行器の使用者は横ばいである。

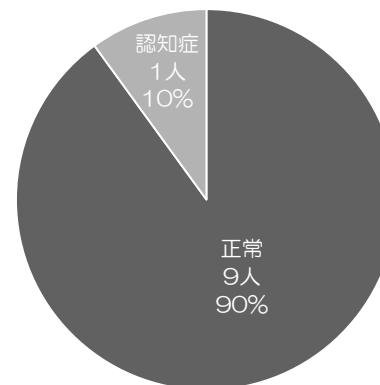
e. 認知症

単位：人

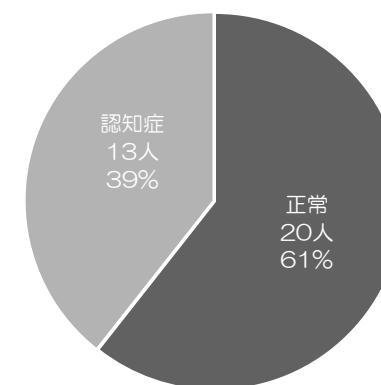
年度	認知症	正常範囲	合計
2025年度	29	14	43
2024年度	23	12	35
2023年度	30	23	53
2022年度	33	36	69
2021年度	26	33	59

認知症者は予備軍も含め増加してきているため、個性や尊厳など大切にしながら安全に過ごしていけるような環境作りも課題である。

認知症（男性）



認知症（女性）



f. 疾患状況

毎年上位である高血圧症に次いで、脳血管疾患も増加傾向にある。

高齢化による認知機能の低下・老々介護による在宅での薬の飲み忘れ等、自己管理不足や家族による内服コントロール不良も多く、フォローアップが課題となっている。

疾患の早期発見に努め、利用者家族やケアマネジャー等へ迅速に情報伝達を行なうことによって、診断や治療へ結びつけることが必要である。

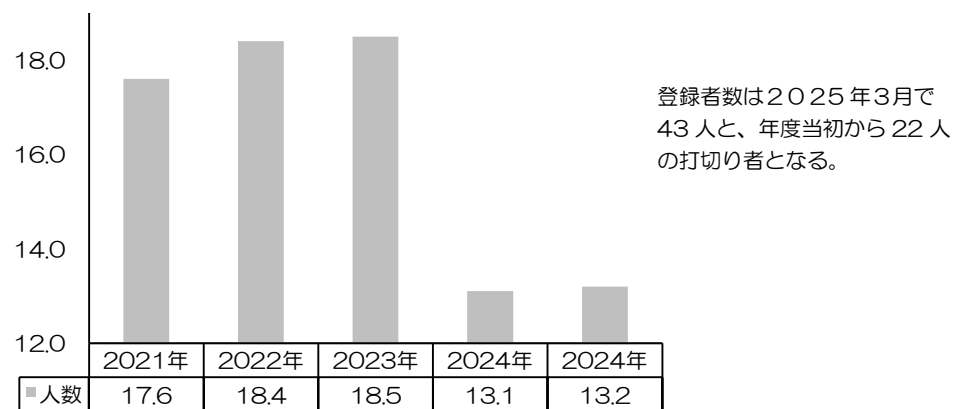
しかし「自力での受診不可」や「受診に連れていくことが困難」なケースも見られているため、在宅生活困難者に対する働き掛けが必要とされる。

今後の課題として、既存利用者のADL低下に伴い新たに疾患が増えた場合、ケアマネジャーや家族との連携不足で情報を把握できていない事態が起こる可能性が挙げられる。

契約時の情報だけでなく、利用者に関わる新しい情報（新たな疾患・服用中の薬の変更等）を収集し、お便り等で呼び掛け、疾患や薬に関わる情報をその利用者をサポートする全ての関係者で共有していく。

2. サービス利用状況

a. 1日平均利用者数



単位：人

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
登録者数	671	745	682	487	498
実利用者数	5432	5656	5702	3348	3377
入浴利用者数	4023	3941	4100	2313	2514
サービス実施日数	309	308	308	256	256
1日平均利用者数	17.6	18.4	18.5	13.1	13.2

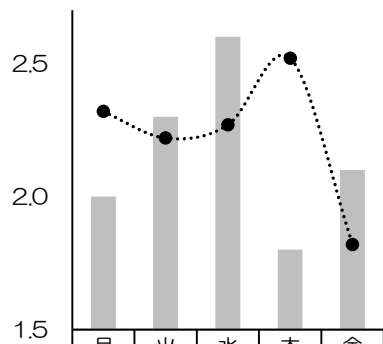
b. 月間サービス利用実績

単位：人

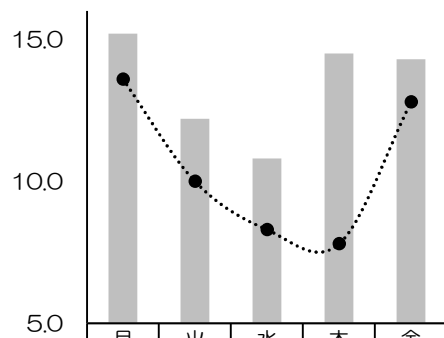
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録者数	38	38	39	40	41	42
実利用数	260	294	284	285	264	284
実施日数	22	22	21	23	21	22
1日平均	11.8	13.4	13.5	12.4	12.6	12.9
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
43	42	44	43	45	43	498
300	272	290	283	266	295	3377
23	20	20	20	20	22	256
13.0	13.6	14.5	14.2	13.3	13.4	13.1

c. 週間サービス利用実績

曜日別平均介護度



曜日別平均利用人数



	月	火	水	木	金
25年	2.0	2.3	2.6	1.8	2.1
24年	2.3	2.2	2.3	2.5	1.8

	月	火	水	木	金
25年	15.2	12.2	10.8	14.5	14.3
24年	13.6	10.0	8.3	7.8	12.8

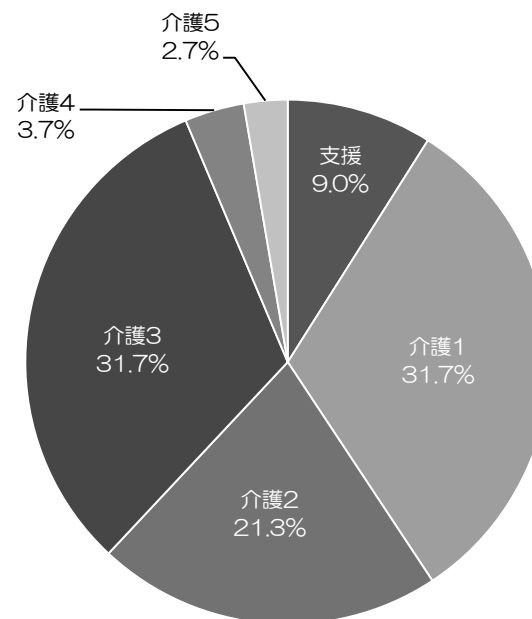
	月	火	水	木	金	土	全体
平均人数	15.2	12.2	10.8	14.5	14.3	0	13.4
登録者数	19	18	13	19	20	0	89
平均介護度	2.0	2.3	2.6	1.8	2.1	0	2.13

d. 介護度別サービス利用実績

単位：人

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
支援	302	571	480	294	303
介護1	1613	1567	1456	562	1071
介護2	1679	1514	1635	1066	719
介護3	746	753	1259	878	1069
介護4	861	784	622	396	124
介護5	231	467	250	152	91

2025年度利用割合



3. 送迎状況

単位：人

通所形態	月	火	水	木	金	土	合計
送迎車両	10	10	4	8	8	0	39
家族送迎	0	1	0	0	0	0	1
同一敷地	19	2	12	6	12	0	51
合計	29	13	7	8	9	0	92

利用者には負担がなく、家族にはその要望（到着時間など）に可能な限り対応できる送迎の実施に努めた。

事業所保有車両2台での送迎を基本としつつ、臨時参加や欠席による利用者の増減に応じて2便や1台での対応も実施。

状況次第ではコミュニティセンターピノ車両や、モモ他部署車両を借りるなどの協力を得ながら送迎を行なっている。

安全面では、速度はもちろん運転手と職員で危険地点の情報を共有し、意見交換を行ないながらより良いルートを常に模索している。

今後も職員で協力し合い、利用者に快適で安全な送迎を提供していく。

4. 行事・プログラム

月	内容
4月	外気浴（花見・ドライブ）／塗り絵など・レクリエーション（風船バレー）・カレンダー作業（兜&鯉のぼり）・春の書道・レクリエーション（スリッパ飛ばし）・誕生日会
5月	巨大壁飾り塗り絵／廊下展示用（つつじ）・レクリエーション（チャレンジゴール）・作業プログラム/個人（ポップアップカード）・レクリエーション（もぐらたたき）・誕生日会
6月	七夕飾り製作（吊るし飾り）・レクリエーション（パウンドでホールインワン）・カレンダー作業（向日葵）・レクリエーション（マス目でカップカーリング）・誕生日会
7月	七夕レクリエーション（星釣り）・夏の書道・レクリエーション（かえるびよんびよん色合わせ）・塗り絵/作業（ぶどう）・レクリエーション（傘玉入れ）・誕生日会
8月	夏祭りレクリエーション（金魚釣り）・カレンダー作業（さつま芋と栗）・作業プログラム/夏（金魚の吊るし飾り）・レクリエーション（缶落とし）・誕生日会
9月	秋の書道・レクリエーション（テーブルゴルフ）・敬老の日週間/ビンゴ大会・巨大壁飾りちぎり絵/廊下展示用（薔薇）・誕生日会
10月	運動会・カレンダー作業（クリスマスツリー）・秋のレクリエーション（ペットボトルピンポン）・作業プログラム/秋（壁飾り）・レクリエーション（テーブルパチンコ）・誕生日会
11月	巨大壁飾り（さざんか）／塗り絵・レクリエーション（キックボウリング）・作業プログラム/冬（雪うさぎの壁飾り）・レクリエーション（スリッパ飛ばし・紙コップカーリング）・誕生日会
12月	カレンダー作業（羽子板）・レクリエーション（クリスマス玉投げ・輪投げ・ちぎり絵・塗り絵・トランプ）・お正月飾り製作（扇子の吊るし飾り）・お楽しみ週間（ビンゴ大会）・誕生日会
1月	初詣レクリエーション/絵馬作り・書き初め・作業（貼り絵・塗り絵）・レクリエーション（缶落とし・トランプ）・誕生日会
2月	節分レクリエーション・カレンダー作業（羽子板）・レクリエーション（ピンポン）・作業プログラム/春（チューリップの貼り絵・塗り絵）・誕生日会
3月	ひな祭りレクリエーション・塗り絵・レクリエーション（テーブルカーリング）・作業プログラム/個人（春の桜飾り）・誕生日会

2025年度は個々のADLに合わせたプログラムの提供、特に作業系のプログラムは利用者のレベルに合わせ作業の実施が出来た。

また、運動系・脳活性化を促すレクリエーションもしっかりと提供する事が出来た。

今後も増加が予想される認知症利用者への対応を更に追求すると共に、個々のニーズに幅広く対応し、充実した時間を提供できるようにしていく。

同時に、デイサービスの特色である広いフロアを活かしつつ、活動的に過ごして頂きながらも迅速なケアと援助の提供に努めていく。

5. 事 故

2025年度の事故件数 6件

事故の内容は、

車両事故（外壁破損）	1件
施設外徘徊	1件
自力移動時：ずり落ち	1件
移動介助時：転倒	2件
移動介助時：その他（痣）	1件

となっている。

職員の意識を高め、利用者の行動などを予測する事で防げた事故もあり、今後も利用者ひとり一人に真摯に向き合い、日々の状態を密に観察することでリスクを把握しながら、安心且つ安全な環境を提供していく必要がある。

事故内容やインシデントに対してはカンファレンス等で検証し、対応統一を図ることで年間を通して「事故0件」を目指す。

2026年度も職員一丸となり気を引き締め、スキル向上とあわせて同様の事故は再発防止に努めていく。



コミュニティセンターピノ

2025年の1日平均利用者数は8.8人で、稼働率は48.5%ながら、前年度比では8.0%の微増となった。

周辺事業所への営業の成果、居宅サービスセンターモモ・ケアステーションナナとの連携により徐々に登録者数が増え、2026年1月の1日平均利用者数は10.2人で、稼働率は56.4%となった。

しかし、その数値をピークに契約終了者が続出し、2026年3月には1日平均利用者数は8.5人で、稼働率は47.0%となった。

定員18人の事業所としては稼働率が低い状況ではあるが、「地域密着型通所介護」としての再開（事業転換）の効果が徐々に出てきている。

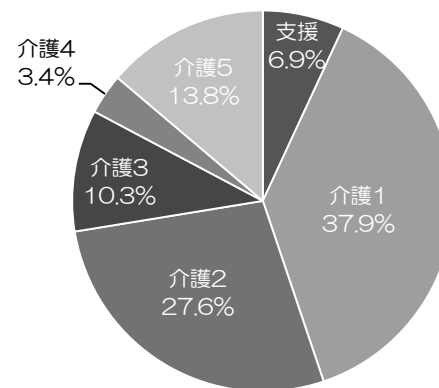
送迎可能な職員が不足しているという問題があり、あまり広範囲の受け入れを行なうのは控えざるをえないが、できる限り近隣の新規登録人数を増やし、臨時参加などを柔軟に受け入れる対応を心掛ける。

また、2026年度は同一法人内児童福祉施設のこどもたちとの世代間交流を再開し、趣味活動（個別プログラム）に特化したコミュニティセンターピノならではのサービスを構築し、安定した運営を実施する。

新規登録人数確保の手段として、法人外の居宅支援センターはもちろんのこと、デイサービスセンターモモ・居宅サービスセンターモモ・ケアステーションナナとの法人内連携の強化は必須事項である。

1. 利用者の現況

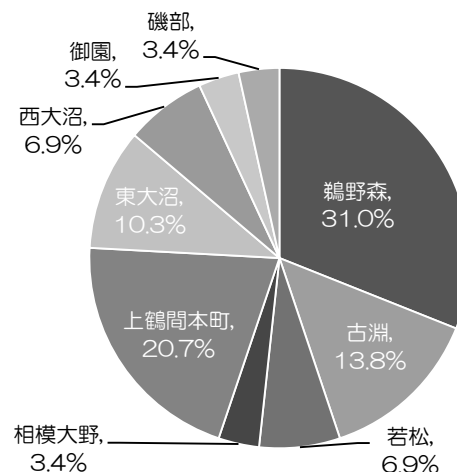
a. 介護度



要支援：2人
 介護1：11人
 介護2：8人
 介護3：3人
 介護4：1人
 介護5：4人

契約数：29人
 2026.03 末の登録者

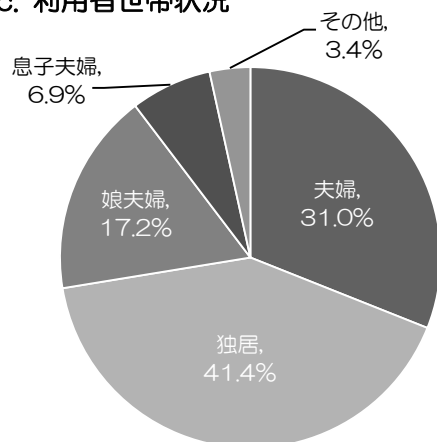
b. 地域別利用者



鶺野森：9人
 古淵：4人
 若松：2人
 相模大野：1人
 上鶴間本町：6人
 東大沼：3人
 西大沼：2人
 御園：1人
 磯部：1人

広範囲かつ柔軟な送迎を実施してきたが、今後、定員18名の受け入れを考えると送迎の問題が発生する為、出来る限り近隣の利用者をご紹介いただけるよう近隣の居宅支援センターへの働きかけを行なっていく。

c. 利用者世帯状況



夫 婦： 9人
 独 居：12人
 娘 夫 婦： 5人
 息子夫婦： 2人
 そ の 他： 1人

d. ADL

単位：人

年度	トイシ		移 動			
	自立	介助	自立歩行	杖歩行	車椅子	介助
2025年度	15	7	13	5	2	2
2024年度	15	7	13	5	2	2
2023年度	14	8	15	4	3	0
2022年度	2	1	1	1	1	0
2021年度	6	5	5	2	3	1

ADLが自立であっても、当日の状態によっては介助が必要になり、行動の見守りや声掛けなど何らかの関わりが必要である。

認知症疾患が要因で、季節や精神的不安定によりADLに変化があるため、朝の送迎時の行動から来所に至るまで、活動時間中の行動や言動を注視し、対応にあたり家族や関係する福祉事業所と情報共有を行なう。

e. 疾患状況

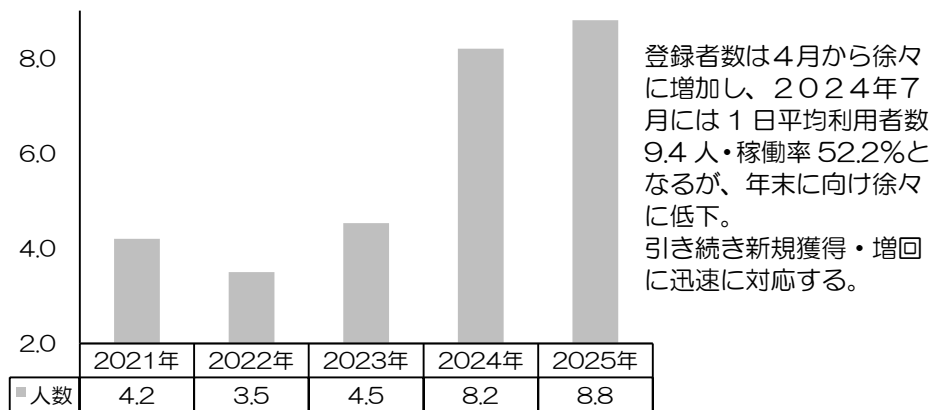
認知症と診断され、進行期に入っている利用者が多いため、引き続き認知症の進行予防にも力を入れ、特に高齢者にとって良い刺激となる児童との交流の機会を設ける。

在宅生活を維持する上で重要な服薬管理が困難な場合が多く、指示通りに内服管理ができないことで認知症の周辺症状が進行してしまう。

その他の疾患に関しても医療による成果が得られていない現状がある為、家族はもちろんのこと、利用者に係る福祉サービス事業所との情報共有は必須であるが、当事業所の職員としても疾患に関する最新の情報を入手・把握し、利用者が安心して穏やかに過ごせるための知識を得て、環境を整え、在宅生活継続の援助を行なっていく。

2. サービス利用状況

a. 1日平均利用者数



単位：人

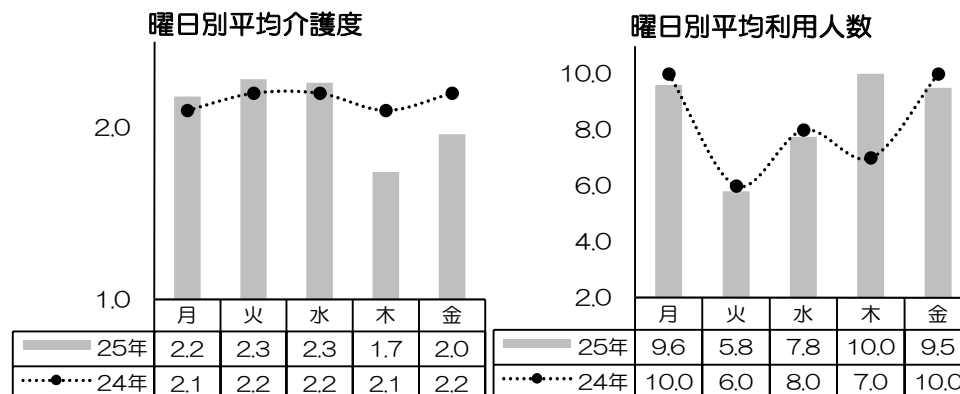
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
登録者数	157	50	180	306	253
実利用者数	1039	460	1162	2104	2234
入浴利用者数	755	355	984	1835	174
サービス実施日数	247	131	256	256	256
1日平均利用者数	4.2	3.5	4.5	8.2	8.8

b. 月間サービス利用実績

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録者数	22	21	22	25	26	28
実利用数	174	160	168	179	172	198
実施日数	22	22	21	23	21	22
1日平均	7.9	7.3	8	7.8	8.2	9
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27	29	29	28	27	27	311
199	193	201	203	201	186	2234
23	20	20	20	20	22	256
8.7	9.7	10.1	10.2	10.1	8.5	8.8

c. 週間サービス利用実績

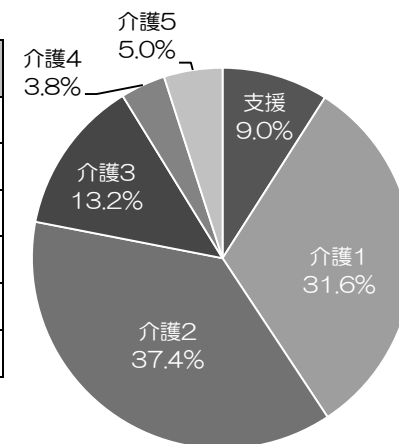


	月	火	水	木	金	土	全体
平均人数	10	6	8	7	10	—	8.2
登録者数	10	7	8	8	10	—	43
平均介護度	2.1	2.2	2.2	2.1	2.2	—	2.2

d. 介護度別サービス利用実績

単位：人

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
支援	0	0	68	118	202
介護1	278	121	154	457	707
介護2	235	87	394	670	774
介護3	197	100	368	739	281
介護4	156	62	145	120	94
介護5	173	90	33	0	126



3. 送迎状況

単位：人

通所形態	月	火	水	木	金	土	合計
送迎車両	10	6	8	8	10	—	42
家族送迎	0	0	0	0	0	—	0
同一敷地	0	0	0	0	0	—	0
合計	10	6	8	8	10	—	42

送迎は安全かつ合理的に行なう工夫が必要で、サービスの質を高める上で重要である。家族と関わりを持つ事で情報を得る機会となり、健康管理にも重要なサービスとして位置付けられる。

4. 行事・プログラム

月	内 容
4月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
5月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
6月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
7月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
8月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
9月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
10月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
11月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
12月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
1月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
2月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
3月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会

今後も、少人数かつ個人のニーズに合わせた個別プログラムを提供していく方針である。

同じ趣味を持つ他利用者との繋がりも出来、サロン形式が実現できている。

日々の状態変化を観察し、話を聞き入れながら共感し合い、個々に合った対応方法を考え、職員間でその情報を共有することを継続していく。

5. 事 故

2025年度の事故件数 3件

インシデントは0件となっている。

いずれの事故も自動車事故（ドライバー職員の高齢化による問題）である。そのうち2件は人身事故であり、同一のドライバーの事故であったことから、2件目以降は事前に防げる事故であった。

今後は、添乗する職員が協力して安全確認を行なうのは勿論の事、それでもなお危険と覚えることがあった場合に報告できる体制を作り、ドライバーの適正化を図る。

また、運転業務に対して年齢制限をかけることも視野に入れ、運転できる介護職員の充足を目指して職員募集を行なうようにする。

今年度は介護中の事故の発生は無かったが、今後も継続して職員は介護技術の向上を念頭に置きつつ、営業時はデイサービスの活動において起こりうる様々なリスクを職員間で共有し、安心かつ安全な居場所を利用者に提供することができるように心掛ける。

2026年度は「事故件数0件」「インシデント件数の減少」を目指す。

F_{ood} Service

栄養と調理

<モモ>

栄養ケアマネジメントにおいて計画書を作成。

日頃から利用者の情報収集に努め、スクリーニングおよびアセスメントを行ない、問題点に関して他職種で検討・モニタリングしている。

入所者の入れ替わりはあるが、2024年度と比較すると中リスク者の割合は67%から70%と増加傾向にあった。

低リスク者も増加しており、その分高リスク者が減少していることが要因と思われる。

ただ、あくまでのその年の入居者に対する割合であり、マネジメントにおいては個々の血液検査やADL変化等の動向をよく観察し、目の前の高齢者に何ができるかを考えていく。

また、全身状態の低下や嚥下機能の低下が急激に見られるケース（看取り対象者）が増えてきている為、急激な体重減少や誤嚥性肺炎などのリスクを踏まえ長期的にみた体重の推移・日頃の状態観察を行ない、食べやすい食事や栄養補助食品の提供と共に経過を観察していく。

口腔ケアに関しては連携している歯科医師の助言をもとに口腔ケアの方法や適切な道具の選定などにつき介護士・看護師と連携して関わっていく。

<ピノ>

栄養ケアマネジメントにおいて計画書を作成。

モモ同様日頃から利用者の情報収集に努め、スクリーニングおよびアセスメントを行ない、問題点に関して他職種で検討・モニタリングしている。

血液検査やADL変化等の動向をよく観察し、目の前の高齢者に何ができるかを考えていく。

個々の体格に応じた食事量の調整は主食で行ない、嚥下状態に合わせた食形態にすることで安全で安心な食事提供に努めている。

意思疎通が難しく認知症の進行に伴い経口摂取を拒否される方が多くみられ、胃瘻ないし療養型施設への転園へとつながっているが、積極的な医療措置が行なえない以上、経口摂取して頂くことが基本でありそれらが難しくなっていく方のケアが課題であり、介護士・看護師とも相談して、適切に栄養摂取ができる様マネジメントしていく。

看取り介護も開始され、最期を無理強いせず尊厳のある生活を営むことのできるよう、家族や他職種と相談しながら栄養補助食品や水分補給ゼリー等、その方に合わせたものを提供している。

口腔ケアに関しては連携している歯科医師の助言をもとに口腔ケアの方法や適切な道具の選定などにつき介護士・看護師と連携して関わっていく。

<ナナ>

入居者は増えたがレストラン利用数は比例せず。

最も利用の多い夕食でも利用率は入居者全体の44%（前年度50%）、朝食・昼食では22.5%（前年度25%）で、2024年度と比べて減少傾向となっている。

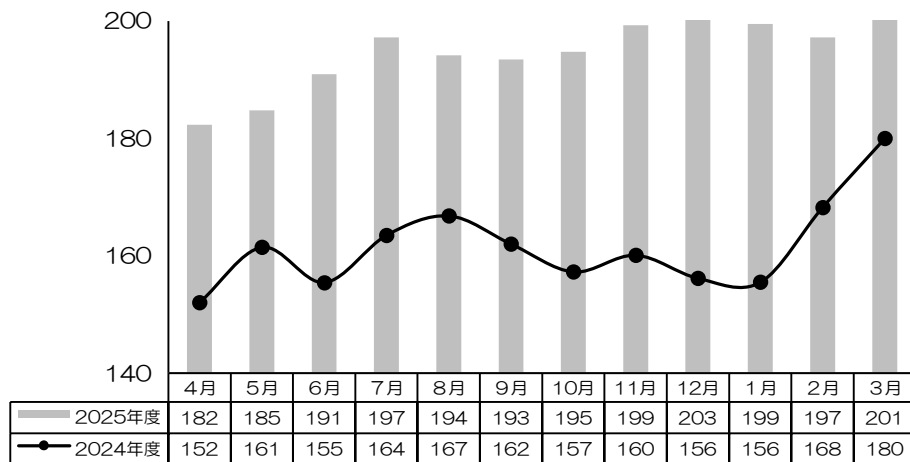
年数の経過と共にADL低下により援助が必要な方が増えているが、同時に退去される方も増えており、新規入居者は自炊される方や昼食においてはデイサービス等の利用で外出する方も多く需要は伸び悩んでいる。

入居者間コミュニケーションの充実や個別対応の見直しを図り、レストランでの喫食者増加に繋げていけるように努力する。

1. 食数

①特養・ショートモモ：月別1日平均食数

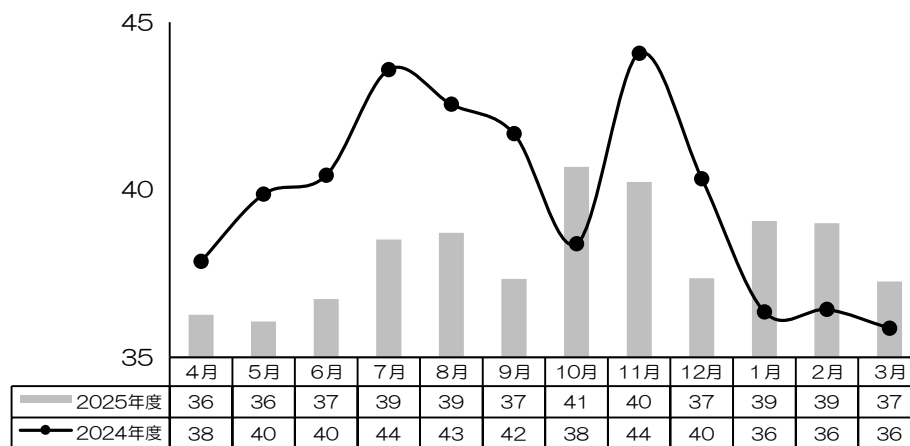
単位：食



ショートステイはほぼ満床のまま推移しており、空床利用も行なっているため本入所も空床期間が短く2024年度に比べ増加傾向にあり、年間を通して増減の少ない結果となった。

②ケアハウス：月別1日平均食数

単位：食

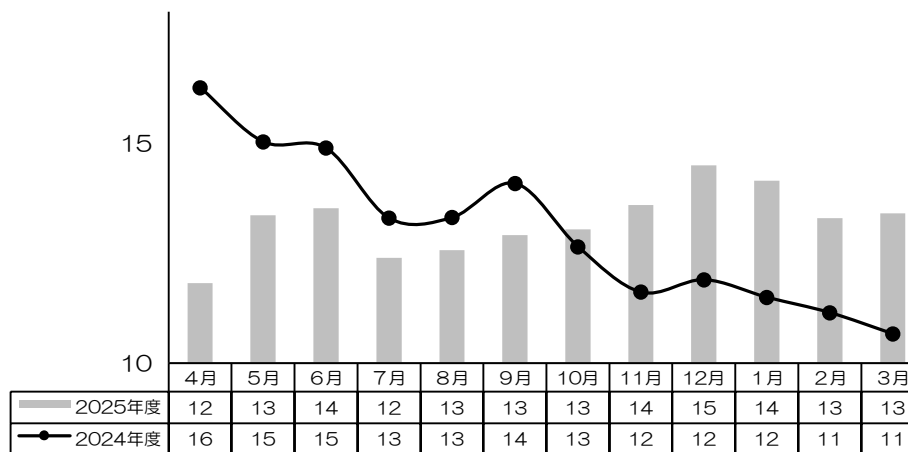


昼食においては外出やデイ利用にて欠食者が多い傾向は変わらず。

5月以降満床ではあるもの、入院やショートの利用が多かった月は減少しており、グラフにも反映されている。

③デイサービス：月別平均食数

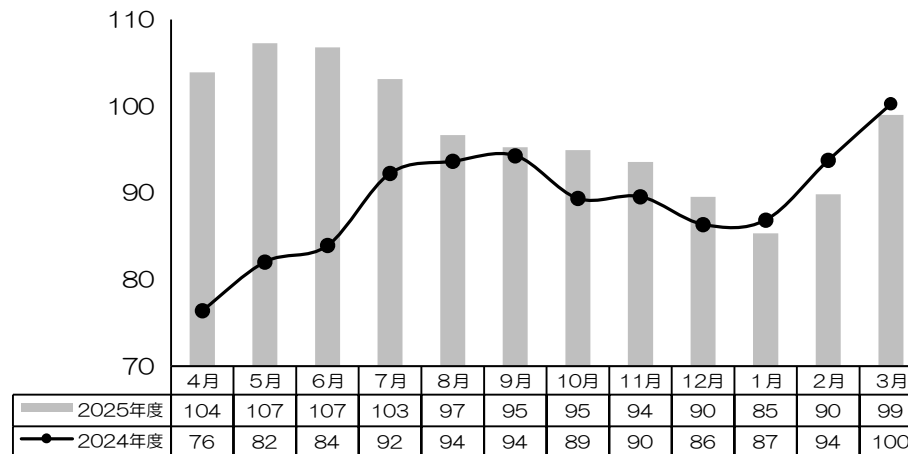
単位：食



新規利用者はあるものの利用中止者もあり、人数の増加とはならず。昨年度とほぼ変わらぬ推移となっている。

④コミュニティホーム・ショートピノ：月別1日平均食数

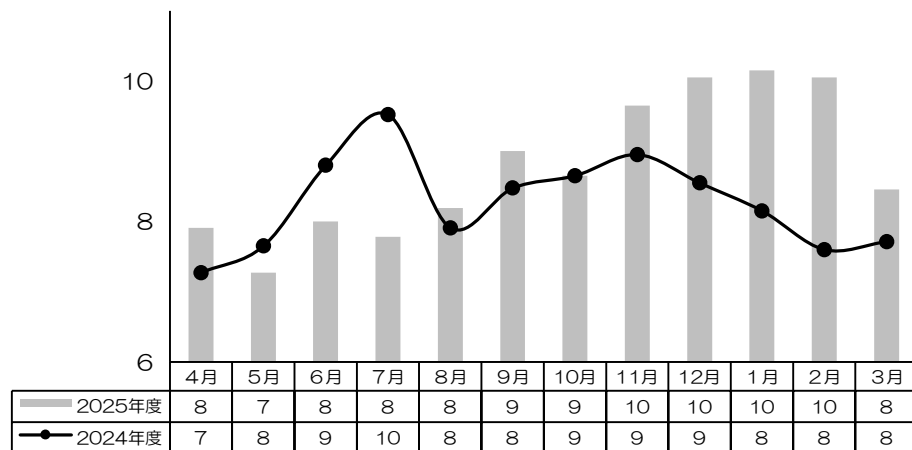
単位：食



12～2月はショートステイの利用減少と特養入院・退所者の増加が重なり減少がみられているが、その他は月間90%以上の食数となっている。

⑤コミュニティセンター：月別平均食数

単位：食



新規利用者はあるものの利用中止者もあり、人数の増加とはならず。昨年度とほぼ変わらぬ推移となっている。

2. 栄養ケアマネジメント

日々変化する個々の栄養状態に合わせ他職種間で随時情報を共有し、食事量調整、内容や栄養補助食品の検討を行ないマネジメントに繋げている。

①モモ

a) BMI分布

	2025年度	2024年度
18.5未満	25名(43.1%)	18名(32.1%)
18.5以上 25未満	36名(55.2%)	36名(64.3%)
25以上	2名(1.7%)	2名(3.6%)

2024年度に比べ痩せ気味の方が増えている。

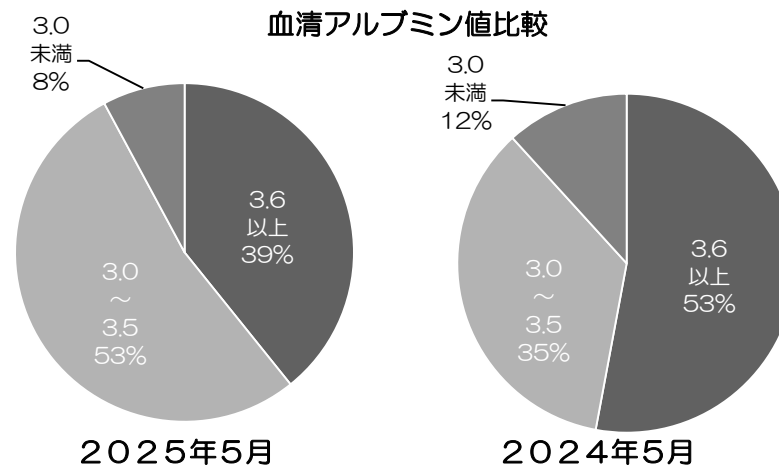
入退所があり昨年度と同じ方での比較ではないため、数値からは見えない部分もあるが、体調不良以外で著しい増減があった方はおらず、健康状態への影響は少ないと判断される。

b) 血清アルブミン値

3.6以上の割合は減っているものの、3.0未満の割合も減っており、2024年度とほぼ変わらない水準といえる結果である。

割合はあくまで指標とし、個々に向き合ったケアが必要である。

往診時でもアルブミン値のチェックを行ない、低い人には栄養状態が改善できるか否かを多職種で検討し、改善を目指していく。



c) 食事内容調整

内容は2024年度と変わらず、嚥下状態や入退院による変更および看取り対応への移行に対する変更が多く、中には義歯の不具合によるものも見られた。

給食会社の食事は病院基準になっており、個々へ合わせた調整は以前より細かくできるようになっている。

変更に至っては看護師・介護士・ケアマネジャーからも情報提供を受け、小さな気づきから多職種で検討を行ない、安全な食事内容を提供し誤嚥事故を防いでいる。

吸引回数が多くなると食事が難しくなり、栄養補助食品のみの対応になるケースも多い。

看取り期の食事の在り方について、試行錯誤しながら行なっている。

d) 栄養ケア計画作成

2026年3月では低リスク者25.9%・中リスク者70.7%・高リスク者3.4%となっており、それぞれアルブミン値の関与が大きい。

リスク判定だけにとどまらず、個々調整を行なっていく。

②ピノ

a) BMI分布

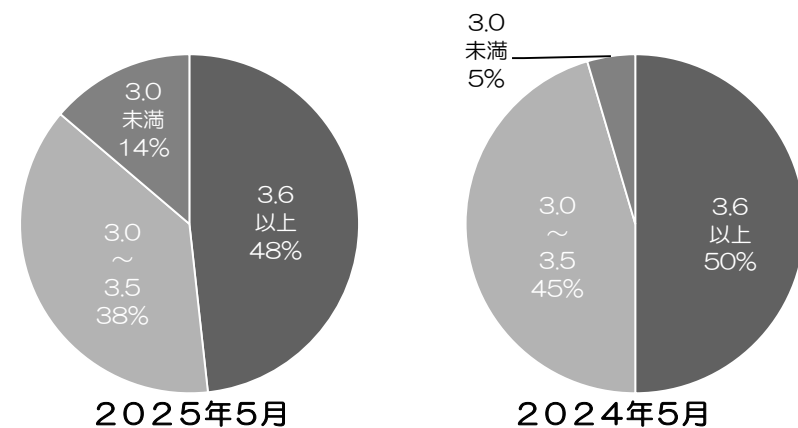
	2025年度	2024年度
18.5未満	9名(32.1%)	12名(44.4%)
18.5以上25未満	16名(57.2%)	14名(51.9%)
25以上	3名(10.7%)	1名(3.7%)

前年度に比べ痩せ気味の方が減り、やや肥満気味の方が増えている。日々体調の変動がある為、あくまで指標として捉え個別に経過を追っていく必要がある。

b) 血清アルブミン値

前年度と比べ大幅な増減はないものの、3.0未満の割合が増えている。血液検査を行なった際には適宜アルブミン値を確認し、急激に悪化した対象者には食事内容の検討や栄養補助食品の付加を検討していく。

血清アルブミン値比較



c) 食事内容調整

調整の内容は、嚥下状態によるものと入退院による変更および看取り対応への移行に対する変更が多くを占める。

変更に至っては看護師・介護士・ケアマネジャーからも情報提供を受け、小さな気づきから多職種で検討を行ない、安全な食事内容を提供し誤嚥事故を防いでいる。

d) 栄養ケア計画作成

2026年3月では低リスク者26.9%・中リスク者69.3%・高リスク者3.9%となっており、それぞれアルブミン値の関与が大きい。

リスク判定だけにとどまらず、個々調整を行なっていく。

3. 経口摂取困難者（看取り期）の食事形態

嚥下状態（飲み込み）の低下・声かけ時の反応低下・1日の覚醒サイクル不安定・吸引等医療措置の増加・体力低下による食事負担軽減の必要性等を観察し、必要に応じて半固形栄養食を1食～3食の間で使用していく。

水分摂取では、とろみ使用もゼリー摂取も困難で、食事量も低下している看取り期の利用者に都度適した水分補助食品を検討・提供し、無理のない水分摂取・栄養補給に努めている。

とろみ・水分ゼリーのどちらが本人にとって摂取しやすいのか、適宜検討を行ない誤嚥性肺炎のリスクを低下させることが重要であり、血液検査の結果を受け適切な栄養負荷が行なえる栄養食を選ぶ必要もある。

加齢に伴う口腔機能や摂取・嚥下機能の低下が顕著であるため、現在の食事形態維持の為に嚥下体操や口腔ケアを重視していく必要がある。

定期的に歯科衛生士による口腔ケアチェックを行なっていく、口腔内の清潔保持に努めていく。

4. 療養食加算算定

開始までの運用方法検討・献立準備を行ない、2021年9月より療養食算定を開始したが、2026年3月末現在で該当者はいない。

ピノは食事提供が介護士によるユニットでの弁当提供の為、対応できない部分が多く今後の運用については検討を要する。

モモの委託業者は病院主体の食事提供を行っており、施設内調理でなくとも療養食に対応（提供継続）する事ができる。

5. 選択食

<モモ>

2024年11月より、セントラルキッチン方式で（委託会社の提供）の献立に選択食がない為、実施が難しく現在は提供を見送っている。

<ピノ>

現在冷凍弁当を使用しており、1日1種類の提供しかないため実施が難しく現在は提供を見送っている。

6. 行事食

<モモ>

給食委託業者側にて正月祝い膳や敬老祝い膳等の季節の行事食は通常の献立に組み入れてもらい、各部署共通にて実施した。

部署毎の行事食については給食委託業者側と協議しながら行ない、委託業者と施設側とで協力しながらの提供となった。

セントラルキッチン方式への変更に伴い、行事についてはおやつに季節感のあるものを取り入れることで実施していく。

<ピノ>

主体となる食事以外は様々な購入先を模索し、季節感のある行事食ができるように工夫した。

その他ユニット毎で計画・提供を行ない、ケーキや弁当等を外部購入して提供するようにしていく。

2025年度 行事食実施献立

月	日	対象部署	イベント名	献立
4月	1日	特・デ・ケ	年度初め祝い	おやつ：ねりきり（桜）
	24日	特・デ・ケ	お花見御膳	筍ご飯・さわら木の芽焼き・春野菜和え・お吸い物（きぬさや・花麩）・いちごムース
	21～25日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	22日	ケア	ケア例会	季節のデザート
5月	5日	特・ケ	こどもの日	バターライス・鶏のバジルチーズ焼き・筍の金平・玉葱のマリネ・こどもの日ゼリー おやつ：ねりきり（柏餅）
	11日	特	母の日	おやつ：ねりきり（カーネーション）
	19～23日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	28日	ケア	ケア例会	季節のデザート
6月	11日	特・デ・ケ	梅雨入り膳	トウモロコシライス・アクアパッツァ・じゃが芋と枝豆の温野菜サラダ・ゼリー
	16日	特・デ・ケ	父の日	チョコレートプリン（ハート）
	16～20日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	25日	ケア	ケア例会	季節のデザート
7月	7日	特・デ・ケ	七夕	五目炊き込みご飯・セタハンバーグ・えびと木耳の酢の物・そうめん汁（手毬麩）・セタゼリー おやつ：ねりきり（織姫・彦星）
	14～18日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	19日	特・デ・ケ	土用の丑の日	おやつ：ねりきり（土曜餅）
	21日	特・デ	海の日	バニラアイス
	23日	ケア	ケア例会	季節のデザート
8月	8日	特・デ・ケ	山の日	夏野菜カレー・ツナとコーンのサラダ・ゼリー
	11日	特・デ	山の日	バニラアイス
	19～23日	デイ	誕生会	ケーキ（曜日替わり）
	28日	ケア	ケア例会	季節のデザート
9月	15日	特・デ・ケ	敬老の日膳	栗ご飯・鶏の甘辛煮・きのこ柚子和え・味噌汁（花麩）・ゼリー おやつ：ケーキ
	15～19日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	22日	ケア	ケア例会	おはぎ（きなこ・つぶあん）

月	日	対象部署	イベント名	献立
10月	20～24日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	22日	ケア	ケア例会	季節のデザート
	31日	特・デ・ケ	ハロウィン	洋風ライス・ハッシュドポーク・ホットパンブキンサラダ・デザート おやつ：ねりきり（ハロウィン）
11月	17～21日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	11日	特・ケ・デ	秋の実り膳	御飯・鮭ちゃんちゃん焼・蕪煮物・吸物（麩・若布）・りんごゼリー
	26日	ケア	ケア例会	季節のデザート
12月	15～20日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	22～26日	デイ	お楽しみ週間	ケーキ（曜日替わり）
	24日	特	クリスマス	クリスマスケーキ
	24日	ケア	クリスマス	クリスマスケーキ
	25日	特・ケ・デ	クリスマス膳	ピラフ・クリスマスランチ・えびとブロッコリーのサラダ・コーンポタージュ・クリスマスデザート
31日	特・ケ	大晦日	年越し蕎麦・じゃが芋の含め煮・サラダ・フルーツ	
1月	1日	特・ケ	元旦（おせち）	赤飯・ぶりの照り焼き（黒豆・木の葉南瓜）・青菜の煮浸し・清汁（手毬麩・葱）・水ようかん おやつ：紅白饅頭
	2日	特・ケ	正月祝い膳	御飯・すき焼き風・栗きんとん・吸い物（花麩・ほうれん草）
	5～9	デイ	新春祝い	おやつ：季節の練り切り
	19～23日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	21日	特	誕生会	ケーキ
	22日	ケア	ケア例会	季節のデザート
2月	3日	特・ケ	節分	炊き込み御飯・イワシフライ・大豆サラダ・沢煮椀・節分デザート（おやつ：練り切り（おたふく））
	14日	特・デ・ケ	バレンタイン	おやつ：お米 de ガトーショコラ
	17～21日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
3月	26日	ケア	ケア例会	季節のデザート
	3日	特・ケ	ひな祭り	ちらし蒸し寿司・炊き合せ・酢の物・清汁（菜花）・桃の花ゼリー（おやつ：練り切り（ひな人形））
	14日	特・デ・ケ	ホワイトデー	おやつ：チョコレートムース
	16～20日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	27日	ケア	ケア例会	季節のデザート



居宅サービスセンターモモ

2025年度は、2025年問題の影響からか、75歳以上の方が介護状態にならないような仕組みが増えていたのが印象的であった。

団塊の世代の利用者の紹介・相談が急激に増えたかということとそこまで大きく増えた訳ではないが、高齢者全体で考えると要介護者・要支援者とも右肩上がりに増えていた。

それまで「40件未満」であった介護支援専門員1人当たりの取扱件数が「45件未満」に改められてから丸一年が経ち、各ケアマネジャーの担当人数も安定していた状態から15名分の枠が広がったことで、十分に新規受け入れが出来る状況のなか、各地域包括支援センターからは新規の依頼があり、着々と新規獲得を行ない、給付管理実績の向上を図ることが出来た。

特定事業所加算を算定して4年目となり、算定要件のひとつである介護支援専門員実務研修の実習生を、2025年度は1名受け入れた。

その他にも、地域包括支援センター・他居宅事業所と連携した事例検討会・勉強会の企画立案等の実施要件を満たす必要があり、研修参加や情報収集等を実施。

今後の課題としては、利用者人数が増えることに伴い、同法人のサービス利用へ繋げていくことも責務として考え、公平中立の観点から選択してもらう枠には優先して紹介していたが、なかなか上手くいかない面も出てきているため、各部署と連携して互いの実績向上に繋げていけるように情報交換などを行い、法人全体の発展に貢献できるように努めていく。

1. 利用者の推移

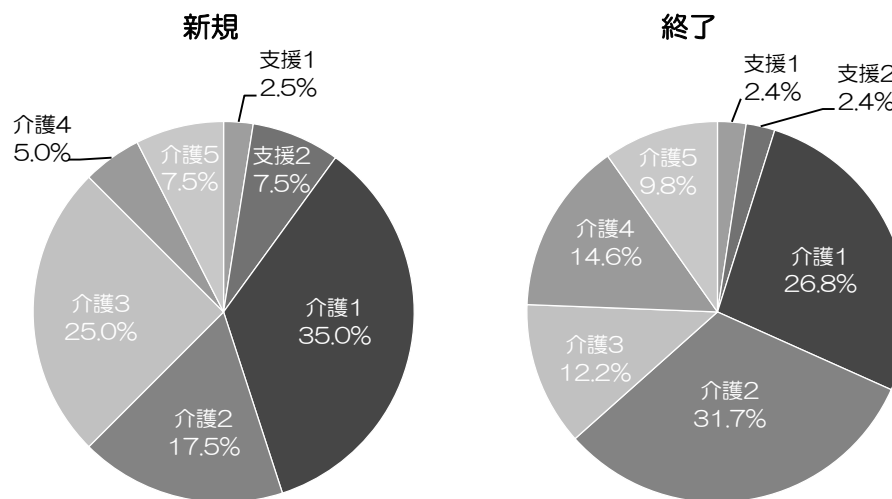
a. 毎月の新規契約・支援終了者

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規契約 40名	7 (4)	1 (5)	2 (1)	2 (3)	1 (3)	3 (2)	6 (6)	3 (8)	3 (2)	5 (3)	1 (2)	6 (8)
支援終了 41名	0 (2)	1 (5)	5 (1)	7 (0)	3 (2)	4 (2)	2 (3)	5 (6)	3 (3)	4 (6)	4 (2)	3 (6)

※ () 内は前年度数値

b. 介護度別構成



単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
新規	0 (0)	1 (4)	3 (8)	14 (15)	7 (14)	10 (2)	2 (2)	3 (2)	1.88 (1.46)
終了	0 (0)	1 (1)	1 (4)	11 (6)	13 (13)	5 (8)	6 (3)	4 (3)	2.36 (2.24)

※ () 内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50換算で算出

c. 新規依頼経路

単位：人

経路	男性	女性	合計
直近地域包括	3	11	14
その他地域包括	6	5	11
市担当課	0	0	0
病院 MSW 等	0	2	2
他 居 宅	2	4	6
他 事 業 所	0	0	0
配偶者等を担当	1	4	5
知人紹介	0	0	0
自己検索	0	1	1
その他	0	1	1
合 計	12	28	40

地域包括：これまでは直近地域包括の割合が減少傾向にあったが、直近地域包括で職員の入替わりがあった影響か、今年度は増加傾向が見られた。

d. 支援終了理由

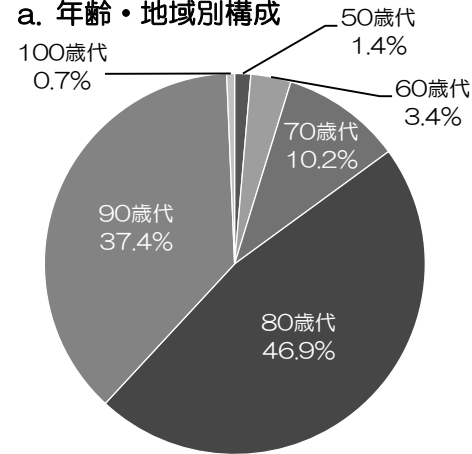
単位：人

理由	男性	女性	合計
死 亡	5	4	9
認定「自立」	0	0	0
認定「要支援」	1	0	1
施設入所(モモ)	1	2	3
施設入所(ピノ)	0	2	2
施設入所(他法人)	6	4	10
利用者解約	0	1	1
事業所解約	0	0	0
その他	9	6	15
合 計	22	19	41

2. 現員者の状況

※2025.03.31 登録者：147名に対する値

a. 年齢・地域別構成



●年齢構成 単位：人（延べ） / （ ）内は前年度数

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	1 (1)	2 (2)	5 (10)	22 (31)	18 (17)	1 (0)	49 (61)
女性	1 (1)	3 (2)	10 (12)	47 (44)	37 (30)	0 (0)	98 (89)
全体	2 (2)	5 (4)	15 (22)	69 (75)	55 (47)	1 (0)	147 (150)
二 号	0 (0)	0 (0)					0 (0)

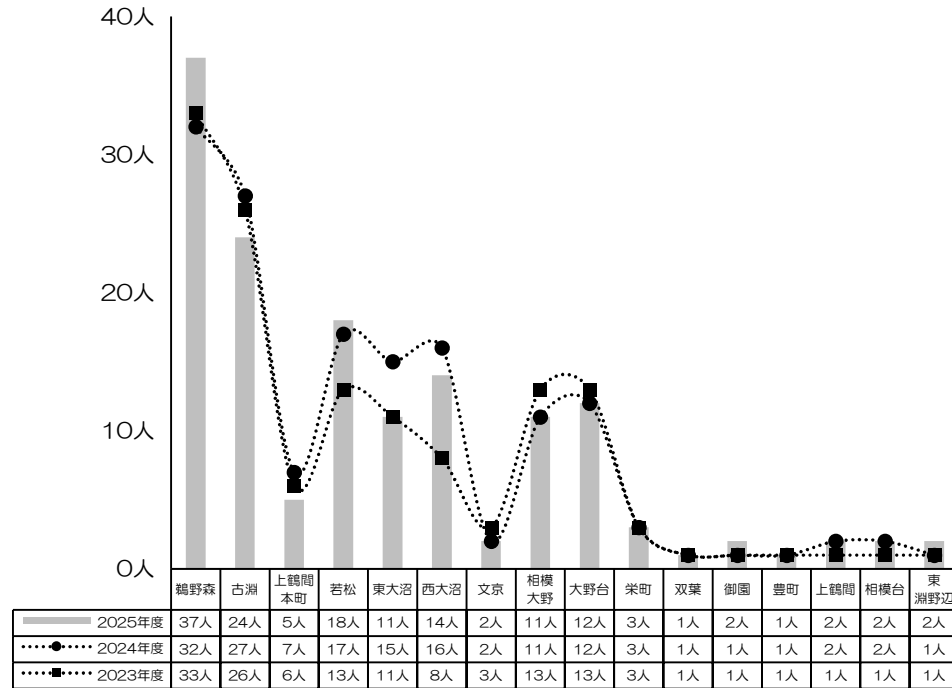
●地域 単位：人（延べ）

地域	男性	女性	合計
相模原 市南区	49 (61)	97 (88)	146 (149)
区外	0 (0)	1 (1)	1 (1)
市外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
県外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	49 (61)	98 (89)	147 (150)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	100歳 6ヶ月 (99歳 6ヶ月)	59歳 11ヶ月 (58歳 11ヶ月)	86.02歳 (84.70歳)
女性	99歳 3ヶ月 (98歳 3ヶ月)	56歳 3ヶ月 (54歳 3ヶ月)	86.28歳 (85.75歳)
全体	100歳 7ヶ月 (99歳 7ヶ月)	56歳 3ヶ月 (55歳 3ヶ月)	86.19歳 (85.33歳)

※（ ）内は前年度数値

●登録住所



2025年度は「南区」の方が大半、「中央区」2名が対象となった。

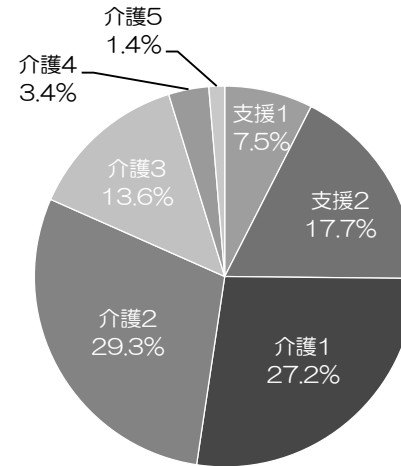
鶴野森 = 25.17%

古淵 = 16.33%

上鶴間本町 = 3.40%

上記3地区（法人事業展開エリア）で44.90%の割合を占めている。

b. 介護度別構成



- ① 事業対象者/要支援1・2合計 37人 (25.17%)
- ② 要介護1・2合計 83人 (56.46%)
- ③ 要介護3・4・5合計 27人 (18.37%)

単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0 (0)	4 (6)	10 (8)	9 (17)	13 (19)	11 (5)	1 (2)	1 (1)	1.69 (1.48)
女性	0 (0)	7 (7)	16 (17)	31 (32)	30 (25)	9 (6)	4 (0)	1 (3)	1.52 (1.32)
合計	0 (0)	11 (13)	26 (25)	40 (49)	43 (44)	20 (11)	5 (2)	2 (4)	1.58 (1.40)

※（ ）内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50換算で算出

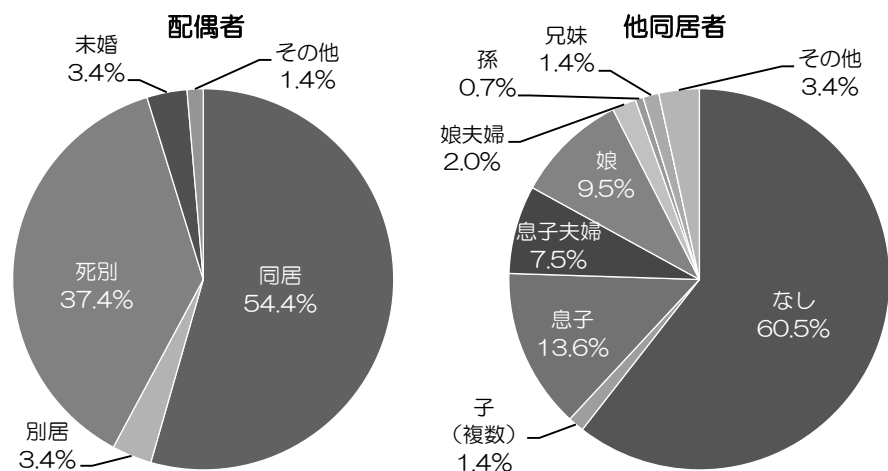
c. 介護保険負担限度額認定

単位：人

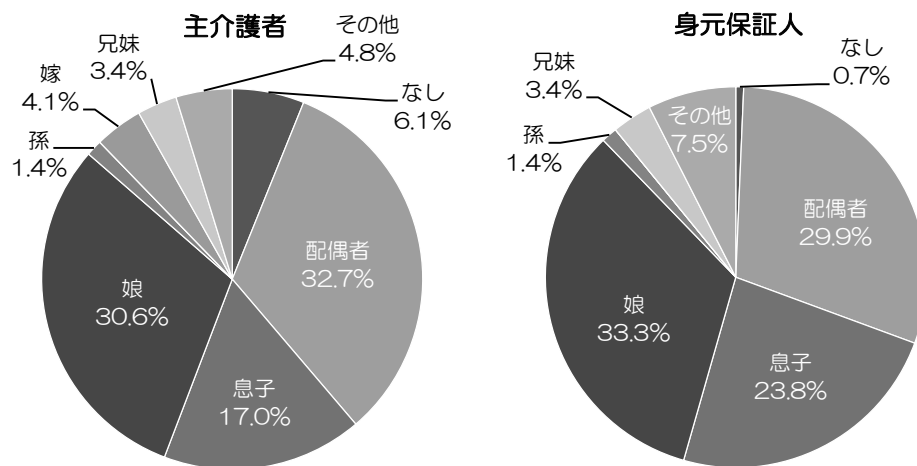
第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階 (含：未申請)	合計
0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	146 (148)	147 (149)

※（ ）内は前年度数値

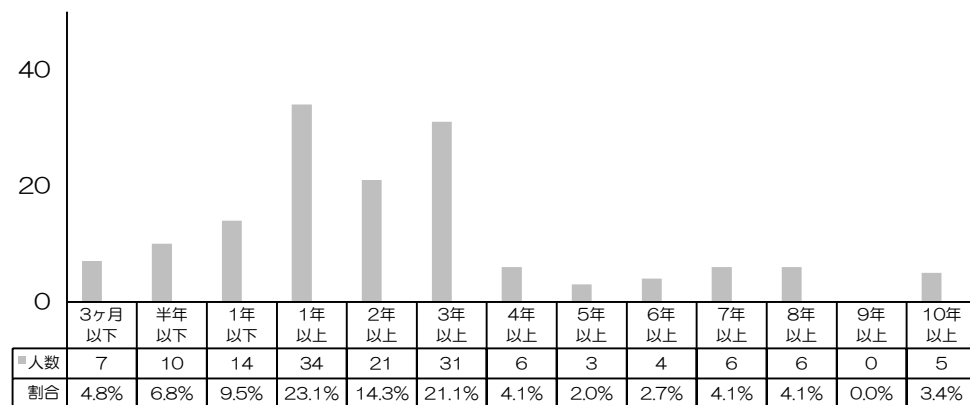
d. 世帯構成



e. 本人支援状況



f. 利用期間



g. 認知症の状況

単位：人

基準	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明	合計
男性	6	11	10	13	5	0	0	0	4	49
女性	15	19	22	17	12	1	3	0	9	98
合計	21	30	32	30	17	1	3	0	13	147

※認定調査票・主事意見書取得申請中者を除く

h. 日常生活動作状況

単位：人

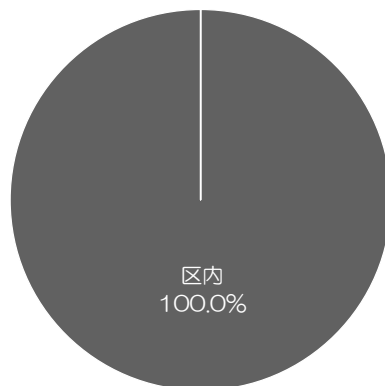
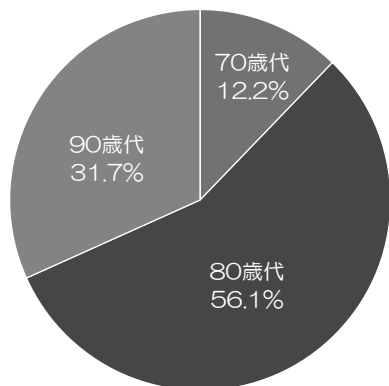
基準	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	合計
男性	4	4	9	10	10	6	2	0	0	4	49
女性	1	6	26	25	21	4	5	0	1	9	98
合計	5	10	35	35	31	10	7	0	1	13	147

※認定調査票・主事意見書取得申請中者を除く

3. 終了者の状況

※2025年度終了者：41名に対する値

a. 年齢・地域別構成



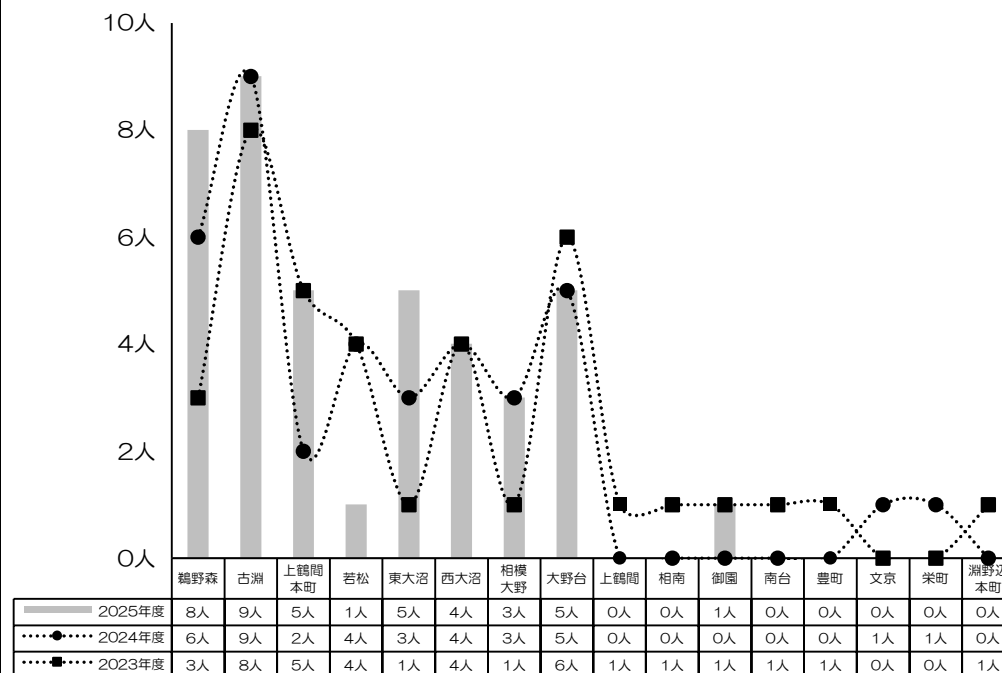
●年齢構成 単位：人（延べ） / （ ）内は前年度数

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0 (1)	0 (0)	3 (5)	17 (12)	2 (0)	0 (0)	22 (18)
女性	0 (0)	0 (1)	2 (1)	6 (10)	11 (8)	0 (0)	19 (20)
全体	0 (1)	0 (1)	5 (6)	23 (22)	13 (8)	0 (0)	413 (38)
二 号	0 (0)	0 (0)					0 (0)

●地域 単位：人（延べ）

地域	男性	女性	合計
相模原市南区	22 (18)	19 (20)	41 (38)
区外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
市外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
県外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	22 (18)	19 (20)	41 (38)

●登録住所

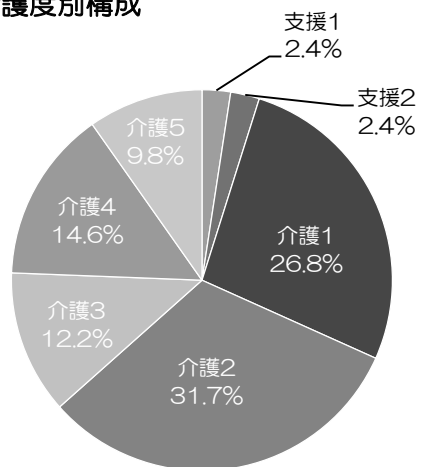


終了者は「南区在住」のみの方で41名。

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	95歳 10ヶ月 (89歳 7ヶ月)	76歳 3ヶ月 (58歳 7ヶ月)	84.55歳 (80.89歳)
女性	96歳 3ヶ月 (97歳 8ヶ月)	71歳 2ヶ月 (60歳 11ヶ月)	88.79歳 (86.15歳)
全体	96歳 3ヶ月 (97歳 8ヶ月)	71歳 2ヶ月 (60歳 11ヶ月)	86.51歳 (83.66歳)

※解約日当日の年齢 / （ ）内は前年度数値

b. 介護度別構成



- ① 事業対象者/要支援 1・2 合計
2人 (4.88%)
- ② 要介護 1・2 合計
24人 (58.54%)
- ③ 要介護 3・4・5 合計
15人 (36.59%)

大半が死亡・施設入所で、はっきりとした支援終了理由が多く、例年同様の内容が続いている。

単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0 (0)	0 (1)	1 (3)	6 (2)	7 (6)	3 (3)	5 (1)	0 (2)	2.25 (2.15)
女性	0 (0)	1 (0)	0 (1)	5 (4)	6 (7)	2 (5)	1 (2)	4 (1)	2.48 (2.33)
合計	0 (0)	1 (1)	1 (4)	11 (6)	13 (13)	5 (8)	6 (3)	4 (3)	2.36 (2.24)

※ () 内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50 換算で算出

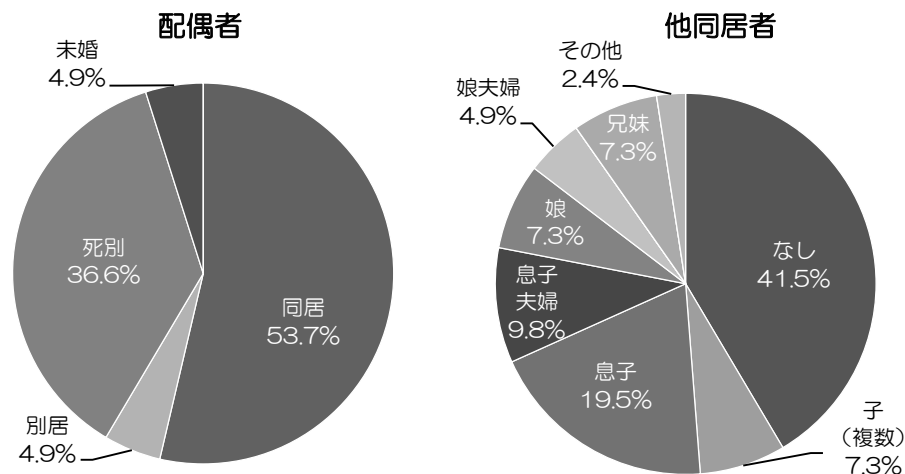
c. 介護保険負担限度額認定

単位：人

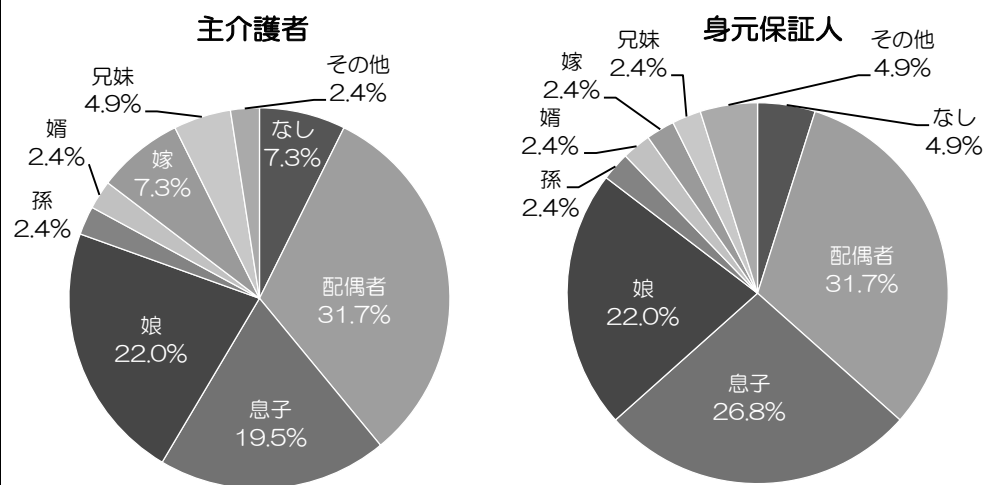
第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階 (含：未申請)	合計
0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (3)	41 (35)	41 (38)

※ () 内は前年度数値

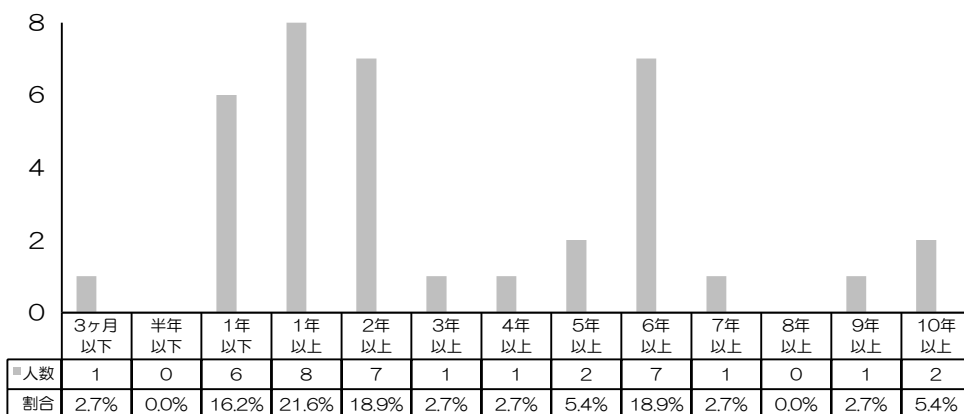
d. 世帯構成



e. 本人支援状況



f. 利用期間



g. 認知症の状況

単位：人

基準	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明	合計
男性	4	6	2	3	0	2	2	1	2	22
女性	3	4	3	4	4	1	0	0	0	19
合計	7	10	5	7	4	3	2	1	2	41

※認定調査票・主事意見書未取得者を除く

h. 日常生活動作状況

単位：人

基準	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	合計
男性	4	0	4	5	3	1	0	3	0	2	22
女性	1	1	5	4	4	1	2	1	0	0	19
合計	5	1	9	9	7	2	2	4	0	2	41

※認定調査票・主事意見書未取得者を除く

4. 介護サービス展開状況 ※2025年度利用者延べ147名に対する値

a. ケアプラン（居宅サービス計画書）作成

単位：件

職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A	8	6	3	11	7	11	10	6	9	12	8	9	100
B	7	6	10	9	5	5	6	5	6	5	8	9	81
C	7	6	5	8	6	4	9	7	4	7	5	6	74
合計	22	18	18	28	18	20	25	18	19	24	21	24	255

b. サービス担当者会議

単位：回

職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A	5	4	3	10	7	4	11	6	6	9	8	4	77
B	5	4	7	7	5	3	6	5	6	5	5	9	69
C	7	6	5	9	6	4	9	7	4	7	5	6	75
合計	17	14	15	26	18	11	26	18	16	21	18	19	219

c. 関連事業所

単位：事業所（数）

	通所介護	福祉用具	訪問介護	短期入居	訪問看護	通所リハ	訪問入浴
事業所	95	80	30	19	23	4	1

d. 個人別契約事業所

単位：人

	利用なし	1事業所	2事業所	3事業所	4事業所	5事業所超
事業	0	0	0	0	0	0
支援1	1	8	2	0	0	0
支援2	2	10	12	1	1	0
介護1	0	17	11	4	2	2
介護2	1	11	19	8	3	1
介護3	1	7	4	4	2	1
介護4	0	1	1	1	1	0
介護5	0	1	1	0	0	0
合計	5	55	50	18	10	4

e. 複数サービス利用

単位：人

	利用なし	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類超
事業	0	0	0	0	0	0
支援1	1	8	2	0	0	0
支援2	2	10	12	2	0	0
介護1	0	17	15	1	2	1
介護2	1	14	16	9	3	0
介護3	1	7	3	7	1	1
介護4	0	1	2	1	0	0
介護5	0	1	1	0	0	0
合計	5	58	51	20	6	2

f. 自法人併設サービス利用（契約数）

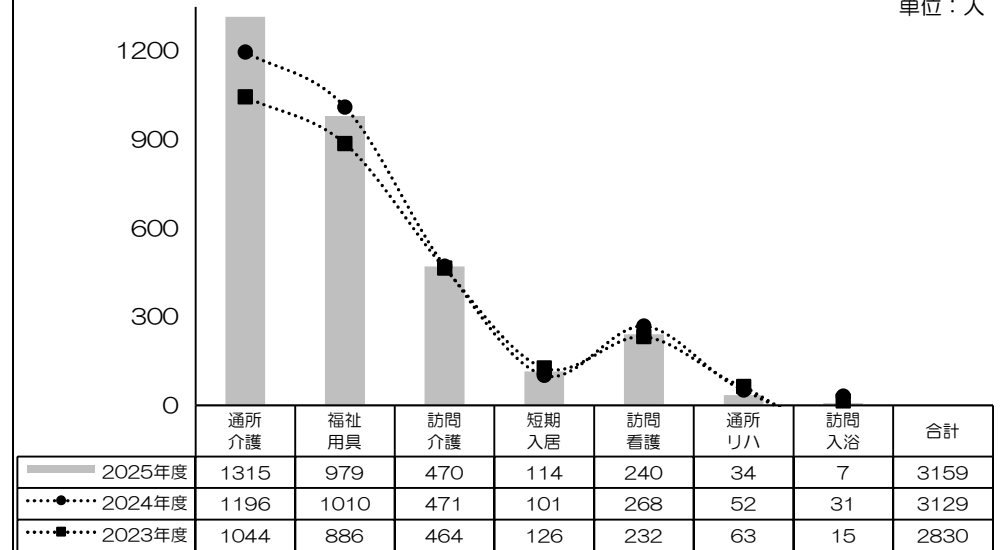
単位：人

施設 種別	MOMO						PINO			
	特養		SS	DS	ケア		特養		SS	DS
	申	入			申	入	申	入		
2025年度	4	2	9	19	0	9	1	0	6	8
2024年度	4	0	3	13	0	8	2	0	7	9
2023年度	4	0	3	13	0	8	2	0	7	9

※申=入居申込のみ ※入=入居（特養の場合はそれを理由に契約終了となった者）

g. 種類別サービス利用件数

単位：人



h. 月別サービス利用

単位：人

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	109	110	110	115	109	106	110	113	112	108	106	107	1315
福祉用具	83	84	85	84	83	80	81	80	82	80	79	78	979
訪問介護	44	44	43	42	39	37	39	37	35	36	38	36	470
短期入居	9	10	9	9	11	7	10	10	10	8	9	12	114
訪問看護	19	20	19	18	20	17	19	20	21	22	22	23	240
通所リハ	4	4	4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	34
訪問入浴	2	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	7
住宅改修	1	0	1	0	0	2	2	1	2	0	0	0	9

i. 介護度別サービス利用

単位：人（延べ）

種 類	事業 対象	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
通所介護	3	59	205	549	349	126	19	5	1315
福祉用具	0	23	240	197	345	132	31	11	979
訪問介護	0	24	81	127	164	44	24	6	470
短期入居	0	0	1	10	29	22	29	13	114
訪問看護	0	17	19	56	93	43	5	7	240
通所リハ	0	0	12	2	20	0	0	0	16
訪問入浴	0	0	0	2	0	0	1	3	7
住宅改修	0	1	0	1	3	3	0	0	8

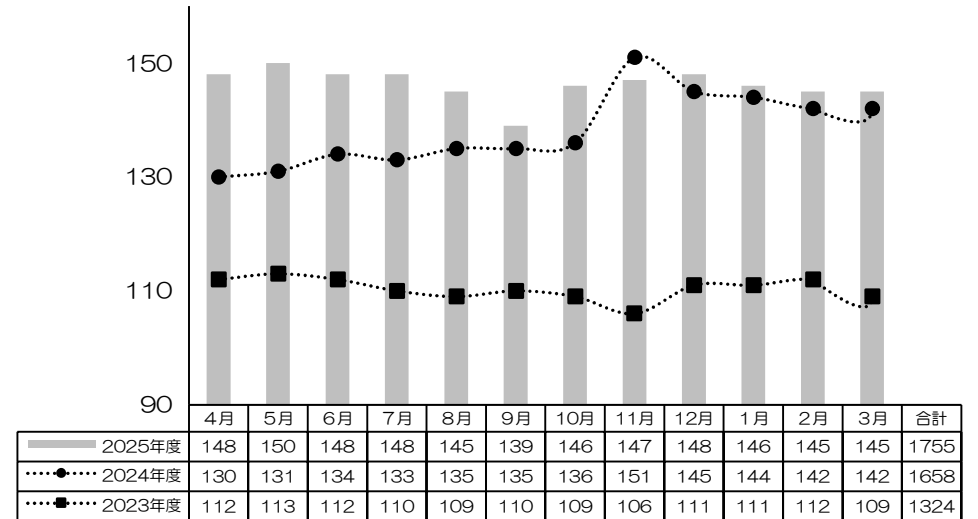
j. 福祉用具品目別利用傾向

単位：人（延べ）

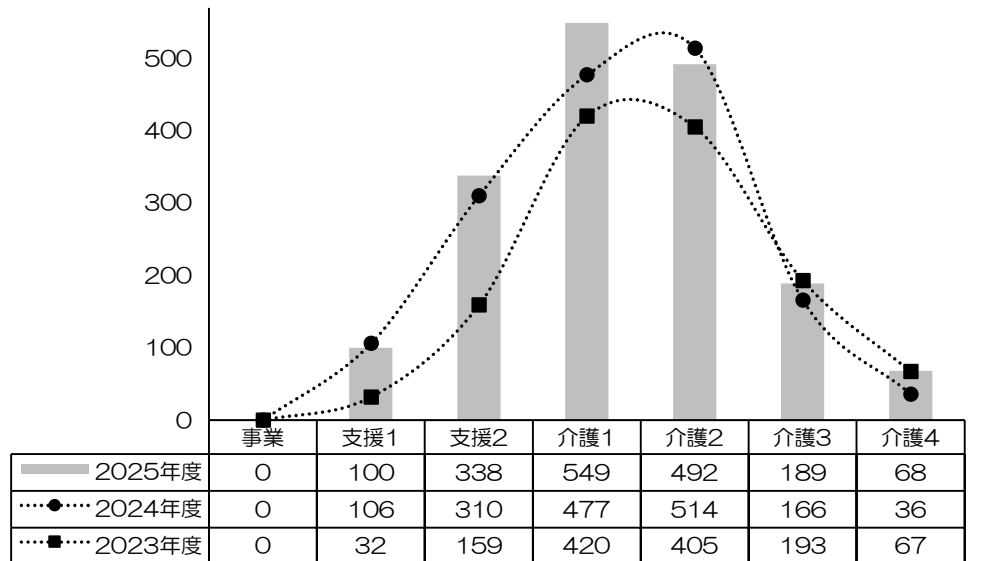
品 目	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
車いす	9	1	37	92	31	23	9	202
車いす附属品	9	1	4	11	9	6	2	42
特殊寝台	0	48	15	214	75	10	10	372
特殊寝台附属品	0	48	15	214	75	19	11	382
床ずれ防止用具	0	0	3	13	0	1	4	21
体位変換器	0	0	0	0	0	8	3	11
手すり	18	102	91	176	70	10	2	469
スロープ	0	0	0	2	0	3	4	9
歩行器	7	147	89	189	61	7	1	501
歩行補助つえ	9	62	68	38	12	0	0	189
徘徊感知機器	0	0	2	0	10	3	0	15
移動用リフト	0	4	5	9	9	2	0	29
自動排泄処理装置	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	52	413	329	958	352	92	46	2242

k. 給付管理実績

月別



介護度別



自法人併設サービス別（利用実績単位数）

施設/月	4月	5月	6月	7月	第一期
DSモモ	78,128	88,686	87,493	96,422	350,729
SSモモ	44,966	17,816	8,965	20,559	92,360
DSピノ	42,530	40,807	43,071	36,050	162,458
SSピノ	79,040	91,531	82,370	57,954	310,895
合計	244,664	238,840	221,899	210,985	916,388
施設/月	8月	9月	10月	11月	第二期
DSモモ	100,733	109,218	114,537	107,745	432,233
SSモモ	36,878	24,182	49,698	77,487	188,245
DSピノ	33,562	38,075	40,219	40,828	152,684
SSピノ	53,512	49,361	28,792	30,979	162,644
合計	224,685	220,836	233,246	257,039	935,806
施設/月	12月	1月	2月	3月	第三期
DSモモ	114,321	117,184	110,317	131,597	473,419
SSモモ	96,990	87,730	63,585	90,098	338,403
DSピノ	42,828	43,959	48,854	42,455	178,096
SSピノ	54,434	54,530	73,366	68,347	250,677
合計	308,573	303,403	296,122	332,497	1,240,595

施設	年度合計	年度月平均
DSモモ	1,256,381 単位 (×10.54 円)	104,698 単位 (×10.54 円)
SSモモ	619,008 単位 (×10.66 円)	51,584 単位 (×10.66 円)
DSピノ	493,238 単位 (×10.54 円)	41,103 単位 (×10.54 円)
SSピノ	724,216 単位 (×10.66 円)	60,351 単位 (×10.66 円)
合計	3,092,843 単位	257,737 単位

●2024年度に比べてDSピノ以外の各サービスには実績の向上に繋げることが出来た。

1. 緊急一時サービス利用

単位：人

	男性	女性	合計
2025年度	0	0	0
2024年度	0	0	0
2023年度	0	0	0

※月毎の申請件数は後述「9. 代行申請」項参照

m. 住宅改修実施

単位：人

	男性	女性	合計
2025年度	2	7	9
2024年度	2	2	4
2023年度	3	0	3

5. 苦情

2025年度の苦情は0件

6. 相談

新規受け入れ相談は、予防以外はほぼ受諾。

その他に大きな相談/支援実施は無し。

7. 実習生受け入れ

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2025年度	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024年度	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2023年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※特定事業所加算算定（2023年度開始）の要件である「介護支援専門員新任研修」実習生

8. 認定調査

a. 実施数

単位：人

	男性	女性	合計	前年比
2025年度	17	34	51	70.8%
2024年度	26	46	72	133.3%
2023年度	27	27	54	54.7%

b. 依頼保険者

単位：人

	県外	市外	市内	合計
2025年度	0	0	51	51
2024年度	0	0	72	72
2023年度	0	0	54	54

c. 月毎の実施状況

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在宅	4	3	11	9	1	2	1	6	6	5	5	6
施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	3	11	9	1	2	1	6	6	5	5	6
内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	4	3	6	4	1	2	1	6	6	5	5	6
相模原市	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0
市外依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

d. 実施者プロフィール

単位：人

介護度	性別	年齢（●●歳代）							合計	割合（%）
		50	60	70	80	90	100			
支援1	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	5.9
	女性	0	0	0	2	1	0	3		
	合計	0	0	0	2	1	0	3		
支援2	男性	0	0	0	2	4	0	6	23.5	
	女性	0	1	1	3	1	0	6		
	合計	0	1	1	5	5	0	12		
介護1	男性	0	0	2	3	0	0	5	35.3	
	女性	0	0	2	6	5	0	13		
	合計	0	0	4	9	5	0	18		
介護2	男性	0	0	0	1	1	0	2	15.7	
	女性	0	0	0	4	2	0	6		
	合計	0	0	0	5	3	0	8		
介護3	男性	0	0	0	1	3	0	4	13.7	
	女性	0	0	0	2	1	0	3		
	合計	0	0	0	3	4	0	7		
介護4	男性	0	0	0	0	0	0	0	3.9	
	女性	0	0	0	1	1	0	2		
	合計	0	0	0	1	1	0	2		
介護5	男性	0	0	0	0	0	0	0	2.0	
	女性	0	0	0	0	1	0	1		
	合計	0	0	0	0	1	0	1		
合計	男性	0	0	2	7	8	0	17	51	
	女性	0	1	3	18	12	0	34		
	合計	0	1	5	25	20	0	51		
割合（%）		0.0	2.0	9.8	49.0	39.2	0			

9. 代行申請

a. 介護保険認定

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
更新	5	3	6	4	1	2	1	6	6	5	5	7
区変	2	0	0	1	1	0	4	1	0	1	1	2
転入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7	3	6	5	3	2	5	7	6	6	6	9
内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	7	3	6	5	3	2	5	7	6	6	6	9
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：20名・女性：45名・合計：65名

b. 負担限度額認定

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再申	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

以下は相模原市独自事業

c. 緊急一時入所利用

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2~4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

d. 紙おむつ支給

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

※介3：0名・介4：0名・介5：0名

e. 高齢者等移送サービス

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

※介3：0名・介4：0名・介5：0名



ケアステーションナナ

2018年9月に訪問介護から居宅介護支援へと事業転換し、管理者兼ケアマネジャー1人体制でのスタートから7年半が経過した。

定員を安定させる為、周辺の高齢者支援センターへの挨拶回りから新規依頼の獲得に繋がり、2025年度は上鶴間高齢者支援センターからの新規依頼が頻繁に寄せられた。

介護予防（要支援）委託事業の受諾契約も積極的に受け入れをしており、周辺の高齢者支援センターから徐々に介護予防（要支援）利用者の依頼が増えてきている。

2026年3月にも、4地域包括合同の研修会に参加する等、各地域包括との連携が取れるようになってきている。

稼働率は概ね90%超となっており、今後は実績維持・向上のために各高齢者支援センターとの連携と受託範囲の拡大を図っていくが、フレイグラントオリーブナナの入居者を優先的に受託・担当していく方針は継続していく。

1. 利用者の推移

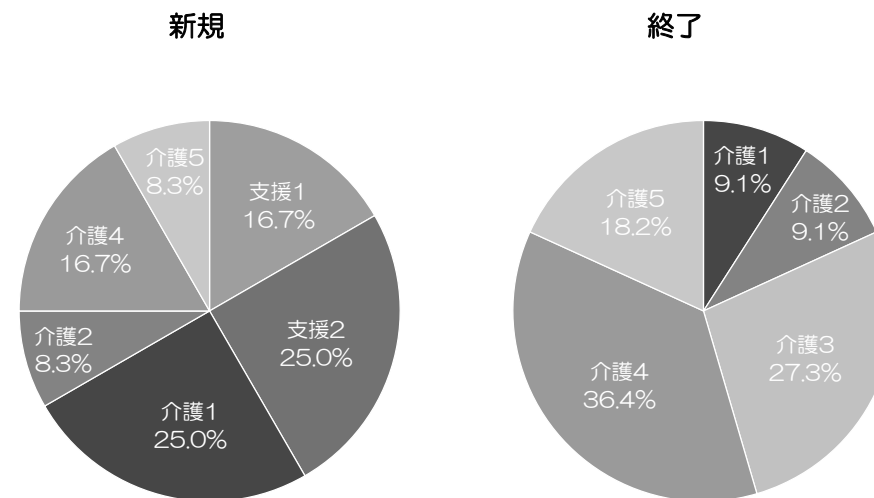
a. 毎月の新規契約・支援終了者

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規契約 12名	3 (1)	1 (0)	2 (2)	1 (2)	1 (1)	0 (1)	1 (3)	1 (1)	1 (1)	0 (3)	0 (1)	1 (0)
支援終了 11名	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (2)	2 (3)	2 (2)	1 (2)	0 (1)	4 (1)	0 (1)

※（ ）内は前年度数値

b. 介護度別構成



単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
新規	0 (0)	2 (0)	3 (6)	3 (3)	1 (3)	0 (2)	2 (1)	1 (0)	1.67 (1.47)
終了	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	1 (5)	3 (5)	4 (2)	2 (0)	3.45 (2.45)

※（ ）内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50 換算で算出

c. 新規依頼経路

単位：人

経路	男性	女性	合計
直近地域包括	3	1	4
その他地域包括	2	2	4
市担当課	0	0	0
病院 MSW 等	0	0	0
他居宅	1	0	1
他事業所	0	0	0
配偶者等を担当	0	0	0
知人紹介	0	0	0
自己検索	2	1	3
その他	0	0	0
合計	8	4	12

地域包括：直近地域包括が多いがその他包括からの依頼も同程度。

d. 支援終了理由

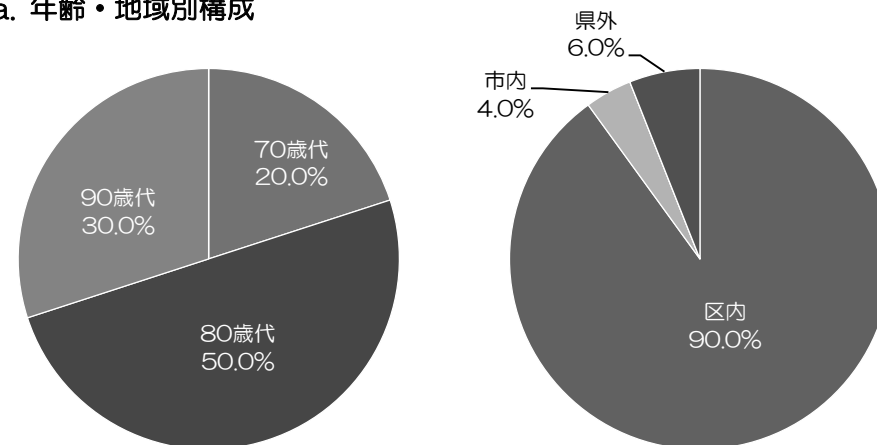
単位：人

理由	男性	女性	合計
死亡	1	1	2
認定「自立」	0	0	0
認定「要支援」	0	0	0
施設入所	3	6	9
利用者解約	0	0	0
事業所解約	0	0	0
その他	0	0	0
合計	4	7	11

2. 現員者の状況

※2026.03.31 登録者：50名に対する値

a. 年齢・地域別構成



●年齢構成 単位：人（延べ） / （ ）内は前年度数

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0 (0)	0 (0)	5 (6)	10 (8)	5 (3)	0 (0)	20 (17)
女性	0 (0)	0 (0)	5 (6)	15 (20)	10 (8)	0 (0)	30 (34)
全体	0 (0)	0 (0)	10 (12)	25 (28)	15 (11)	0 (0)	50 (51)
二 号	0 (0)	0 (0)					0 (0)

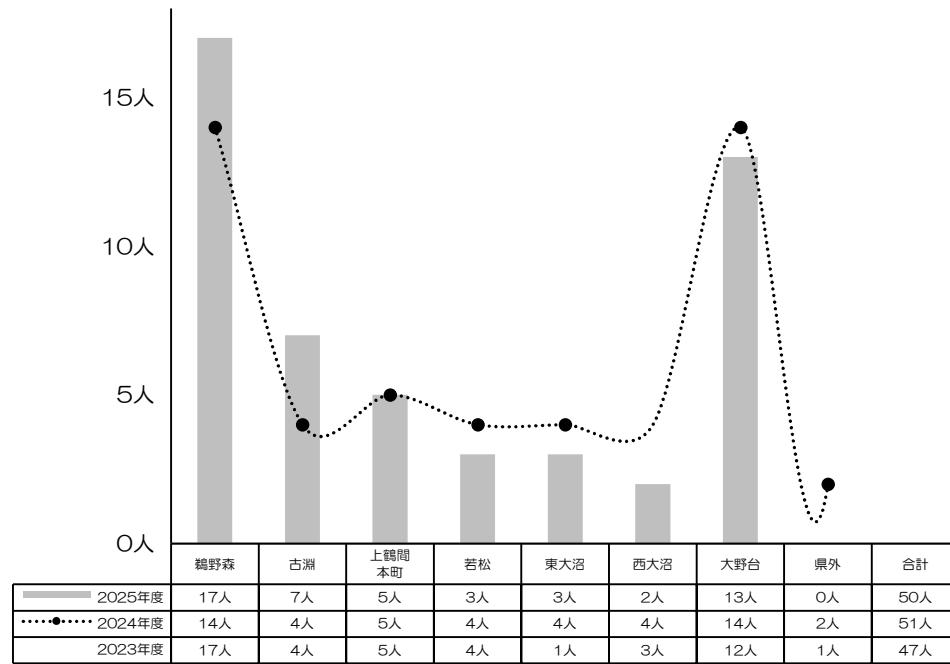
●地域 単位：人（延べ）

地域	男性	女性	合計
相模原市南区	18 (16)	27 (32)	45 (48)
区外	2 (1)	0 (0)	2 (1)
市外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
県外	0 (1)	3 (1)	3 (2)
合計	20 (17)	30 (34)	50 (51)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	96歳 3ヶ月 (93歳 0ヶ月)	71歳 3ヶ月 (70歳 3ヶ月)	84歳 2ヶ月 (81歳 6ヶ月)
女性	97歳 4ヶ月 (97歳 6ヶ月)	76歳 9ヶ月 (75歳 10ヶ月)	86歳 2ヶ月 (85歳 2ヶ月)
全体	97歳 4ヶ月 (97歳 6ヶ月)	71歳 3ヶ月 (70歳 3ヶ月)	85歳 4ヶ月 (84歳 2ヶ月)

※（ ）内は前年度数値

●登録住所

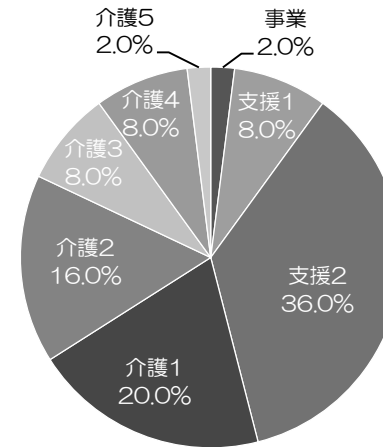


2025年度もほぼ「南区」の方が対象となった。

鶴野森 = 30.91%
古淵 = 12.73%
上鶴間本町 = 9.09%

上記3地区（法人事業展開エリア）で52.73%の割合を占めている。

b. 介護度別構成



- ① 事業対象者/要支援1・2 合計 23人 (46.00%)
- ② 要介護1・2 合計 18人 (36.00%)
- ③ 要介護3・4・5 合計 9人 (18.00%)

介護報酬増加の観点からも、上記③の割合をもう少し増加させたいが、主に担当しているサ高住ナナの入居者は軽介護度が多く、また、その受入れを避ける事が出来ない実情がある。

単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0 (1)	2 (3)	6 (5)	4 (2)	2 (0)	1 (4)	2 (1)	0 (0)	1.32 (1.32)
女性	1 (1)	2 (2)	12 (12)	6 (5)	6 (11)	3 (4)	2 (1)	1 (0)	1.42 (1.34)
合計	1 (2)	4 (5)	18 (17)	10 (7)	8 (11)	4 (8)	4 (2)	1 (0)	1.39 (1.32)

※（ ）内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50 換算で算出

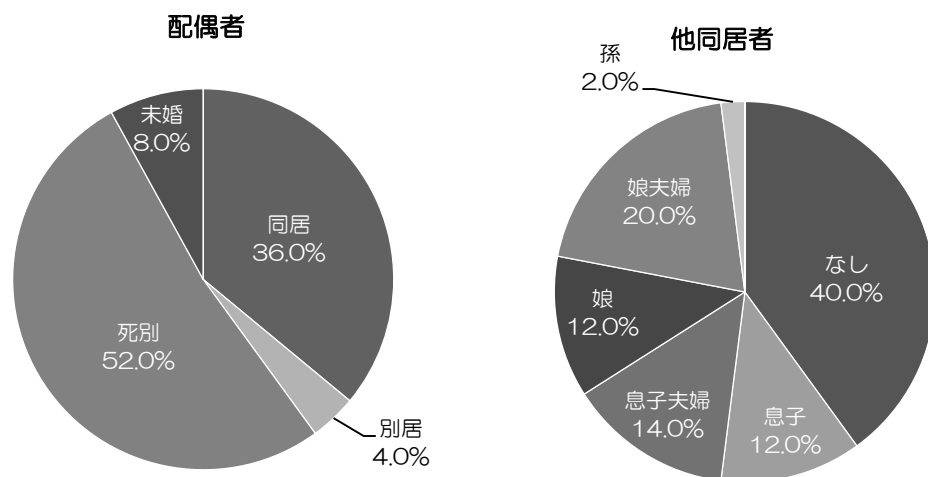
c. 介護保険負担限度額認定

単位：人

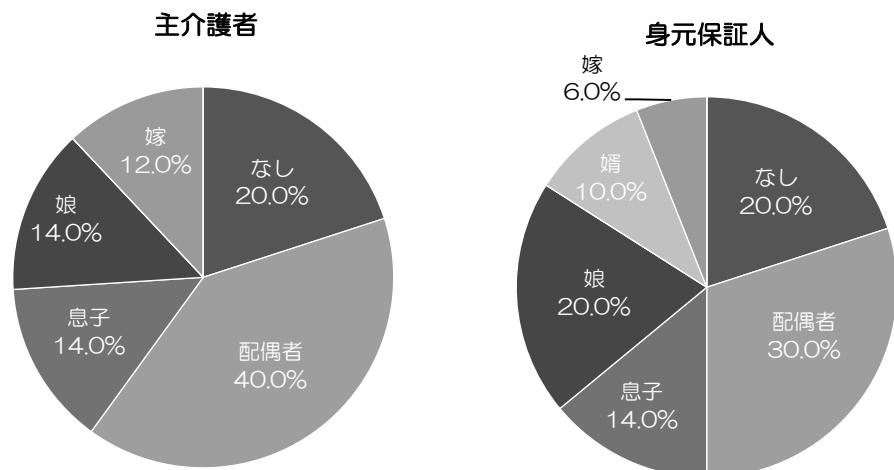
第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階 (含：未申請)	合計
1 (1)	1 (0)	0 (0)	2 (3)	46 (47)	50 (51)

※（ ）内は前年度数値

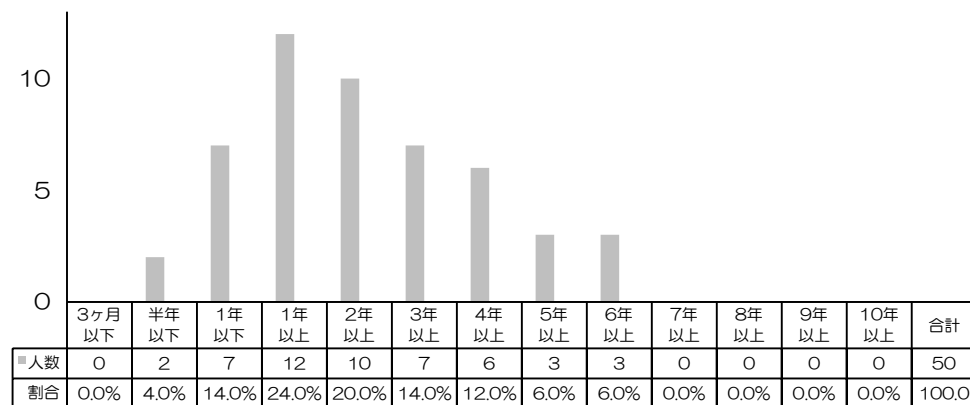
d. 世帯構成



e. 本人支援状況



f. 利用期間



※2018年度9月の事業転換から7年半が経過したところである

g. 認知症の状況

単位：人

基準	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明	合計
男性	3	2	1	13	1	0	0	0	0	20
女性	2	14	2	10	2	0	0	0	0	30
合計	5	16	3	23	3	0	0	0	0	50

※認定調査票・主事意見書取得申請中者を除く

h. 日常生活動作状況

単位：人

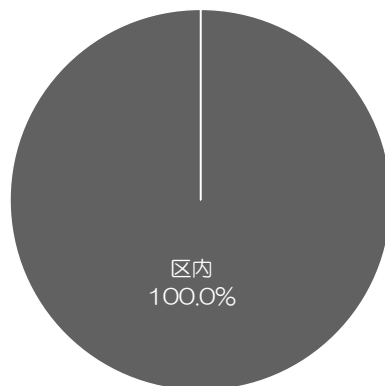
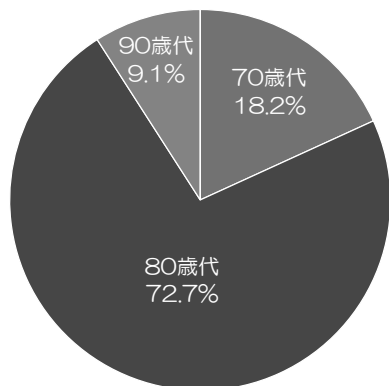
基準	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	合計
男性	3	2	1	0	13	1	0	0	0	0	20
女性	2	2	14	1	11	1	0	0	0	0	30
合計	5	4	15	1	24	2	0	0	0	0	50

※認定調査票・主事意見書取得申請中者を除く

3. 終了者の状況

※2025年度終了者：11名に対する値

a. 年齢・地域別構成



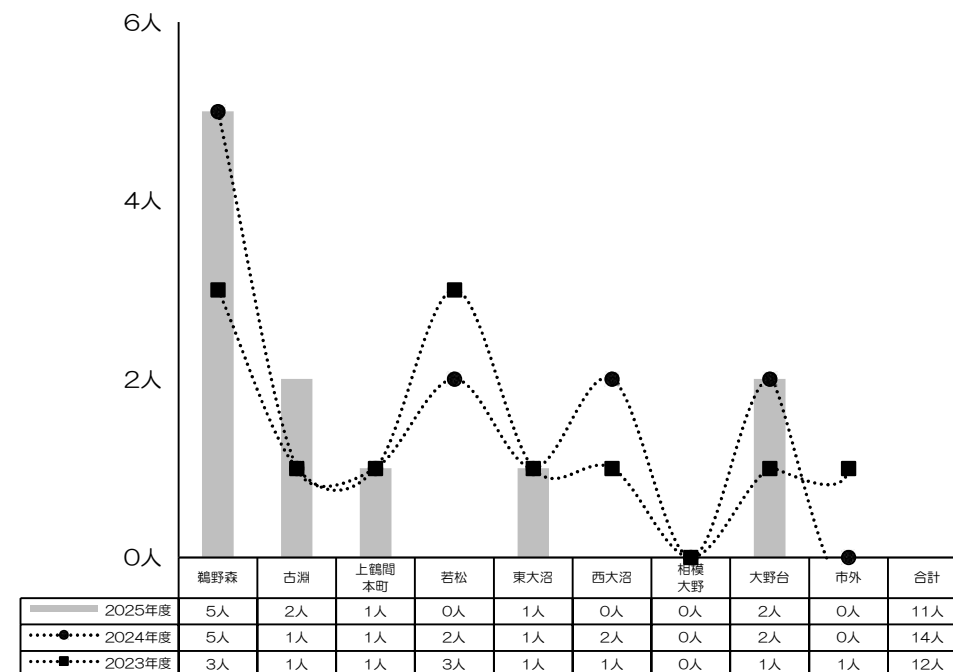
●年齢構成 単位：人（延べ） / () 内は前年度数

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0 (0)	0 (0)	2 (2)	4 (5)	0 (1)	0 (0)	6 (8)
女性	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (5)	1 (1)	0 (0)	5 (6)
全体	0 (0)	0 (0)	2 (2)	8 (10)	1 (2)	0 (0)	11 (14)
二 号	0 (0)	0 (0)					0 (0)

●地域 単位：人（延べ）

地域	男性	女性	合計
相模原市南区	6 (8)	5 (6)	11 (14)
区外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
市外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
県外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	6 (8)	5 (6)	11 (14)

●登録住所



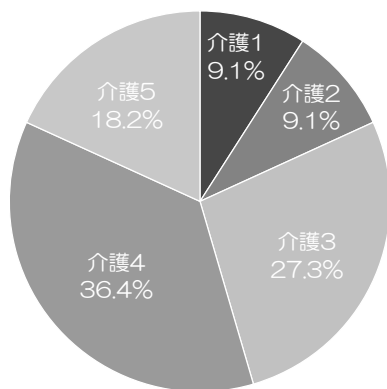
終了者は「南区在住」の方で11名。

開設してから8年(満7年7ヶ月)目となり終了者が増えてきており、今後も積極的に新規を獲得して、実績の低下を防ぐ必要がある。

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	88歳 5ヶ月 (91歳 5ヶ月)	77歳 6ヶ月 (70歳 4ヶ月)	83歳 6ヶ月 (80歳 3ヶ月)
女性	96歳 3ヶ月 (97歳 3ヶ月)	83歳 6ヶ月 (75歳 6ヶ月)	89歳 5ヶ月 (85歳 4ヶ月)
全体	92歳 4ヶ月 (97歳 3ヶ月)	80歳 6ヶ月 (70歳 4ヶ月)	86歳 5ヶ月 (83歳 2ヶ月)

※解約日当日の年齢 / () 内は前年度数値

b. 介護度別構成



- ① 要支援 1・2 合計
0人 (0.0%)
- ② 要介護 1・2 合計
2人 (18.2%)
- ③ 要介護 3・4・5 合計
9人 (81.8%)

単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (3)	1 (2)	1 (1)	0 (0)	3.00 (2.16)
女性	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (2)	2 (3)	3 (1)	2 (0)	3.62 (2.83)
合計	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	1 (5)	3 (5)	4 (2)	2 (0)	3.45 (2.45)

※ () 内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50 換算で算出

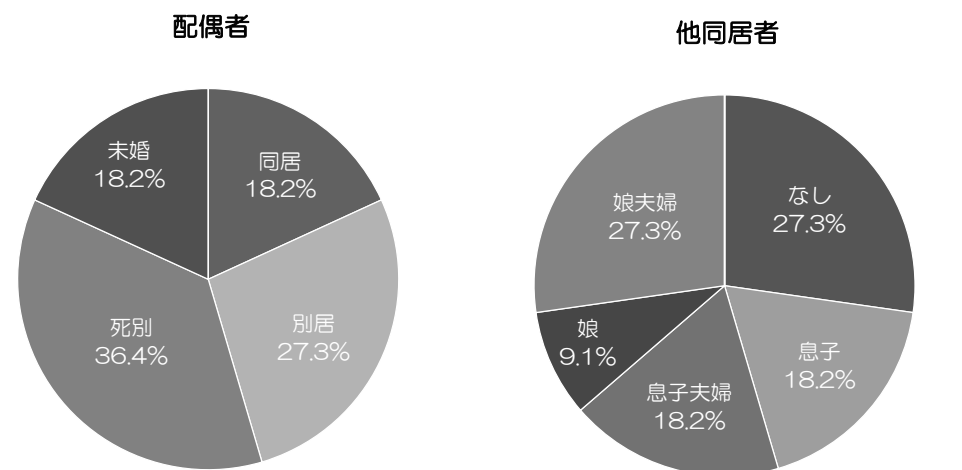
c. 介護保険負担限度額認定

単位：人

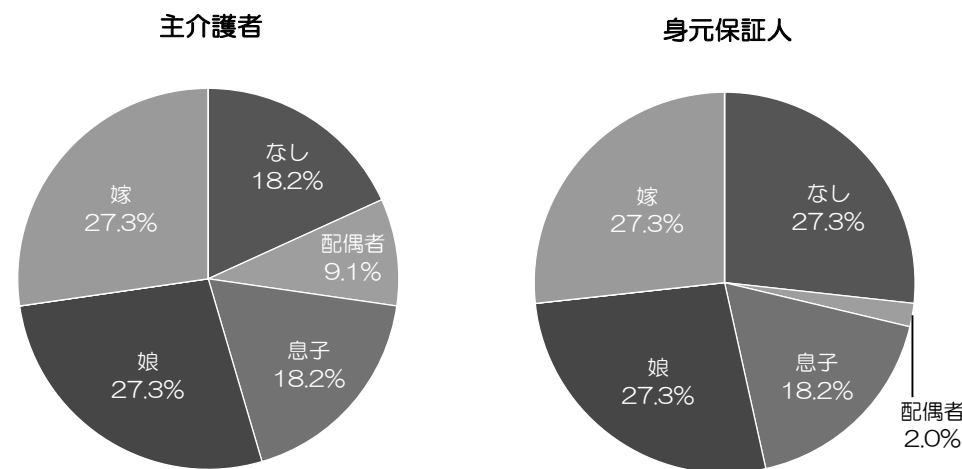
第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階 (含：未申請)	合計
0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	10 (13)	11 (14)

※ () 内は前年度数値

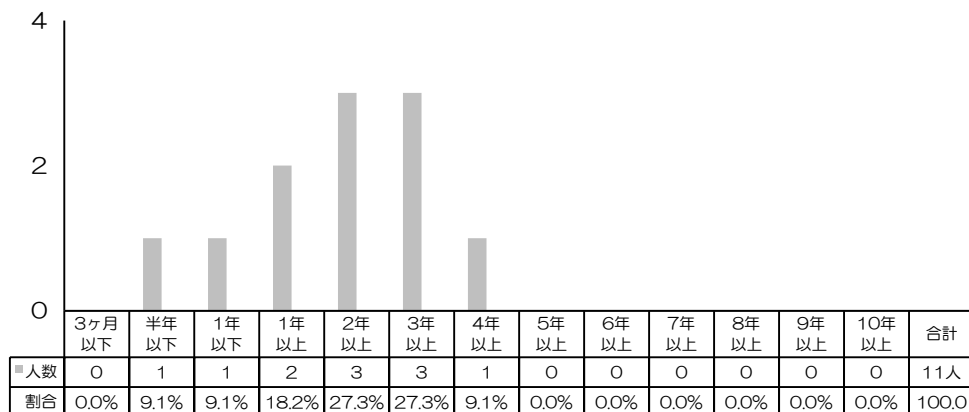
d. 世帯構成



e. 本人支援状況



f. 利用期間



※2018年度9月の事業転換から7年半が経過したところである

g. 認知症の状況

単位：人

基準	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明	合計
男性	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3
女性	0	0	0	1	5	1	1	0	0	8
合計	0	0	1	1	7	1	1	0	0	11

h. 日常生活動作状況

単位：人

基準	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	合計
男性	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	3
女性	0	0	0	0	1	5	1	1	0	0	8
合計	0	0	0	0	3	6	1	1	0	0	11

4. 介護サービス展開状況 ※2025年度利用者延べ：50名に対する値

a. ケアプラン（居宅サービス計画書）作成

単位：件

職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A	3	4	2	4	5	5	4	5	5	4	5	4	50
B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	3	4	2	4	5	5	4	5	5	4	5	4	50

b. サービス担当者会議

単位：回

職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A	3	4	2	4	5	5	4	5	5	4	5	4	50
B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	3	4	2	4	5	5	4	5	5	4	5	4	50

c. 関連事業所

単位：事業所（数）

	通所介護	福祉用具	訪問介護	短期入居	訪問看護	通所リハ	訪問入浴
事業所	16	10	8	4	5	1	0

d. 個人別契約事業所

単位：人

	利用なし	1事業所	2事業所	3事業所	4事業所	5事業所超
事業	0	1	0	0	0	0
支援1	0	3	1	0	0	0
支援2	0	9	9	2	0	0
介護1	0	1	5	4	0	0
介護2	0	0	4	4	0	0
介護3	0	0	2	1	1	0
介護4	0	0	1	2	1	0
介護5	0	0	0	1	0	0
合計	0	14	22	14	2	0

e. 複数サービス利用

単位：人

	利用なし	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類超
事業	0	1	0	0	0	0
支援1	0	3	1	0	0	0
支援2	0	9	9	0	0	0
介護1	0	1	5	4	0	0
介護2	0	0	4	4	0	0
介護3	0	0	2	1	1	0
介護4	0	0	1	2	1	0
介護5	0	0	0	1	0	0
合計	0	14	22	14	2	0

f. 自法人併設サービス利用（契約数）

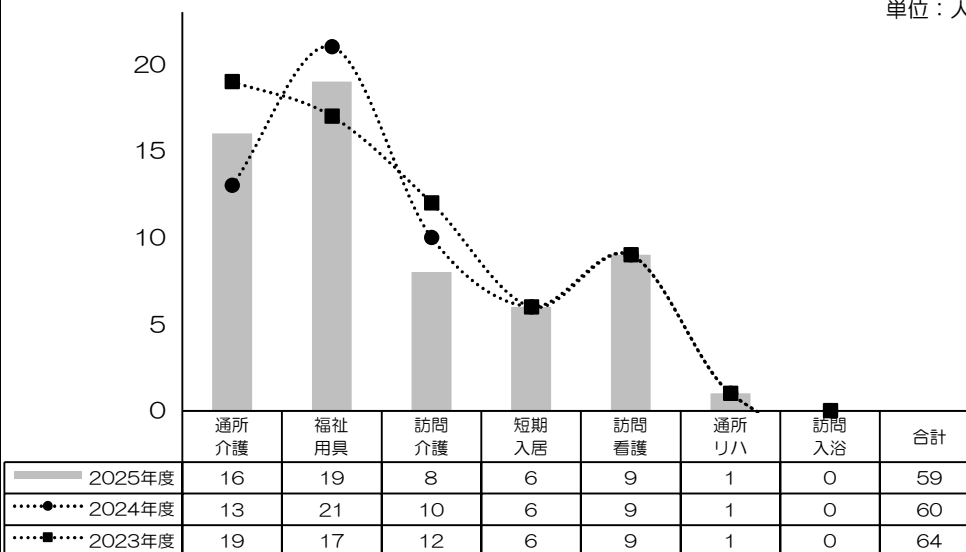
単位：人

施設	MOMO						PINO			
	特養		SS	DS	ケア		特養		SS	DS
	申	入			申	入	申	入		
2025年度	1	1	0	3	0	0	3	2	4	3
2024年度	2	1	1	2	0	0	2	1	3	3
2023年度	1	0	0	2	0	0	1	0	3	7

※申=入居申込のみ ※入=入居（特養の場合はそれを理由に契約終了となった者）

g. 種類別サービス利用件数

単位：人



h. 月別サービス利用

単位：人

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	13	14	12	14	15	15	14	14	13	13	10	10	157
福祉用具	22	23	24	23	21	20	22	23	22	21	18	16	255
訪問介護	13	13	12	11	12	9	11	10	11	10	8	6	126
短期入居	2	2	2	2	2	2	3	3	4	3	3	3	29
訪問看護	2	2	2	2	4	5	7	7	6	7	7	7	58
通所リハ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

i. 介護度別サービス利用

単位：人（延べ）

種 類	総合事業	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
通所介護	2	4	10	6	6	6	1	0	35
福祉用具	0	3	6	6	9	7	0	0	31
訪問介護	0	1	3	4	4	4	1	0	17
短期入居	0	0	0	0	2	2	0	0	4
訪問看護	0	0	2	2	1	2	0	0	7
通所リハ	0	0	0	0	1	0	0	0	1
訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0

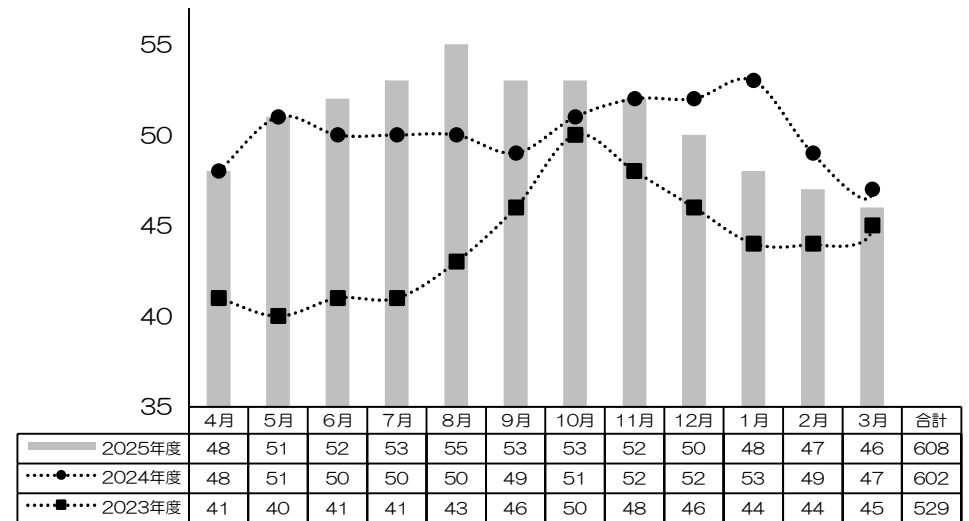
j. 福祉用具品目別利用傾向

単位：人（延べ）

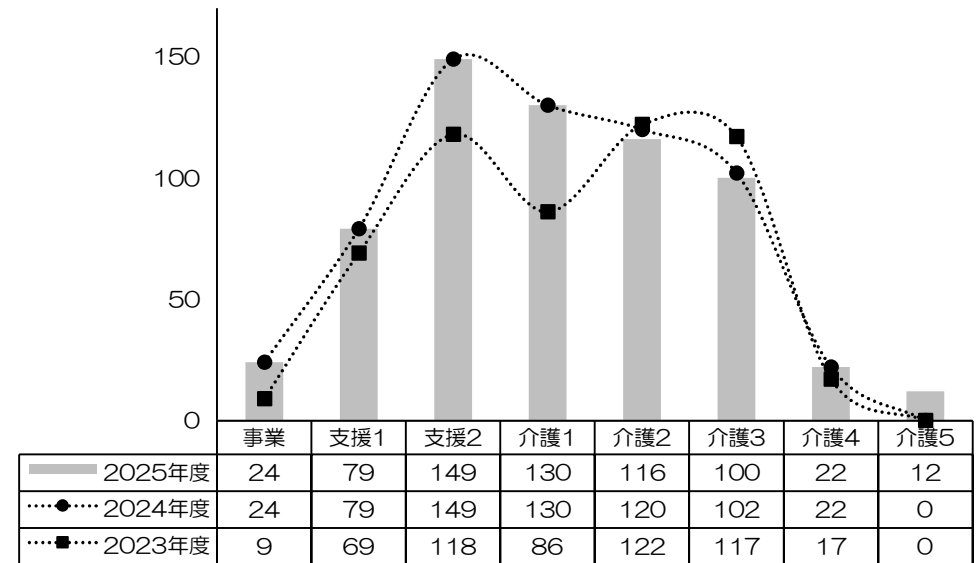
品 目	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
車いす	0	0	0	1	2	0	0	3
車いす附属品	0	0	0	1	2	0	0	3
特殊寝台	0	0	0	4	4	0	0	8
特殊寝台附属品	0	0	0	4	4	0	0	8
床ずれ防止用具	0	0	0	1	1	0	0	2
体位変換器	0	0	0	0	0	0	0	0
手すり	2	1	2	2	6	0	0	13
スロープ	0	0	0	1	1	0	0	2
歩行器	0	1	2	1	1	0	0	4
歩行補助つえ	1	1	2	1	1	0	0	6
徘徊感知機器	0	0	0	0	0	0	0	0
移動用リフト	0	0	0	0	0	0	0	0
自動排泄処理装置	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	3	3	6	16	19	0	0	49

k. 給付管理実績

月別



介護度別



自法人併設サービス別（利用実績単位数）

施設/月	4月	5月	6月	7月	第一期
DSモモ	4886	4886	8336	14404	32512
SSモモ	0	0	0	0	0
DSピノ	39266	29557	28662	32580	130065
SSピノ	30749	31479	29708	32326	124262
合計	74901	65922	66706	79310	286839
施設/月	8月	9月	10月	11月	第二期
DSモモ	11652	9772	12834	15654	49912
SSモモ	0	0	0	0	0
DSピノ	23250	16076	12385	13406	65517
SSピノ	50297	63408	73995	52836	240536
合計	85199	89256	99214	81896	355965
施設/月	12月	1月	2月	3月	第三期
DSモモ	22730	12874	14270	16101	65975
SSモモ	0	0	0	0	0
DSピノ	11200	10230	6590	9340	37360
SSピノ	48205	49933	35187	58033	191358
合計	82135	73037	56047	83474	294693

施設	年度合計	年度月平均
DSモモ	148399 単位 (×10.54 円)	12366 単位 (×10.54 円)
SSモモ	0 単位 (×10.66 円)	0 単位 (×10.66 円)
DSピノ	232942 単位 (×10.54 円)	19411 単位 (×10.54 円)
SSピノ	556156 単位 (×10.66 円)	46346 単位 (×10.66 円)
合計	937497 単位	78124 単位

1. 緊急一時サービス利用

単位：人

	男性	女性	合計
2025年度	0	0	0
2024年度	0	0	0
2023年度	0	0	0

※月毎の申請件数は後述「8. 代行申請」項参照

m. 住宅改修実施

単位：人

	男性	女性	合計
2025年度	0	0	0
2024年度	0	0	0
2023年度	0	0	0

5. 苦情

2025年度の苦情は0件

6. 相談

新規担当希望は基本的に全て受諾。（入院中の死亡やキャンセルはあり）
その他に大きな相談/支援実施は特になし。

7. 認定調査

a. 実施数

単位：人

	男性	女性	合計	前年比
2025年度	6	10	16	160%
2024年度	6	4	10	71.4%
2023年度	3	11	14	56.0%

b. 依頼保険者

単位：人

	県外	市外	市内	合計
2025年度	0	0	16	16
2024年度	3	0	7	10
2023年度	2	1	11	14

c. 月毎の実施状況

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在宅	2	3	0	0	3	1	0	2	0	0	3	2
施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	3	0	0	3	1	0	2	0	0	3	2
内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	2	3	0	0	3	1	0	2	0	0	3	2
相模原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市外依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外依頼	2	3	0	0	3	1	0	2	0	0	3	2

※2022年度より自法人及び自己担当の調査を開始

d. 実施者プロフィール

単位：人

介護度	性別	年齢（●●歳代）							割合（%）
		50	60	70	80	90	100	合計	
支援1	男性	0	0	1	0	1	0	2	30.0
	女性	0	0	0	1	0	0	1	
	合計	0	0	1	1	1	0	3	
支援2	男性	0	0	0	0	0	0	0	10.0
	女性	0	0	0	1	0	0	1	
	合計	0	0	0	1	0	0	1	
介護1	男性	0	0	1	0	0	0	1	20.0
	女性	0	0	0	1	0	0	1	
	合計	0	0	1	1	0	0	2	
介護2	男性	0	0	0	1	0	0	1	10.0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	1	0	0	1	
介護3	男性	0	0	0	1	0	0	1	30.0
	女性	0	0	0	1	0	1	2	
	合計	0	0	0	2	0	1	3	
介護4	男性	0	0	0	0	0	0	0	00.0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	
介護5	男性	0	0	0	0	0	0	0	00.0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	
合計	男性	0	0	2	2	1	0	5	10.0
	女性	0	0	0	4	0	1	5	
	合計	0	0	2	6	1	1	10	
割合（%）		0.0	0.0	20.0	60.0	10.0	10.0		

8. 代行申請

a. 介護保険認定

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
更新	1	2	0	0	3	1	0	3	2	2	1	2
区変	0	0	1	0	2	0	0	3	2	0	2	0
転入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	3	1	0	5	1	0	6	4	2	3	2
内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	1	2	1	0	5	1	0	6	4	2	3	2
その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：13名・女性：15名・合計：28名

b. 負担限度額認定

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再申	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

以下は相模原市独自事業

c. 緊急一時入所利用

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2~4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

d. 紙おむつ支給

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

※介3：0名・介4：0名・介5：0名

e. 高齢者等移送サービス

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

※介3：0名・介4：0名・介5：0名

C ommittees

委員会活動

2025年度は、高齢者福祉施設全拠点（モモ・ピノ・ナナ）において徐々に定例開催が定着しつつあったが、年度を通して安定した介護職員の確保が難しく、特に老人ホームの管理職がその穴埋めにシフトに入る頻度が高く、開催予定の一部中止を余儀なくされる結果となり、年間計画に基づく有意義な会議・委員会の開催には至らなかった。

社外研修については、年度を通してオンライン開催などへ参加することができたが、現地集合型の外部研修については、参加を見送る結果となる場面がすくなくなかった。

1. 高齢管理者会議

開催：毎月第3金曜日（休日の場合変更調整）

内容：意見交換および各部署課題に対する検討等

構成員：施設長・副施設長・特養課長・居宅課長・各介護リーダー職・看護師・相談員・介護支援専門員・栄養士

年度を通して安定した介護職員の確保が難しく、特に老人ホームの管理職がその穴埋めにシフトに入る頻度が高く、ほぼ未開催となってしまった。

介護職員のみならず、看護師も含む現場の人材確保が今後も急務である。

2. 事故防止対策委員会

2025年度は事故総数179件で、前年比104.1%と微増。

※行政機関への事故報告については相模原市指針に則り対応した

事故再発防止対策を密に行ない、心身状態から発生するインシデントの分析を確実に把握し、事故防止に役立てていく。

2026年度も事故防止の基本であるリスクマネジメントを念頭に置いての見守り・巡回の徹底・職員の意識改革を通して、未然に防ぐことの出来る事故の発生減少に努める。

①特別養護老人ホームモモ

事故総数：124件（前年比120.3%：増加）

インシデント：174件（前年比121.6%：増加）

事故・インシデント共に朝食時(8時)と夕食時(18時)の時間帯に発生数が最も多く、職員人数が少ない時間帯と重なっている。

事故内容としては移動関連と食事関連が多く見られている。

要因としては、時間に追われてしまう事による配膳ミスや見守り不足と思われ、人員補充も必要な方法となるが、リスクマネジメントは勿論の事、業務内容等の見直しを行ない効率化を図っていく必要がある。

介助時の事故も多く目立っており、特に誤薬は重大かつ職員の確認不足から発生する事故である為、確認の周知徹底等行ない、不要な事故の発生を未然に防ぐ事が出来るよう努める必要がある。

②デイサービスセンターモモ

事故総数：6件（前年比120.0%：増量）

インシデント：22件（前年比75.9%：減少）

事故総数に大きな変化はなく、前年度0件の車両事故は1件発生。施設外徘徊1件は施設より徒歩5分圏内で発見でき、大事故には繋がらなかった。

以前よりもリスクは把握できているが、未然防止対策の徹底が再度必要である。

③ケアハウスモモ

事故総数：7件（前年比53.8%：減少）

自力移動時の転倒事故が7件となっている。

そのうち3件は外出時の転倒で、路面状況などの影響により出血が著しく、2件は救急搬送を要する重い怪我となったが、いずれも後遺症は認められなかった。

これらの事例から、外出時の安全確保の重要性が改めて示された。

④コミュニティホームピノ

事故総数：39件（前年比62.9%：減少）

インシデント：9件（前年比150.0%：増加）

転倒による骨折の入院は1件(短期入所)で、昨年より2件減少した。

同じ方が転倒を繰り返す自力移動時の件数は相変わらず多く、認知症の進行や自身の歩行能力低下が主因と推察できる。

できるだけ行動を把握し事故防止に努めてはいるが、転倒回避に間に合わない状況もある為、有効な予防策の立案が継続した課題である。

インシデント提出数は微増ながら、職員がその事象をインシデントとして捉える事ができているか・ケアを良くする為に状況把握(再発防止策立案)に努める等の意識面に未だ希薄さが残されている事が、人材育成上の今後の課題でもある。

⑤コミュニティセンターピノ

事故総数：3件

インシデント：0件

稼働率の低さにより、利用者に対する職員の割合が高い状況により、サービス提供中の事故は皆無であった。

3件はいずれも送迎中の自動車事故で、人身事故も発生。

ドライバーの高齢化による影響も考えられる為、該当職員の勤務は運転業務以外に変更している。

●事故の内容・傾向

a. 特別養護老人ホームモモ（短期入所含む）

単位：回

時 間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
事故内容	移動介助時	2		1	1										
	自力移動時	4	7	4	4	5	3	3	6	4	3	18	7	2	
	排泄介助時														
	自力排泄時														
	食事介助時	2		1					1	1	3				
	自力摂取時														
	入浴介助時														
	自力入浴時														
	誤 薬	1		1							2	1			
	原因不明														
	そ の 他	1					1						1		
	合 計	10	7	7	5	5	4	3	7	5	8	19	8	2	0

時 間	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	'25年	'24年	'23年	
事故内容	移動介助時										4	3	3	
	自力移動時	4	3	1	2	3	1	1	9	5	1	100	90	89
	排泄介助時											0	1	1
	自力排泄時											0	3	0
	食事介助時									1		9	0	1
	自力摂取時											0	1	0
	入浴介助時											0	0	0
	自力入浴時											0	0	0
	誤 薬											5	2	9
	原因不明											0	0	0
	そ の 他							1		2		6	3	5
	合 計	4	3	1	2	3	1	2	9	7	2	124	103	103

インシデント集計（短期入所含む）

単位：回

時 間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
インシデント内容	移動関連	1	3	3		1	1	3	2	1		4	14	5	3
	移乗関連				1	2		1		1			1		
	排泄関連											1			
	食事関連	6	1	1	8	2	1	1	1	2	4	9	1	2	
	入浴関連			1						1					
	その他	1	1	1				2	1	3	1		1		1
	環境不備	1					2	2				1			1
	薬関連	4					1				1	2	1	2	
	合 計	13	5	6	9	5	5	9	4	8	6	17	18	9	5

時 間	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	'25年	'24年	'23年	
インシデント内容	移動関連	5	3	3	1	3	5	5	7	4	1	78	50	24
	移乗関連			1								7	13	2
	排泄関連			1	1	1			2			6	15	8
	食事関連								2		2	43	28	3
	入浴関連											2	0	0
	その他											12	28	8
	環境不備		1			1		2	1			12	3	4
	薬関連								1		2	14	6	5
	合 計	5	4	5	2	5	5	7	13	4	5	174	143	54

b. コミュニティホームピノ (短期入所含む)

単位：回

時 間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
移動介助時														
自力移動時		2	2		2	3	1	3			2	1	1	
排泄介助時					1									
自力排泄時	1													
食事介助時														
自力摂取時														
入浴介助時							1							
自力入浴時														
誤 薬										1				
原因不明														
そ の 他									1	1				
合 計	1	2	2	0	3	3	2	3	1	2	2	1	1	0

時 間	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	'25年	'24年	'23年
移動介助時											0	6	3
自力移動時	3			1	1	1	1	3	4	2	33	37	50
排泄介助時											1	2	2
自力排泄時											1	0	0
食事介助時											0	0	0
自力摂取時											0	0	0
入浴介助時											1	1	5
自力入浴時											0	0	0
誤 薬											1	1	2
原因不明											0	5	4
そ の 他											2	10	15
合 計	3	0	0	1	1	1	1	3	4	2	39	62	81

インシデント集計 (短期入所含む)

単位：回

時 間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
移動関連														
移乗関連														
排泄関連														
食事関連														
入浴関連		1												
その他		1			1	1								
環境不備														
薬関連						1				1				
合 計	0	2	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0

時 間	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	'25年	'24年	'23年
移動関連											0	2	5
移乗関連											0	0	0
排泄関連											0	0	0
食事関連											0	0	1
入浴関連											1	0	0
その他	1		1							1	6	3	1
環境不備											0	0	0
薬関連											2	1	1
合 計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	9	6	8

●事故の内容・傾向

c. デイサービスセンターモモ

単位：回

時 間		9	10	11	12	13	14	15	16	'25年	'24年	'23年
施設内	転 倒									0	3	3
	その他		1		1	3	4	5	7	21	2	1
送迎時	転 倒									0	0	0
	その他	1								1	0	4
合 計		1	1	0	1	3	4	5	7	22	5	8

※事故内訳（施設外徘徊 1 件・施設内転倒 3 件・送迎時車両事故 1 件・その他 1 件）

※転倒に関しては、すり落ち・転落含む。

d. コミュニティセンターピノ

単位：回

時 間		9	10	11	12	13	14	15	16	'25年	'24年	'23年
施設内	転 倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
送迎時	転 倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	2	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0
合 計		2	0	0	0	0	0	0	1	3	1	1

送迎中の、事故 3 件。インシデント 0 件。

e. ケアハウスモモ

事故総数は 7 件であった。

【 場 所 】

施 設 内：3 件

施 設 外：4 件

【 内 訳 】

転 倒 ： 7 件（救急搬送 2 件含）

施設内

- ・廊下を急ぎ足で歩き、足が突っかかり転倒
- ・エレベーター内で転倒
- ・ベッドからすり落ちて転倒
- ・トイレからベッドに戻る際にふらつき転倒

施設外

- ・道路の縁石に躓き転倒 3 件

3. 拘束検討委員会

特別養護老人ホームモモ

毎月の委員会にて身体拘束対応者の検討・見直しを行なった他、必要な可能性のある入居者を話し合うなど検討の場としている。

2025年度は、身体拘束実施者はおらず、0名となっている。

コミュニティホームピノ

2023年4月に車椅子からずり落ちてしまった入居者の家族から強い要望があり、1名が車椅子乗車中に安全ベルトを使用していた。

拘束実施の背景には「事故の再発予防を防ぎたい」という家族の強い希望があった。

しかし、当該入居者が2025年11月下旬に退所（入院先からの施設復帰困難）となり、以後、身体拘束実施者はおらず、0名となった。

4. 感染症対策委員会

年2回の全体研修を行ない、全職員を対象として感染症対策を検討・共有している。

3か月毎に委員会を開催し、1月には疥癬による皮膚感染症が施設内で発生した為、臨時でも委員会を開催している。

感染症の一般的基礎知識や高齢者施設におけるリスクを検討し、各部署へ発信することにも努めた。

○検討 / 研修会

- 2025年 4月 「感染対策委員会」
- 2025年 7月 全体研修「感染症/食中毒について」
- 2025年 7月 「感染対策委員会」
- 2025年10月 「感染対策委員会」
- 2026年 1月 全体研修「感染症対策について」
- 2026年 1月 「感染対策委員会」
- 2026年 1月 「臨時感染対策委員会」

5. 褥瘡対策委員会

3か月毎の委員会において、入所者の褥瘡予防対策や排泄形態・体位交換・栄養・対処療法等をあらゆる角度から検討し、発症者の経過や対策を検討することを実施した。

○褥瘡発症者

特別養護老人ホームモモ

- A. 日常的な処置が必要なレベル：3名
病院受診が必要なレベルではないが、日常的に、処置を行なっている。
- B. 表皮剥離レベル・軽度の褥瘡：8名
病院受診が必要なレベルではないが、注意が必要。
そのままでは、褥瘡になる危険性がある。体位交換や処置を行なっている。改善と、発生を繰り返している状態。
- C. 観察・注意が必要なレベル：12名
褥瘡まではいかないが、そのままでは褥瘡になってしまう危険性のある状態や、表皮剥離レベル。

コミュニティホームピノ

- A. 日常的な処置が必要なレベル：0名
- B. 軽度の褥瘡：0名
- C. 観察・注意が必要なレベル：2名
褥瘡まではいかないが、そのままでは褥瘡になってしまう危険性のある状態や、表皮剥離レベル。
体位変換適宜実行。

6. 食中毒対策委員会

栄養士が中心となり、関係職において下記の内容について予防策の周知、徹底を図った。(給食会議代替の場合もあり)

○検討 / 講習会

- 2025年 5月 「最近の食中毒発生状況」
「施設での食中毒対策」
- 2025年 8月 「最近の食中毒発生事例」
「施設での食中毒対策」
- 2025年 11月 「最近の食中毒発生事例」
「施設での食中毒対策」
- 2026年 2月 「最近の食中毒発生事例」
「施設での食中毒対策」

7. 看取り実施委員会

特別養護老人ホームモモ・コミュニティホームピノの入居者のうち、終末期23名(モモ19名・ピノ4名)に対して看取りを行なった。

協力医療機関や葬儀社など、関係機関との事前連絡や相談を行なうことにより、円滑な看取りを提供する事が出来ている。

しかし、看取り介護計画書の作成をはじめとした諸条件は満たせず、加算取得は未達成となってしまった。

入居者の状態低下がみられている事で、今後も看取り対象者の増加が予想できる為、その都度、各関係機関との連携・相談を行なっていく、引き続き円滑な看取りが継続されるように努めていく。

8. 運営推進会議(地域密着型施設)

介護職員の突発的欠勤や慢性的な人員不足から、施設主要職員が介護現場の応援に入らざるを得ない状況があり、出席予定者の招集開催を見送り、議事録に「施設の現況報告」のみ記述し送付にて代替えとした。

開催目的 : 地域との連携を確保し、地域に開かれた運営をする。

対象施設 : 地域密着型施設(ピノ拠点)

※通所介護は対象外だが施設周知も兼ねて職員は出席予定

開催頻度 : 2ヶ月に1回以上

出席予定者 : 利用者および利用者家族代表

地域住民の代表者(自治会長・長寿会長)

地域包括支援センター職員

施設職員

(施設長・副施設長・施設ケアマネジャー

・生活相談員・地域密着型通所介護管理者)

○議事録送付実績

- 2025年 5月
- 2025年 7月
- 2025年 9月
- 2025年11月
- 2026年 1月
- 2026年 3月

9. 生産性向上推進委員会

利用者の安全性並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するために、ICT 機器等の活用状況や業務の実態を把握し、現場に即した改善方策を検討し、利用者、職員双方にとって最適な環境に改善していくことを目的とし、委員会を開催した。

対象施設 : 特別養護老人ホームモモ
コミュニティホームピノ

開催頻度 : 3ヶ月に1回以上

出席予定者: 施設長・副施設長・特養課長・ユニット課長・短期相談員・
リーダー介護士・カウンセラー

○委員会開催

2025年 2月 「事前調査依頼・スケジュールについて」

●苦情相談件数集計

各部署の苦情件数を一覧化

※件数=報告書作成数

施設	部署	件数	概要
モモ	特養	0	
	S S	0	
	ケア	0	
	D S	0	
	栄養室	0	
	事務室	0	
	居宅	0	
ピノ	特養	0	
	S S	0	
	D S	0	
	栄養室	0	
	事務室	0	
ナナ	サ高	0	
	居宅	0	
	栄養室	0	

●実習生受入れおよび研修実施状況

a. 実習生受入れ（モモ）

日程	研修内容	団体名	実習者数
実習受け入れ再開としているが、受け入れ実績なし。			

b. 社外研修（モモ）①

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
4月 1日	カスハラから職員を守れ！～医療介護従事者として本気で考えるカスタマーハラスメント対策～	ケアテックスオンライン	オンライン	1
4月 4日	介護が劇的に変わる！誰もが実践できる接遇11ヶ条～お客様にも職員にも選ばれる施設へ～	ケアテックスオンライン	オンライン	1
4月10日	介護現場のリスクアセスメントとダメージコントロール～事故の予防と正しい対応について～	ケアテックスオンライン	オンライン	1
5月23日	ケア現場での「無理な要求」への対処と理解～スタッフ・管理者の連携で要求の背景を知る～	ケアテックスオンライン	オンライン	1
	認知症介護は「言いかえ」ひとつでラクになる～伝わりやすい声かけが改善のカギ～	ケアテックスオンライン	オンライン	1
5月30日	これって虐待でっか!? 完全義務化で改めて考える高齢者虐待防止に向けた取り組み	ケアテックスオンライン	オンライン	1
	現場から「忙しい」の声をなくす！人材不足時代に必要な業務改善の仕掛け	ケアテックスオンライン	オンライン	1
6月12日	養護・ケアハウス部会情報交換・食中毒及び感染症対策	相模原市高齢者福祉施設協議会	ケアハウス こもれび	2
6月17日	医療介護連携の会	総合相模更生病院	総合相模更生病院	1
6月27日	物語としての認知症ケア<ナラティブ・アプローチ>	ケアテックスオンライン	オンライン	1

b. 社外研修（モモ）②

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
7月25日	人口減少局面のなかでの介護人材確保～生産性向上推進施策の重要性と課題～	ケアテックスオンライン	オンライン	1
	ACPの実践における連携協働	町田市ケアマネ連絡会	オンライン	1
7月31日	相模原市特定給食施設等管理者及び担当者講習会	健康福祉局保健衛生部健康増進課健康づくり班	オンライン	1
8月6日	介護の“あたりまえ”って何だ？～その介護はお年寄りを幸せにしているか～	ケアテックスオンライン	オンライン	1
8月7日	令和8年度から始動する「介護の質」透明化がもたらす介護の三施設自然淘汰への対策	ケアテックスオンライン	オンライン	1
8月29日	相模原市特定給食施設等管理者及び担当者講習会	健康福祉局保健衛生部健康増進課健康づくり班	オンライン	1
9月19日	CareWiz カンファレンス 2025【カスハラ対策・BCPの全解説・虐待防止と身体拘束適正化・chatGPT活用による業務改革】	株式会社エクサホームケア	住友不動産新宿グランドタワー	1
9月24日	つらさに気づき、寄り添うための実践コミュニケーション術	ウェルビト	オンライン	1
9月25日	介護業界の未来を左右するAI活用	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
9月26日	ACPの実践における連携協働	町田市ケアマネ連絡会	オンライン	1
9月29日	「怒り」に流されない介護現場を作る虐待防止	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
9月30日	介護に関わる方なら知っておきたい明日からできる摂食嚥下の評価と口腔ケア	株式会社エクサホームケア	オンライン	1

b. 社外研修（モモ）③

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
10月2日	介護情報基盤を徹底解説最新動向と将来を見据えた制度対応のポイント	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
10月3日	令和8年度処遇改善加算と令和9年度介護報酬改定の最新動向	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
10月4日	「かかりつけ医」とは～主治医とかかりつけ医の違い	町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会	町田市役所	1
10月8日	激動する介護業界を勝ち抜く経営戦略変化をチャンスに変えるポイントを小濱氏が解説	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
10月9日	養護・ケアハウス部会情報交換・事故対策	相模原市高齢者福祉施設協議会	東林間シニアクラブ	2
10月16日	職員間のコミュニケーションを円滑にし、質を高める介護現場におけるアサーティブ・コミュニケーション研修	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
10月22日	在宅サービスの為のBCP	株式会社エクサホームケア	在宅サービスの為のBCP	1
10月23日	義務化されたBCPの実効性をどう確保するか	株式会社エクサホームケア	義務化されたBCPの実効性をどう確保するか	1
10月27日	職員が増えても崩れないチームのつくり方中小規模施設・事業所に求められる育成と仕組み化を徹底解説	株式会社エクサホームケア	職員が増えても崩れないチームのつくり方中小規模施設・事業所に求められる育成と仕組み化を徹底解説	1
10月29日	生成AI「Genspark」を活用した業務効率化	株式会社エクサホームケア	生成AI「Genspark」を活用した業務効率化	1
10月30日	現場で機能する虐待防止	株式会社エクサホームケア	現場で機能する虐待防止	1

b. 社外研修（モモ）③

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
10月31日	介護業界の事例からみる管理者育成実践的なコーチングで組織が変わる3つのポイントアドラー心理学ベースのコミュニケーション	株式会社エクサホームケア	介護業界の事例からみる管理者育成実践的なコーチングで組織が変わる3つのポイントアドラー心理学ベースのコミュニケーション	1
11月4日	地域に選ばれる経営戦略	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
11月5日	求職者から選ばれる施設になる為の採用プランディング戦略	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
11月6日	信頼が生まれる職場にある共通点とは	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
11月7日	介護現場での3つの事例から見る身体拘束等	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
11月13日	「伝える」が「伝わる」に変わる伝わる情報発信・コミュニケーションにするためのポイント	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
11月14日	感染症BCPの正しい運用とインフルエンザ・ノロウイルス対策	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
11月17日	介護事業所を強くする人事労務業務のデジタル化への道のり	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
11月18日	複数事業所の事務員業務をまとめて効率化へ	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
11月19日	リスクを最小限に事業拡大を加速させるためのポイント・事務員・事務長のための生産性向上	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
11月20日	機能訓練を正しくやれば収益が上がる	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
11月21日	権利擁護と成年後見制度を事例から解説	株式会社エクサホームケア	オンライン	1

b. 社外研修（モモ）④

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
11月25日	事例から見るとはじめての電子請求の実践方法・最低賃金引き上げ、物価上昇の中での新たな対策	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
11月26日	事故を防ぐための意味のあるヒヤリハット報告書、リスクを減らす事故報告書・中規模介護法人のための生産性向上術	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
11月28日	特養限定 介護と医療連携フォーラム/看取りケア・ACP・認知症・医療介護DX・包括ケアシステム	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
	赤字と黒字のデサービス何が違うの？	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
12月1日	明日からできる摂食嚥下の評価と口腔ケア	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
12月2日	2025年後期介護事業所向け運営指導対策	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
	2025年後期介護事業所向け運営指導対策指摘0になるポイント	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
12月3日	生産性向上ガイドラインが導く「未来の予想図」業務効率化	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
12月4日	地域で支え合う介護経営の新モデル	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
12月5日	財務制度分科会から読み解く次回報酬改定の最新動向	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
12月9日	選ばれる介護事業所になるための事業戦略	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
12月11日	労働基準法改正・育成就労制度・介護報酬改定	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
12月15日	生産性向上×人材確保で実現する“好循環”づくり	株式会社エクサホームケア	オンライン	1

b. 社外研修（モモ）⑤

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
12月17日	介護現場のための生産性向上	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
12月22日	AI時代における介護施設・事業所の生産性向上	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
12月23日	2026年の処遇改善支援補助金等を解説	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
12月24日	生成AI活用術を小濱氏がデモを中心に解説	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
12月25日	栄養管理で変わる褥瘡ケア	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
12月26日	アサイーティブコミュニケーション実践セミナー	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
1月6日	LIFE徹底攻略	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
1月7日	事例から見る虐待防止委員会と研修の取り組み方	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
1月8日	「伝える」が「伝わる」に代わる伝わる情報発信	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
	多職種で始める・続ける・成果を出すFLS～転倒骨折もうさせない～	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
1月9日	事例からみる介護現場のアンガーマネジメントの実践方法	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
1月13日	高齢者施設における看取りを解説	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
1月14日	令和9年度介護保険制度改正を読み解く	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
1月15日	介護の離職を止める人事制度と1ON1面談を具体的に解説	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
1月16日	介護職員等処遇改善加算	株式会社エクサホームケア	オンライン	1

b. 社外研修（モモ）⑥

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
1月19日	人が辞めない組織を作る為に、今抑えるべき法的視点と実務対応	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
1月20日	介護事業所のためのカスハラ対策	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
1月21日	職場の人間関係が円滑になるコミュニケーション	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
1月22日	弁護士が開設する介護現場の虐待防止	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
1月23日	事故予防とリスクマネジメントの実務	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
1月26日	令和9年度報酬改定の最新動向と対策	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
1月27日	生活相談員の役割と知識、介護施設の経営状況と課題	相模原市高齢者福祉施設協議会	相模原市民会館	1
2月2日	補正予算の真上げ・職場環境改善支援事業計画作成方法を中心に実務解説	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
2月3日	ケアプランデータ連携システムの全解説	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
2月4日	介護現場のもやもやが離職や連携不全につながる前に考えたいこと	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
2月5日	感覚と科学をつなぐLIFE活用実践セミナー	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
	事例から学ぶ看取りケアの実践	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
2月6日	新たに処遇改善の対象となった事業所へ完全解説セミナー	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
2月9日	現場の時間を取り戻すAI活用の実践	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
	R8年度臨時改定最新動向処遇改善加算の給付制度反映と実務を解説	株式会社エクサホームケア	オンライン	1

b. 社外研修 (モモ) ㉗

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
2月10日	個人情報及びプライバシーに関する法定研修	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
	福祉に関わる全ての方が最低限知っておくべき支援者としての心構え	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
2月12日	介護サービス継続支援事業徹底解説ガイド	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
	介護施設の「食事の基準費」100円引き上げを正しく理解する	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
	養護・ケアハウス部会情報交換	相模原市高齢者福祉施設協議会	コスモスハウス	2
2月13日	義務化される生産性向上委員会の運営	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
2月14日	地域で一番の施設・事業所になる為に抑えるべきポイント	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
	介護職員等処遇改善加算セミナーどうなる？令和8年度加算対応	公益財団法人介護労働安定センター	オンライン	1
2月16日	注目裁判5選からみる介護施設として抑えるポイント	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
2月17日	良い関係を築けばハラスメントは起こらない	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
2月18日	良い記録の書き方とは？事例から紹介	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
2月19日	チェックリストからみる介護事業所のリスクマネジメント	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
	新時代に求められる施設長・リーダーの役割とは	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
2月20日	入居率改善に成功した施設の実例に学ぶ	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
	令和8年度税制改革大綱を介護事業者向けにポイント解説	株式会社エクサホームケア	オンライン	1

b. 社外研修 (モモ) ㉘

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
2月25日	気付きシートで職場環境を変える具体的な活用方法	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
2月26日	Google NotebookLM活用・完全攻略セミナー	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
	人材紹介に頼らず自社採用を実現ダイレクト採用セミナー	ケアテックス (株) Koel 代表取締役 宮邊電馬	東京ビックサイト	1
	たった2年で劇的改善！赤字だった特養を稼働率96%・離職率ゼロに経営改革	ケアテックス特養友愛荘 施設長 鈴木健太	東京ビックサイト	1
2月27日	共生型サービスの必要性とDE&I経営	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
	通所・入所施設におけるムリ・ムダ・ムラをなくすための取り組み	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
3月3日	スポットワーク・スキマバイトの労務上の落とし穴と対策	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
3月4日	事例からみるバックオフィス業務の生産性向上	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
3月5日	介護事業所の為の年間研修計画の作り方	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
3月6日	介護事故の裁判事例に学ぶ現場のリスクマネジメント～利用者・施設・職員を守るために～	ケアテックスジャパン オンライン	オンライン	1
	現場が楽になる実践アプローチ	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
3月9日	事務効率化と生成AI活用の実践	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
3月10日	食事は調理業務から提供システムへ	株式会社エクサホームケア	オンライン	1
3月11日	新年度に向けた新人受け入れの準備と対策	株式会社エクサホームケア	オンライン	1

b. 社外研修（モモ）㊟

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
3月12日	介護の魅力発信でファンが増える【やまゆりの里】のSNS活用術	ケアテックスジャパン オンライン	オンライン	1
	事例からみる施設長が現場に縛られない為の仕組み作り	株式会社エクサホーム ケア	オンライン	1
3月16日	求人充足対策セミナー	ハローワーク相模原	オンライン	1
3月17日	デジタル化が進む介護事業所は、なぜ採用がうまく行っているのか	株式会社エクサホーム ケア	オンライン	1
3月19日	法改定・制度改定で複雑化する人事労務業務	株式会社エクサホーム ケア	オンライン	1
3月23日	パワハラ・カスハラを防ぐ仕組み作り	株式会社エクサホーム ケア	オンライン	1
	令和7年度 社会福祉法人説明会	相模原市指導監査室	オンライン	1
3月24日	生き残る施設の食事戦略	株式会社エクサホーム ケア	オンライン	1
3月25日	令和8年臨時改定最新情報	株式会社エクサホーム ケア	オンライン	1
3月26日	生産性向上の重要性とその施策について	ケアテックスジャパン オンライン	オンライン	1
	ChatGPT を当たり前 に活用する施設となる には？福祉業界特有の 3大リスクと5大メリ ットを徹底解説	ケアテックスジャパン オンライン	オンライン	1
	2026年度運営指導対 策	株式会社エクサホーム ケア	オンライン	1
3月27日	リハビリと栄養の新しいアプローチを具体的に解説	株式会社エクサホーム ケア	オンライン	1
3月30日	高齢者施設向け身体拘束適正化と尊厳あるケアの実現方法	株式会社エクサホーム ケア	オンライン	1
3月31日	実践型 BCP&防災訓練	株式会社エクサホーム ケア	オンライン	1

b. 社外研修（ピノ）

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
職員充足が追いついておらず、 2025年度通して外部研修参加はできなかった。				

b. 社外研修 (ナナ)

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
3月16日	ケアマネの魅力再発見	南十字星(4包括合同研修会)	南保健福祉センター機能訓練室	1

c. 社内研修 (全体)

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
4月18日	第156回蒼生塾 「虐待について」	(福) 蒼生会 講師 特養課長	デイサービスセンター モモ活動室	9
5月23日	第157回蒼生塾 「事故対策・身体拘束について」	(福) 蒼生会 講師 事故対策委員長		8
6月27日	第158回蒼生塾 「2024年度事業報告/全体会議」	(福) 蒼生会 講師 管理職/各担当		11
7月18日	第159回蒼生塾 「食中毒・感染症対策について」	(福) 蒼生会 講師 栄養士		7
8月11日	第160回蒼生塾 「BCP(業務継続計画)について」	(福) 蒼生会 講師 居宅課長		11
10月17日	第161回蒼生塾 高齢者虐待について	(福) 蒼生会 講師 副施設長		10
11月21日	第162回蒼生塾 褥瘡について	(福) 蒼生会 講師 デイモモ管理者		10
12月19日	第163回蒼生塾 事故対策・身体拘束について	(福) 蒼生会 講師 事故対策委員長		8
1月16日	第164回蒼生塾 感染症・ハラスメントについて	(福) 蒼生会 講師 特養課長		8
2月20日	第165回蒼生塾 BCP(業務継続計画)について	(福) 蒼生会 講師 施設長		11
3月26日	第166回蒼生塾 「2026年度事業計画/全体会議」	(福) 蒼生会 講師 管理職/各担当		17

d.海外研修

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
実績なし				

P_{ublic} Relations

パブリック・リレーション

感染症対策の見直しが進み、面会制限の緩和など徐々に通常運営へ移行しつつあったものの、ボランティア受け入れや対面での運営推進会議の開催には至らなかった。

また、経営状況的な側面から今年度もカシオペア祭を中止したことから、外部との交流は限定的な状況が続いた。

一方で、面会制限を実施した際には「施設からの解除連絡がないと状況が分からない」との声が寄せられ、利用者家族への情報提供手段として、ホームページ等を活用した迅速な発信体制の必要性が明らかとなった。

実際に、ホームページのトピックス等で随時情報を掲載してほしいとの要望もいただいた。

2026年度は、対面での実施が求められる運営推進会議の再開や、市相談員の受け入れなど、外部交流の機会を段階的に再構築し、地域との関係性を回復・強化していく予定である。

1. 近隣小中学校の総合学習、PTA イベントなどへの協力
未実施

2. 介護・看護実習など受け入れ
未実施

3. 他施設との交流

交流施設：「モモ/ピノ合同」「東橋本ひまわりホーム」「中の郷」

- ① 風船バレー交流試合：未開催
- ② 施設対抗運動会：未開催

4. 地域との交流

- ① 鶴野森日枝神社大祭「神酒所」会場貸出
2025年10月5日（日）※特別養護老人ホームモモ駐車場
- ② 近隣自治会の盆踊り大会などへの参加 ※ケアハウス入居者
不参加：自治会のイベント自体が終了傾向にある。
- ③ 施設見学会
2026年3月28日（土）・29日（日）11：00～13：00
※フレイグラントオリーブナナ・コミュニティホームピノ合同

備考：「カシオペア祭」「神輿見学」実績は法人本部事業報告に記述

Appendix

付 録

社会福祉法人 蒼生会 高齢者福祉施設 2025年度稼働状況(前年度比較)

稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
	日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
定員	62人/日	1860人	1922人	1860人	1922人	1922人	1860人	1922人	1860人	1922人	1922人	1736人	1922人	22630人
2024実績	在籍	1606人	1749人	1698人	1809人	1821人	1593人	1602人	1578人	1641人	1581人	1455人	1668人	19801人
	入院	31人	30人	13人	33人	31人	49人	31人	10人	68人	53人	16人	4人	369人
	入院率	1.93%	1.72%	0.77%	1.82%	1.70%	3.08%	1.94%	0.63%	4.14%	3.35%	1.10%	0.24%	1.86%
	在園	1575人	1719人	1685人	1776人	1790人	1544人	1571人	1568人	1573人	1528人	1439人	1664人	19432人
	稼働率	84.7%	89.4%	90.6%	92.4%	93.1%	83.0%	81.7%	84.3%	81.8%	79.5%	82.9%	86.6%	85.9%
	空床	285人	203人	175人	146人	132人	316人	351人	292人	349人	394人	297人	258人	3198人
	空床利用	42人	50人	24人	21人	8人	0人	0人	0人	19人	0人	36人	45人	245人
	在園	1617人	1769人	1709人	1797人	1798人	1544人	1571人	1568人	1592人	1528人	1475人	1709人	19677人
	稼働率	86.9%	92.0%	91.9%	93.5%	93.5%	83.0%	81.7%	84.3%	82.8%	79.5%	85.0%	88.9%	87.0%
	完全空床	243人	153人	151人	125人	124人	316人	351人	292人	330人	394人	261人	213人	2953人
稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
	日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
定員	62人/日	1860人	1922人	1860人	1922人	1922人	1860人	1922人	1860人	1922人	1922人	1736人	1922人	22630人
2025実績	在籍	1644人	1760人	1735人	1815人	1756人	1689人	1820人	1814人	1880人	1864人	1680人	1849人	21306人
	入院	37人	27人	13人	0人	12人	7人	13人	63人	34人	42人	35人	12人	295人
	入院率	2.25%	1.53%	0.75%	0.00%	0.68%	0.41%	0.71%	3.47%	1.81%	2.25%	2.08%	0.65%	1.38%
	在園	1607人	1733人	1722人	1815人	1744人	1682人	1807人	1751人	1846人	1822人	1645人	1837人	21011人
	稼働率	86.4%	90.2%	92.6%	94.4%	90.7%	90.4%	94.0%	94.1%	96.0%	94.8%	94.8%	95.6%	92.8%
	空床	253人	189人	138人	107人	178人	178人	115人	109人	76人	100人	91人	85人	1619人
	空床利用	27人	4人	0人	21人	76人	64人	17人	11人	1人	0人	0人	23人	244人
	在園	1634人	1737人	1722人	1836人	1820人	1746人	1824人	1762人	1847人	1822人	1645人	1860人	21255人
	稼働率	87.8%	90.4%	92.6%	95.5%	94.7%	93.9%	94.9%	94.7%	96.1%	94.8%	94.8%	96.8%	93.9%
	完全空床	226人	185人	138人	86人	102人	114人	98人	98人	75人	100人	91人	62人	1375人
前年度比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
	稼働日数	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日
	延べ定員	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人
	在籍	+38人	+11人	+37人	+6人	-65人	+96人	+218人	+236人	+239人	+283人	+225人	+181人	+1,505人
	入院	+6人	-3人	±0人	-33人	-19人	-42人	-18人	+53人	-34人	-11人	+19人	+8人	-74人
	入院率	+0.32%	-0.18%	-0.02%	-1.82%	-1.02%	-2.66%	-1.22%	+2.84%	-2.34%	-1.10%	+0.98%	+0.41%	-0.48%
	在園	+32人	+14人	+37人	+39人	-46人	+138人	+236人	+183人	+273人	+294人	+206人	+173人	+1,579人
	稼働率	+1.7%	+0.73%	+1.99%	+2.03%	-2.39%	+7.42%	+12.28%	+9.84%	+14.20%	+15.30%	+11.87%	+9.00%	+6.98%
	空床	-32人	-14人	-37人	-39人	+46人	-138人	-236人	-183人	-273人	-294人	-206人	-173人	-1,579人
	空床利用	-15人	-46人	-24人	±0人	+68人	+64人	+17人	+11人	-18人	±0人	-36人	-22人	-1人
	在園	+17人	-32人	+13人	+39人	+22人	+202人	+253人	+194人	+255人	+294人	+170人	+151人	+1,578人
	稼働率	+0.9%	-1.7%	+0.7%	+2.0%	+1.1%	+10.9%	+13.2%	+10.4%	+13.3%	+15.3%	+9.8%	+7.9%	+7.0%
	完全空床	-17人	+32人	-13人	-39人	-22人	-202人	-253人	-194人	-255人	-294人	-170人	-151人	-1,578人

特別養護老人ホームモモ
(含:空床利用)

社会福祉法人 蒼生会 高齢者福祉施設 2025年度稼働状況(前年度比較)

稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
	日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
定員	29人/日	870人	899人	870人	899人	899人	870人	899人	870人	899人	899人	812人	899人	10585人
2024実績	在籍	706人	715人	694人	803人	844人	823人	836人	795人	806人	830人	774人	844人	9470人
	入院	77人	32人	18人	0人	69人	73人	40人	33人	24人	91人	58人	23人	538人
	入院率	10.91%	4.48%	2.59%	0.00%	8.18%	8.87%	4.78%	4.15%	2.98%	10.96%	7.49%	2.73%	5.68%
	在園	629人	683人	676人	803人	775人	750人	796人	762人	782人	739人	716人	821人	8932人
	稼働率	72.3%	76.0%	77.7%	89.3%	86.2%	86.2%	88.5%	87.6%	87.0%	82.2%	88.2%	91.3%	84.4%
	空床	241人	216人	194人	96人	124人	120人	103人	108人	117人	160人	96人	78人	1653人
	空床利用	30人	12人	9人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	13人	64人
	在園	659人	695人	685人	803人	775人	750人	796人	762人	782人	739人	716人	834人	8996人
	稼働率	75.7%	77.3%	78.7%	89.3%	86.2%	86.2%	88.5%	87.6%	87.0%	82.2%	88.2%	92.8%	85.0%
	完全空床	211人	204人	185人	96人	124人	120人	103人	108人	117人	160人	96人	65人	1589人
稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
	日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
定員	29人/日	870人	899人	870人	899人	899人	870人	899人	870人	899人	899人	812人	899人	10585人
2025実績	在籍	840人	897人	870人	899人	888人	840人	847人	793人	790人	728人	651人	777人	9820人
	入院	16人	0人	0人	16人	39人	74人	67人	56人	60人	31人	2人	16人	377人
	入院率	1.90%	0.00%	0.00%	1.78%	4.39%	8.81%	7.91%	7.06%	7.59%	4.26%	0.31%	2.06%	3.84%
	在園	824人	897人	870人	883人	849人	766人	780人	737人	730人	697人	649人	761人	9443人
	稼働率	94.7%	99.8%	100.0%	98.2%	94.4%	88.0%	86.8%	84.7%	81.2%	77.5%	79.9%	84.6%	89.2%
	空床	46人	2人	0人	16人	50人	104人	119人	133人	169人	202人	163人	138人	1142人
	空床利用	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	60人	90人	62人	212人
	在園	824人	897人	870人	883人	849人	766人	780人	737人	730人	757人	739人	823人	9655人
	稼働率	94.7%	99.8%	100.0%	98.2%	94.4%	88.0%	86.8%	84.7%	81.2%	84.2%	91.0%	91.5%	91.2%
	完全空床	46人	2人	0人	16人	50人	104人	119人	133人	169人	142人	73人	76人	930人
前年度比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
	稼働日数	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日
	延べ定員	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人
	在籍	+134人	+182人	+176人	+96人	+44人	+17人	+11人	-2人	-16人	-102人	-123人	-67人	+350人
	入院	-61人	-32人	-18人	+16人	-30人	+1人	+27人	+23人	+36人	-60人	-56人	-7人	-161人
	入院率	-9.00%	-4.48%	-2.59%	+1.78%	-3.78%	-0.06%	+3.13%	+2.91%	+4.62%	-6.71%	-7.19%	-0.67%	-1.84%
	在園	+195人	+214人	+194人	+80人	+74人	+16人	-16人	-25人	-52人	-42人	-67人	-60人	+511人
	稼働率	+22.4%	+23.80%	+22.30%	+8.90%	+8.23%	+1.84%	-1.78%	-2.87%	-5.78%	-4.67%	-8.25%	-6.67%	+4.83%
	空床	-195人	-214人	-194人	-80人	-74人	-16人	+16人	+25人	+52人	+42人	+67人	+60人	-511人
	空床利用	-30人	-12人	-9人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	+60人	+90人	+49人	+148人
	在園	+165人	+202人	+185人	+80人	+74人	+16人	-16人	-25人	-52人	+18人	+23人	-11人	+659人
	稼働率	+19.0%	+22.5%	+21.3%	+8.9%	+8.2%	+1.8%	-1.8%	-2.9%	-5.8%	+2.0%	+2.8%	-1.2%	+6.2%
	完全空床	-165人	-202人	-185人	-80人	-74人	-16人	+16人	+25人	+52人	-18人	-23人	+11人	-659人

コミュニティホームピノ
(含:空床利用)

社会福祉法人 蒼生会 高齢者福祉施設 2025年度稼働状況(前年度比較)

稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
	日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	31日	28日	31日
定員	8人/日	240人	248人	240人	248人	248人	240人	248人	240人	248人	248人	224人	248人	2920人
2024実績	利用	122人	76人	79人	116人	124人	135人	121人	125人	106人	102人	138人	195人	1439人
	最大人数	6人	4人	4人	5人	5人	5人	5人	5人	4人	4人	7人	7人	-
	最小人数	2人	1人	1人	2人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	4人	4人	-
	平均人数	4.1人	2.5人	2.6人	3.7人	4人	4.5人	3.9人	4.2人	3.4人	3.3人	4.9人	6.3人	4人
	稼働率	50.8%	30.6%	32.9%	46.8%	50.0%	56.3%	48.8%	52.1%	42.7%	41.1%	61.6%	78.6%	49.3%
	空床	118人	172人	161人	132人	124人	105人	127人	115人	142人	146人	86人	53人	1481人
稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
	日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
定員	8人/日	240人	248人	240人	248人	248人	240人	248人	240人	248人	248人	224人	248人	2920人
2025実績	利用	206人	181人	202人	210人	193人	202人	191人	233人	248人	238人	196人	216人	2516人
	最大人数	8人	8人	8人	8人	7人	8人	7人	8人	8人	8人	7人	7人	-
	最小人数	6人	4人	5人	5人	5人	5人	6人	6人	8人	7人	7人	6人	-
	平均人数	6.9人	5.8人	6.7人	6.8人	6.2人	6.7人	6.2人	7.8人	8人	7.7人	7人	7人	6.9人
	稼働率	85.8%	73.0%	84.2%	84.7%	77.8%	84.2%	77.0%	97.1%	100.0%	96.0%	87.5%	87.1%	86.2%
	空床	34人	67人	38人	38人	55人	38人	57人	7人	0人	10人	28人	32人	404人
前年度比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
	稼働日数	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日
	延べ定員	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人
	利用	+84人	+105人	+123人	+94人	+69人	+67人	+70人	+108人	+142人	+136人	+58人	+21人	+1,077人
	最大人数	+2人	+4人	+4人	+3人	+2人	+3人	+2人	+3人	+4人	+4人	±0人	±0人	-
	最小人数	+4人	+3人	+4人	+3人	+2人	+2人	+3人	+3人	+5人	+4人	+3人	+2人	-
	平均人数	+2.8人	+3.3人	+4.1人	+3.1人	+2.2人	+2.2人	+2.3人	+3.6人	+4.6人	+4.4人	+2.1人	+0.7人	+2.9人
	稼働率	+35.0%	+42.3%	+51.3%	+37.9%	+27.8%	+27.9%	+28.2%	+45.0%	+57.3%	+54.8%	+25.9%	+8.5%	+36.9%
	空床	-84人	-105人	-123人	-94人	-69人	-67人	-70人	-108人	-142人	-136人	-58人	-21人	-1,077人

ショートステイモモ
(除:空床利用)

社会福祉法人 蒼生会 高齢者福祉施設 2025年度稼働状況(前年度比較)

ショートステイピノ (除:空床利用)	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	30日	31日	28日	31日
	定員	10人/日	300人	310人	300人	310人	310人	300人	310人	300人	310人	310人	280人	310人	3650人
	2024実績	利用	127人	176人	163人	173人	203人	205人	179人	184人	154人	209人	203人	265人	2241人
		最大人数	7人	10人	8人	10人	10人	10人	9人	9人	8人	10人	10人	10人	-
		最小人数	1人	2人	2人	2人	4人	4人	1人	3人	3人	3人	5人	6人	-
		平均人数	4.2人	5.7人	5.4人	5.6人	6.5人	6.8人	5.8人	5.9人	5人	6.7人	7.3人	8.5人	6.1人
		稼働率	42.3%	56.8%	54.3%	55.8%	65.5%	68.3%	57.7%	61.3%	49.7%	67.4%	72.5%	85.5%	61.4%
		空床	173人	134人	137人	137人	107人	95人	131人	116人	156人	101人	77人	45人	1409人
	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	30日	31日	28日	31日
	定員	10人/日	300人	310人	300人	310人	310人	300人	310人	300人	310人	310人	280人	310人	3650人
	2025実績	利用	265人	264人	249人	198人	196人	228人	251人	222人	206人	142人	113人	216人	2550人
		最大人数	10人	10人	10人	8人	8人	10人	10人	10人	10人	8人	7人	10人	-
		最小人数	8人	7人	6人	4人	4人	4人	6人	5人	4人	1人	2人	3人	-
		平均人数	8.8人	8.5人	8.3人	6.4人	6.3人	7.6人	8.1人	7.4人	6.6人	4.6人	4人	7人	7人
		稼働率	88.3%	85.2%	83.0%	63.9%	63.2%	76.0%	81.0%	74.0%	66.5%	45.8%	40.4%	69.7%	69.9%
		空床	35人	46人	51人	112人	114人	72人	59人	78人	104人	168人	167人	94人	1100人
	前年度比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		稼働日数	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日
		延べ定員	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人
利用		+138人	+88人	+86人	+25人	-7人	+23人	+72人	+38人	+52人	-67人	-90人	-49人	+309人	
最大人数		+3人	±0人	+2人	-2人	-2人	±0人	+1人	+1人	+2人	-2人	-3人	±0人	-	
最小人数		+7人	+5人	+4人	+2人	±0人	±0人	+5人	+2人	+1人	-2人	-3人	-3人	-	
平均人数		+4.6人	+2.8人	+2.9人	+0.8人	-0.2人	+0.8人	+2.3人	+1.5人	+1.6人	-2.1人	-3.3人	-1.5人	+0.9人	
稼働率		+46.0%	+28.4%	+28.7%	+8.1%	-2.3%	+7.7%	+23.2%	+12.7%	+16.8%	-21.6%	-32.1%	-15.8%	+8.5%	
空床	-138人	-88人	-86人	-25人	+7人	-23人	-72人	-38人	-52人	+67人	+90人	+49人	-309人		

社会福祉法人 蒼生会 高齢者福祉施設 2025年度稼働状況(前年度比較)

	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	22日	23日	20日	23日	22日	21日	23日	21日	20日	20日	20日	20日	21日
定員	20人/日	440人	460人	400人	460人	440人	420人	460人	420人	400人	400人	400人	420人	5120人	
2024実績	利用	359人	347人	298人	307人	293人	296人	291人	244人	238人	230人	223人	223人	3349人	
	最大人数	21人	19人	19人	17人	16人	17人	17人	16人	16人	15人	15人	15人	-	
	最小人数	13人	9人	11人	10人	10人	11人	9人	6人	7人	7人	7人	6人	-	
	平均人数	16.3人	15.1人	14.9人	13.3人	13.3人	14.1人	12.7人	11.6人	11.9人	11.5人	11.2人	10.6人	13人	
	稼働率	81.6%	75.4%	74.5%	66.7%	66.6%	70.5%	63.3%	58.1%	59.5%	57.5%	55.8%	53.1%	65.4%	
	欠員	81人	113人	102人	153人	147人	124人	169人	176人	162人	170人	177人	197人	1771人	
	入浴	260人	253人	220人	221人	204人	203人	193人	160人	161人	148人	145人	145人	2313人	
	入浴率	72.4%	72.9%	73.8%	72.0%	69.6%	68.6%	66.3%	65.6%	67.6%	64.3%	65.0%	65.0%	69.1%	
	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
	日数	22日	22日	21日	23日	21日	22日	23日	20日	20日	20日	20日	22日	256日	
定員	20人/日	440人	440人	420人	460人	420人	440人	460人	400人	400人	400人	400人	440人	5120人	
2025実績	利用	260人	294人	284人	291人	264人	284人	300人	272人	290人	283人	266人	295人	3383人	
	最大人数	18人	18人	18人	18人	17人	16人	18人	17人	17人	16人	17人	18人	-	
	最小人数	10人	9人	10人	9人	8人	10人	10人	10人	10人	10人	9人	10人	-	
	平均人数	13.5人	13.4人	13.5人	13.9人	12.6人	12.9人	13人	13.6人	14.5人	14.2人	13.3人	13.4人	13.5人	
	稼働率	59.1%	66.8%	67.6%	63.3%	62.9%	64.5%	65.2%	68.0%	72.5%	70.8%	66.5%	67.0%	66.1%	
	欠員	180人	146人	136人	169人	156人	156人	160人	128人	110人	117人	134人	145人	1737人	
	入浴	173人	199人	165人	206人	204人	220人	223人	211人	229人	219人	211人	219人	2479人	
	入浴率	66.5%	67.7%	58.1%	70.8%	77.3%	77.5%	74.3%	77.6%	79.0%	77.4%	79.3%	74.2%	73.3%	
前年度比較	稼働日数	±0日	-1日	+1日	±0日	-1日	+1日	±0日	-1日	±0日	±0日	±0日	±0日	+1日	±0日
	延べ定員	±0人	-20人	+20人	±0人	-20人	+20人	±0人	-20人	±0人	±0人	±0人	±0人	+20人	±0人
	利用	-99人	-53人	-14人	-16人	-29人	-12人	+9人	+28人	+52人	+53人	+43人	+72人	+34人	
	最大人数	-3人	-1人	-1人	+1人	+1人	-1人	+1人	+1人	+1人	+1人	+2人	+3人	-	
	最小人数	-3人	±0人	-1人	-1人	-2人	-1人	+1人	+4人	+3人	+3人	+2人	+4人	-	
	平均人数	-2.8人	-1.7人	-1.4人	+0.6人	-0.7人	-1.2人	+0.3人	+2.0人	+2.6人	+2.7人	+2.1人	+2.8人	+0.5人	
	稼働率	-22.5%	-8.6%	-6.9%	-3.5%	-3.7%	-5.9%	+2.0%	+9.9%	+13.0%	+13.3%	+10.8%	+14.0%	+0.7%	
	欠員	+99人	+33人	+34人	+16人	+9人	+32人	-9人	-48人	-52人	-53人	-43人	-52人	-34人	
	入浴	-87人	-54人	-55人	-15人	±0人	+17人	+30人	+51人	+68人	+71人	+66人	+74人	+166人	
	入浴率	-5.9%	-5.2%	-15.7%	-1.2%	7.6%	8.9%	8.0%	12.0%	11.3%	13.0%	14.3%	9.2%	4.2%	

デイサービスセンターモモ
(含:要支援)

社会福祉法人 蒼生会 高齢者福祉施設 2025年度稼働状況(前年度比較)

稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
	日数	22日	23日	20日	23日	22日	21日	23日	21日	21日	20日	20日	21日	257日
定員	18人/日	396人	414人	360人	414人	396人	378人	414人	378人	378人	360人	360人	378人	4626人
2024実績	利用	159人	168人	176人	216人	169人	178人	205人	186人	172人	163人	150人	162人	2104人
	最大人数	11人	11人	12人	13人	14人	13人	12人	13人	13人	12人	10人	10人	-
	最小人数	4人	5人	3人	7人	2人	5人	7人	5人	5人	4人	4人	5人	-
	平均人数	7.2人	7.3人	8.8人	9.4人	7.7人	8.5人	8.9人	8.9人	8.9人	8.6人	8.2人	7.7人	8.2人
	稼働率	40.2%	40.6%	48.9%	52.2%	42.7%	47.1%	49.5%	49.2%	45.5%	45.3%	41.7%	42.9%	45.5%
	欠員	237人	246人	184人	198人	227人	200人	209人	192人	206人	197人	210人	216人	2522人
	入浴	137人	146人	155人	182人	145人	159人	182人	158人	144人	146人	134人	147人	1835人
	入浴率	86.2%	86.9%	88.1%	84.3%	85.8%	89.3%	88.8%	84.9%	83.7%	89.6%	89.3%	90.7%	87.2%
稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
日数	22日	22日	21日	23日	21日	22日	23日	20日	20日	20日	20日	22日	256日	
定員	18人/日	396人	396人	378人	414人	378人	396人	414人	360人	360人	360人	360人	396人	4608人
2025実績	利用	174人	160人	168人	179人	172人	198人	199人	193人	201人	203人	201人	186人	2234人
	最大人数	10人	9人	10人	10人	12人	11人	12人	14人	12人	12人	13人	11人	-
	最小人数	4人	3人	5人	5人	4人	7人	5人	5人	6人	6人	7人	4人	-
	平均人数	7.9人	7.3人	8人	7.8人	8.2人	9人	8.7人	9.7人	10.1人	10.2人	10.1人	8.5人	8.8人
	稼働率	43.9%	40.4%	44.4%	43.2%	45.5%	50.0%	48.1%	53.6%	55.8%	56.4%	55.8%	47.0%	48.5%
	欠員	222人	236人	210人	235人	206人	198人	215人	167人	159人	157人	159人	210人	2374人
	入浴	155人	149人	154人	164人	156人	178人	179人	173人	182人	187人	193人	174人	2044人
	入浴率	89.1%	93.1%	91.7%	91.6%	90.7%	89.9%	89.9%	89.6%	90.5%	92.1%	96.0%	93.5%	91.5%
前年度比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
	稼働日数	±0日	-1日	+1日	±0日	-1日	+1日	±0日	-1日	-1日	±0日	±0日	+1日	-1日
	延べ定員	±0人	-18人	+18人	±0人	-18人	+18人	±0人	-18人	-18人	±0人	±0人	+18人	-18人
	利用	+15人	-8人	-8人	-37人	+3人	+20人	-6人	+7人	+29人	+40人	+51人	+24人	+130人
	最大人数	-1人	-2人	-2人	-3人	-2人	-2人	±0人	+1人	-1人	±0人	+3人	+1人	-
	最小人数	±0人	-2人	+2人	-2人	+2人	+2人	-2人	±0人	+1人	+2人	+3人	-1人	-
	平均人数	+0.7人	±0.0人	-0.8人	-1.6人	+0.5人	+0.5人	-0.2人	+0.8人	+1.5人	+2.0人	+2.6人	+0.8人	+0.6人
	稼働率	+3.8%	-0.2%	-4.4%	-8.9%	+2.8%	+2.9%	-1.4%	+4.4%	+10.3%	+11.1%	+14.2%	+4.1%	+3.0%
	欠員	-15人	-10人	+26人	+37人	-21人	-2人	+6人	-25人	-47人	-40人	-51人	-6人	-148人
	入浴	+18人	+3人	-1人	-18人	+11人	+19人	-3人	+15人	+38人	+41人	+59人	+27人	+209人
入浴率	2.9%	6.2%	3.6%	7.4%	4.9%	0.6%	1.2%	4.7%	6.8%	2.5%	6.7%	2.8%	4.3%	

コミュニティセンターピノ
(含:要支援)

社会福祉法人 蒼生会 高齢者福祉施設 2025年度稼働状況(前年度比較)

居宅サービスセンターモモ (要支援は0.5人換算)	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
		日数	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	12日
	定員	131人/月	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	1566人
	2024実績	利用	112.5人	113.5人	111.5人	115.5人	118人	116.5人	117.5人	126.5人	124人	122人	121.5人	123人	1422人	
		介護	97人	97人	96人	99人	102人	99人	100人	107人	105人	104人	104人	105人	1215人	
		支援	31人	33人	31人	33人	32人	35人	35人	39人	38人	36人	35人	36人	414人	
		稼働率	86.2%	87.0%	85.4%	88.5%	90.4%	89.3%	90.0%	96.9%	95.0%	93.5%	93.1%	94.3%	90.8%	
		欠員	18人	17人	19人	15人	12.5人	14人	13人	4人	6.5人	8.5人	9人	7.5人	144人	
	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
		日数	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	12日	
	定員	131人/月	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	130.5人	1566人	
	2025実績	利用	126.5人	127.5人	126人	127人	123.5人	118.5人	123人	127人	127人	126人	125人	125人	1502人	
		介護	108人	108人	107人	108人	105人	100人	105人	109人	109人	109人	108人	109人	1285人	
		支援	37人	39人	38人	38人	37人	37人	36人	36人	36人	34人	34人	32人	434人	
		稼働率	96.9%	97.7%	96.6%	97.3%	94.6%	90.8%	94.3%	97.3%	97.3%	96.6%	95.8%	95.8%	95.9%	
		欠員	4人	3人	4.5人	3.5人	7人	12人	7.5人	3.5人	3.5人	4.5人	5.5人	5.5人	64人	
	前年度比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
		日数	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	
		月定員	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	
		利用	+14人	+14人	+15人	+12人	+6人	+2人	+6人	+1人	+3人	+4人	+4人	+2人	+80人	
介護		+11人	+11人	+11人	+9人	+3人	+1人	+5人	+2人	+4人	+5人	+4人	+4人	+70人		
支援		+6人	+6人	+7人	+5人	+5人	+2人	+1人	-3人	-2人	-2人	-1人	-4人	+20人		
稼働率		+10.7%	+10.7%	+11.1%	+8.8%	+4.2%	+1.5%	+4.2%	+0.4%	+2.3%	+3.1%	+2.7%	+1.5%	+5.1%		
欠員		-14人	-14人	-15人	-12人	-5.5人	-2.0人	-5.5人	-0.5人	-3.0人	-4.0人	-3.5人	-2.0人	-80.0人		

社会福祉法人 蒼生会 高齢者福祉施設 2025年度稼働状況(前年度比較)

ケアステーションナナ (要支援は0.5人換算)	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
		日数	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	12日
	定員	43.5人/月	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	522人
	2024実績	利用	37.5人	42.5人	42人	43人	43人	42人	42人	43.5人	43人	40.5人	37.5人	36.5人	493人	
		介護	30人	34人	33人	34人	34人	33人	33人	34人	33人	30人	27人	26人	381人	
		支援	15人	17人	18人	18人	18人	18人	18人	19人	20人	21人	21人	21人	224人	
		稼働率	86.2%	97.7%	96.6%	98.9%	98.9%	96.6%	96.6%	100.0%	98.9%	93.1%	86.2%	83.9%	94.4%	
		欠員	6人	1人	1.5人	0.5人	0.5人	1.5人	1.5人	0人	0.5人	3人	6人	7人	29人	
	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
		日数	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	12日	
	定員	43.5人/月	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	43.5人	522人
	2025実績	利用	36.5人	38人	39人	38.5人	38.5人	39.5人	41.5人	41人	38人	38人	37人	35人	460.5人	
		介護	25人	25人	26人	26人	26人	27人	30人	29人	26人	26人	25人	23人	314人	
		支援	23人	26人	26人	25人	25人	25人	23人	24人	24人	24人	24人	24人	293人	
		稼働率	83.9%	87.4%	89.7%	88.5%	88.5%	90.8%	95.4%	94.3%	87.4%	87.4%	85.1%	80.5%	88.2%	
		欠員	7人	5.5人	4.5人	5人	5人	4人	2人	2.5人	5.5人	5.5人	6.5人	8.5人	61.5人	
	前年度比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
		日数	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	
		月定員	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	
		利用	-1人	-5人	-3人	-5人	-5人	-3人	-1人	-3人	-5人	-3人	-1人	-2人	-33人	
介護		-5人	-9人	-7人	-8人	-8人	-6人	-3人	-5人	-7人	-4人	-2人	-3人	-67人		
支援		+8人	+9人	+8人	+7人	+7人	+7人	+5人	+5人	+4人	+3人	+3人	+3人	+69人		
稼働率		-2.3%	-10.3%	-6.9%	-10.3%	-10.3%	-5.7%	-1.1%	-5.7%	-11.5%	-5.7%	-1.1%	-3.4%	-6.2%		
欠員		+1人	+5人	+3人	+5人	+4.5人	+2.5人	+0.5人	+2.5人	+5.0人	+2.5人	+0.5人	+1.5人	+32.5人		

社会福祉法人 蒼生会 高齢者福祉施設 2025年度稼働状況(前年度比較)

ケアハウスモモ	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
		日数	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	12日
	定員	16人/月	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	192人
	2024実績	在籍	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	192人
		稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		空床	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
		日数	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	12日	
	定員	16人/月	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	192人
	2025実績	在籍	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	192人
		稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		空床	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	前年度比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
		日数	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	
		月定員	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	
		在籍	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	
		稼働率	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	
		空床	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	

フレイグラントオリーブナナ	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
		日数	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	12日
	定員	32人/月	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	384人
	2024実績	在籍	28人	28人	27人	28人	29人	30人	29人	29人	29人	29人	30人	28人	29人	344人
		稼働率	87.5%	87.5%	84.4%	87.5%	90.6%	93.8%	90.6%	90.6%	90.6%	90.6%	93.8%	87.5%	90.6%	89.6%
		空床	4人	4人	5人	4人	3人	2人	3人	3人	3人	3人	2人	4人	3人	40人
	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
		日数	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	12日	
	定員	32人/月	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	384人
	2025実績	在籍	27人	27人	27人	27人	27人	26人	26人	26人	26人	27人	28人	27人	27人	322人
		稼働率	84.4%	84.4%	84.4%	84.4%	84.4%	81.3%	81.3%	81.3%	81.3%	84.4%	87.5%	84.4%	84.4%	83.9%
		空床	5人	5人	5人	5人	5人	6人	6人	6人	6人	5人	4人	5人	5人	62人
	前年度比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
		日数	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	
		月定員	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	
		在籍	-1人	-1人	±0人	-1人	-2人	-4人	-3人	-3人	-3人	-2人	-2人	-1人	-2人	-22人
		稼働率	-3.1%	-3.1%	±0.0%	-3.1%	-6.3%	-12.5%	-9.4%	-9.4%	-9.4%	-6.3%	-6.3%	-3.1%	-6.3%	-5.7%
		空床	+1人	+1人	±0人	+1人	+2人	+4人	+3人	+3人	+3人	+2人	+2人	+1人	+2人	+22人

